（明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

七月廿三日發行
發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 木村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

暗雲低迷の北支

學良の現狀維持策に

韓、商等協力するか疑問

【北平特電二十三日發】張學良提唱の北支軍事會議に參加するため山東の韓復榘、石友三等は今晩三時濟南より來平したの軍事會議は全國に轟々たる永久抗日、東北失地回復の叫びの手前 湯玉麟牽制のため餘儀なく熱河問題を惹起せしめ省境に出兵したが、韓を始め舊西北軍宋哲元、龐炳勛等が 馮玉祥、閻錫山と氣脈を通じて盛んに河北を窺ひつゝあり、北支に一大變動勃發の虞ひある事とて學良はこの際多少連絡ある韓復榘、商震等と妥協して現狀維持を圖らんとするものであるが、學良下り坂にある今日 韓が行動を共にするや否や、右軍事會議は暗雲低迷の北支の關係を持つものとして重視さる

天津よりの情報によれば熱河方面の事態重大化と共に關內東北軍は非常の緊張を呈しその後ひそかに津浦線方面の二箇旅及びの一箇旅、通州王以哲の一箇旅計五箇旅を熱河方面に移動中であり、同時に管下各軍に對し軍備の充實に努むると共に多數し日本軍の行動を探査してゐる、前記の軍隊が果して熱河に進出するや否や不明であるが、關內東北軍が非常の緊張を以てゐることは事實であつて盛に軍隊の移動を行つてゐる【奉天電話】

學良軍先發隊熱河入

【天津二十二日發】學良軍の熱河移動は極めて迅速に行はれ二十一日朝迄に完了せるもの三ケ旅餘、目下移動中のもの四ケ旅餘、更に平綏線宣化の砲兵旅、石門鎭、馬廠の騎兵旅楊柳靑の步兵旅等喜峰口に向け出動準備を急いでゐる、此等出動部隊は倖帶給料の外に若干の手當を貰ひホク〳〵ものである、先發隊の一部は既に熱河に到着してゐること判明した

熱河の形勢發展せず

解決可能……と外交部公表

【南京二十二日發】南京政府外交部は十八日午後熱河方面の形勢發展の事實なく同問題の圓滿解決は有望であると公表し學良も日滿軍との衝突は努めて避ける筈だと語つた

韓復榘北平着

【北平特電二十三日發】韓復榘は石友三、葛光廷、何豐林等の護衞隊百餘名を連れ昨夜當地通過、今朝張學良、萬福麟その他の歡迎裡に北平に着いた

熱河と存亡を共にす

張學良の電報

【上海二十三日發】張學良は熱河事件を利用して「學良懦夫に非ず」と宣傳これ努めてゐるが二十二日國民政府に左の電報を寄せた

余は熱河を救ひ滿洲失地を回復せんとす、一切の準備を爲してゐる、この方針は既に聯盟調査團にも通告した、事態擴大せば余は親しく熱河又は滿洲に赴き諸兵を指揮す、熱河の興亡は余の興亡なり、余は熱河と存亡を共にする覺悟である

來往支那要人の行動監視

熱河方面の形勢は近時とみに惡化しつゝあるがこれによつて平津大連間の來往支那要人の數が急激に增加しそのうちには張學良一派の使命を帶び內面的に滿洲において事を醸さんとするものが增加する氣配があるので直接海關きで滿洲支關口をあづかる大連水上署高等係に最大限の能力を發揮して入港毎に客船貨物船の區別なく徹底的…

滿洲國の上空でビラ撒布を計畫

張學良軍の航空隊

【天津二十二日發】出動準備を命ぜられてゐる學良の航空隊は昨日投下爆彈二百個を北平の郊外飛行場に輸送した、右飛行機で滿洲國の上空で撒布すべき五色のビラ多數を積載すべく目下印刷中である

學良軍の軍費缺乏

愛國證券で支拂

天津よりの情報によれば關內學良軍は軍資に窮し稅捐その他により極力之を補給せんとしてゐるが財政窮乏の河北省は容易にこれを滿すことが出來ず、ために一般軍政費に愛國證券を當つることゝし經費の二割は證券を以て支拂ふこゝなり軍資は階級に應じ大將五十元、中將三十元、少將二十元より大尉三元、中尉二元、少尉一元づゝ支給することにしたが、之は八九年前に國庫證券を支給したのに比較し有價證券である關係上一層投機的なものであつて宋哲元、孫殿英、龐炳勛、商震、高桂滋等の各部隊に一律に支給された【奉天電話】

露支復交交渉は遂に停頓狀態

支那の提議全部拒絕

【南京廿二日發】支那側の報道によれば露支復交交渉はモスクワで行はれた結果、遂に停頓狀態に陷つた、卽ち支那側提出の「相互不可侵」「共產黨取締」「東鐵問題解決」「滿洲政府を承認せぬこと」の四提議をしたが、ロシア側が拒絕したゝめである

事變に現はれた我國民銃後の力

（中）　陸軍省徵募課長　松村正員

また從軍願の多い事は更に驚くべきものがある、陸軍省に集つた從軍願だけでも許可したら敷においては忽ち一ケ中隊や二ケ中隊作り出す事は容易なのである、全國の聯隊區司令部等に願出てゐるものを合せたら恐らく莫大なる數に上るであらう、…このやうに我國民の國防意識の發露…

この偉大なる國民的決意は…

次に指揮統帥の妙と平素の準備といふことである、前者は餘り專門的であるから後者についてのみ述べることゝする

滿洲海關閉鎖

南京行政院會議で決定

【南京廿二日發】國民政府發表によれば宋子文、羅文幹連名で本日行政院會議に滿洲海關卽時封鎖の原則案を提出し討議の結果以て滿場一致通過した

…に船客名簿と船客を照合せて訊問しつゝあるがこれが爲水上署高等係はこれ等不審旅客の船より招致されたもので天津方面よりの入港する船のあつた際は物々しい有樣を呈…

郵政從業員等に總罷業、引揚勸告

【南京廿二日發】滿洲國が八月一日から郵政權を接收することに關し國民政府は最後的手段として滿洲に在つて郵便事務に携はつてゐる一千餘の役人と職工に對し卽時引揚げ及び總罷業を開始するやう勸告するに決し本日右通達をなした

滿洲國交通部の訓令

滿洲國政府は曩に國內の郵政權の接收を斷行し着々事務の統制を圖つてゐるが、最近にいたり職員間にその地位に不安を感じ、動搖の形勢あるに鑑み二十三日交通部より訓令第五十七號を以て政府當局の意のあるところを聲明し現職員の地位の安定を保障した

滿洲國政府はその建國宣言の趣旨に從ひ通信行政の自主權を確立するためさきに領域內の郵政權を接收しこれを交通部統制のもとに置きたり、惟ふに郵政は國內的及び國際的に一に民衆の利便のためにこれを經營するものにして我滿洲國郵政に從事する職員は門戶開放、機會均等の精神に基き國籍の如何を問はず…

滿洲國初代總領事栗原氏

外務省では統一機關成立に伴ひ滿洲國政府との外交關係を整理するため先きに新京領事館を總領事館に昇格せしむると共に出先軍部との聯絡並に對滿外交の中心たるべき初代勅任總領事も文書課長栗原正氏に決定したので內田外相よりの重要使命を帶び滿洲國要人出先官憲と打合せの上一度歸任正式に赴任する事となり二十一日午後一時東京驛發滿洲國に向つた、寫眞は車中の栗原氏

滿洲四頭政治の統一も關係各省の意見が大體まとまり愈々近く實現の運びに至つたが…

…いあり、聞くところによれば新切手、はがき發賣期近づくに從ひ郵政部內從事員間に自己の現在の地位に關し危惧の念を抱くものを生じたりと、斯くの如きは政府の眞意を諒解せざるの甚しきものにして民衆の福利、國家の公益を目的とする郵政の業務に從ふ職員に對してはその身分の高下を問はず政府は一樣に

その地位を保障、俸給、給與その待遇および將來の昇進等についても中華民國の約束せるところと毫も異るところなきを期しをれり、寧ろ各人の勤勉に應じ將來の好遇を與へんとするの用意あるものなるにつき郵政各機關の職員はその居に安んじその職務に盡瘁すべし、重ねて茲にこれを訓令す【新京電話】

有吉駐支公使のアグレマン回答

來週早々發送の豫定

【上海特電二十三日發】有吉明氏に對する南京政府へのアグレマンは去る十五日南京政府に接受したので回答は來週早々發送する筈

【南京廿二日發】有吉氏の駐支公使アグレマン問題につき外交部では

未だアグレマンを求められてはゐない、しかし求められれば國民政府として相當考慮して回答する別に反對すべき理由もない

との口吻を洩らしてゐる

亞細亞局第三課長任命

【東京二十三日發】內田外相は十九日の閣議にて亞細亞局に滿蒙對策の調査を專ら管掌せしめるため第三課を新設するに決し現在課…

滿鐵沿線警備充實

昇格新署の陣容を決定

滿鐵沿線各署における關東廳警察の配置變更、增補異動は高築繁茂期を目前に控へて頗る緊急事とされてゐたが、森本警務課長沿線視察の結果左の如く決定した

一、警備の重點は依然安奉線におき同沿線の警備は一層充實せしむること

二、鞍山大石橋間の危險率增加せるにつき相當數增派のこと

三、營口は地理的に孤立しをり非常時に際し增援に困難を伴ふにつきこれ又相當數增員すること

尙新昇格三署配屬の新陣容は署長以下左の通り決定した

▲蘇家屯　署長警部植田德次▲警部補林周吉、飯盛三夫、岡田佳人▲外巡査五十五名、巡捕四十名、囑託一名

▲范家屯　署長警部渡邊政雄▲警部補津田誠、加治狛、黑瀨始、巡査三十名、巡捕二十五名、外囑託一名

▲鳳凰城　署長警部田上乾吉▲警部補本田吾治、北里房義、伊東茂敏、山內俊信、巡査七十名、巡捕六十名、囑託一名

聯盟總會特派代表松岡氏に決定

滿洲視察後正式任命

【東京二十三日發】今秋の聯盟總會に我代表中內地より派遣する代表は松岡洋右氏に確定、既に同氏の受諾を得たが、任命は氏の滿洲視察歸京後で、他の二名は長岡、佐藤兩大使の模樣である【寫眞は松岡氏】

代表として特派するに決し、既に松岡氏に聯盟對策及び滿洲問題對策の立案を委囑せることが判明した松岡氏は約一週間前より連日外務省に登廳對策の完備に努力してゐるが、更に內田外相の懇望により二十六日東京發渡滿三週間滿洲現地調査に當ることゝなつた

松岡氏は適任

【東京二十三日發】松岡洋右氏は近く渡滿約一ケ月間の豫定で滿洲各地を視察する事となつたが、右は聯盟總會に列席する準備行動であつて又滿鐵副總裁として經驗あり氏が語學に堪能である事外交官として更に近くは上海の停戰協定における手腕等よりみて聯盟總會の代表としては最も適任と觀られてゐる

聯盟總會特派の松岡氏近く來滿

約三週間現地を調査

【東京二十三日發】今秋の聯盟總會は滿洲國承認問題を繞つて紛糾が豫想されてゐるが內田外相はこの外交難局に處するため總會開催中松平駐英、長岡駐佛、吉田駐伊、佐藤駐白、各大使をジュネーヴに總動員し、英、佛、伊等の大國代表と政治的折衝に全力を盡さしむると共に、特に滿洲問題に精通せる政友會代議士松岡洋右氏を總會…

角蛇

◆上海で重大な役割を演じた松岡洋右氏、今度はまた重大使命を帶びてジュネーブに使ひする。

◆わが政治外交界における特殊な存在としての松岡氏である、一層の自重と健在を。

◆學良軍の迅速な移動、湯玉麟の不可解な態度、それに滿洲國軍の待機。

◆今や採取期を控えて阿片王國熱河に熱し來る戰機――學、湯、滿の三巴は果して何う廻轉するか。

◆「熱河の存亡は余の死活に關す」と學良、ナルホド阿片中毒患者らしい悲鳴。

◆晴れのオリムピックを控えて我ダイビング選手の奇禍、我競泳界最初の犧牲悼まし。

◆土用、本格的の暑氣、明日は日曜日、郊外へ、海へ。

▲中川四郎氏（滿鐵埠頭事務所海運長）社用を帶び廿三日午前九時發列車にて北上

ヤング專門委員

滿鐵中心に鮮人問題調査

あす朝急行で來連

國際聯盟調査團專門委員ヤング氏は豫定を早め廿四日朝着の急行で來連の豫定であるが、大連では滿鐵を中心として朝鮮人移民問題等について調査を進める筈

佛軍艦拔錨

入港中であつたフランス東洋艦隊所屬アルゴール號は廿三日午前五時威海衞に向つて拔錨出帆した

滿蒙の戰慄 (52)

直木三十五作　淺枝次朗畫

進軍（一ノ八）

道木は、床の上に、膝を突いてゐる捕虜へ

「煙草をのむか」

と、聞いた。

「はい」

支那人は、笑つて、御叩頭した。道木は、赤い袋の煙草を、二本、突出すと、つゞけさまに、御叩頭をして、恐る〳〵、それをとると、內懷のポケットへ、大切そうに、仕舞ってしまつた。道木は

（可愛い奴だ）

（殺さない方がいゝ。こんな奴が外にも居るだらうから）

と、感じた。そして

と思ふと、二人を、取卷いて、立つてゐる兵に

「何うだ――人間といふ者は、可愛いゝものだ。無暗に殺すな」

「はつ、然し、こいつなど、上出…

「大連？」

「私、屑はれてゐた所、日本から、こういふ物、買つて、賣つてゐました」

「何處だ」

「浪速通」

「名は？」

「齋田」

「齋田？、何といふ？」

「いろ〳〵、名があつて、判りません」

「一斑、いくらで、買ふか？」

「知らん」

支那人は、すつかり、安心したらしく、笑つて、首を振つた。道木は、手帳を出して、名を書きながら

「齋田といふのは、日本人だな」

支那人は、頷いた。

「國賊ですの」

と、兵が云つた。

「うむ」

道木は、手帳を納めて

「今の馬賊の本據地は、こゝから遠いか」

「昨日は、こゝから、三十里位の、山の中にゐた。今日は、わからん」

「本據地は、毎日、變るのか」

「判る――判らんと、食物が、少い」

「何を食つてゐる」

道木が、そう云つた時、プロペラの音がしてきた。

「あゝ」

支那兵は、手で、素早く、耳を塞いで、床の上へ、突伏してしまつた。兵が、笑ひ出したが、支那人は、道木の靴の間へ、顏を入れる位にして、うづくまつてゐた。

「成る程れ」

と、道木も、それを見て、笑つた。

來の方です。日本人に、使はれてゐたせいで、いゝ所をさつてゐるのであります。外の奴は――」

一人の兵が、云ふと、捕虜が

「そうです、そうです。私、日本人、好きです」

「うまくやつてやがらあ」

その聲に、人々が、どつと、笑つた。遠くで、銃聲がした。

「步哨、大丈夫か、ちやんと、やつてゐるだらうの」

と、道木が、呼ぶと

「やつてをります」

と、誰かゞ、答へた、道木は、一挺の銃を、自分の後方から、引出して

「この銃は、何處から、手に入れたか？」

支那人は、それを、暫く、眺めてゐたが、手にとつて、

「銃、ピストルは、大連から、來る」

元氣一杯で學生柔道軍來る
早速大連道場で練習

日本柔道界の雄たる古澤六段の統帥する全朝鮮軍を見事撃破し破竹の勢ひを以て日本柔道界の一大王國として誇る二宮、淺見兩六段統帥の我が滿洲軍の堅陣を玉碎せんとする東都諸大學の柔道學生聯盟軍伊勢六段一行四十一名の大軍は聯盟理事高廣三郎六段に引率され二十三日午前八時着列車で長途の旅の疲れも見せず二宮宗太郎六段以下の滿洲軍の選士及び關係者並びに各大學先輩等多數の出迎へを受け元氣よく着連、直に兒玉町滿鐵社員會簡易宿泊所に投じ午後一時より大連道場に於て明日に迫る大試合に備へる爲一行ははち切れんばかりの元氣で猛練習を行つたが一行を代表して高廣六段は語る

滿洲軍と對戰するのは今回で三度目然かも一勝一敗の跡を受けて今回は決勝戰とも云ふべき試合でありますのでチームの組織するのにも非常な苦心を致しました、對朝鮮軍には全員協力一致敵にあたりましたので大勝を博しました、對朝鮮戰終了後直ちに奉天に參り奉天では本庄軍司令官に御會ひして種々御話を承り後長春に參りまして執政、執政夫人その他各要人の前で段取り、型、紅白試合を御覽に入れる光榮を得まして一同感慨して居ります、幸に一名の病人も出さず非常に元氣で居ります何分滿洲軍は二宮、淺見兩六段以下の强剛揃ひでありますから大いに案じて居ります、然し正々堂々と大いに戰ふ考へで居ります【寫眞は驛頭の一行】

メンバー交換
堂々と戰ふ

昭和柔道史上を飾るとも云ふべき東京學生聯盟軍對全滿洲軍の柔道試合は二十四日午後一時より大廣場東拓敷地の相撲場跡に於て開催するが、廿三日午前九時半より滿鐵社員倶樂部樓上特別室に聯盟軍より高廣三郎六段、伊勢五段、上妻、古賀、道明各四段、滿洲軍より二宮六段、吉原、山根、江頭、日浦各五段集合の上メンバー交換の結果、左の如く決定し又試合方法は講道館新規定を使用することゝなり審判は高廣三郎六段、鯨岡五段となし又正々堂々紳士的に戰ふことを申合した

學生聯盟軍

大將　五段　伊勢　治（明大）
副將　五段　加藤　幸藏（高師）
五段　奥村　信一（中大）
四段　道明　留男（高師）
四段　上妻　利男（慶大）
四段　小田原德晉（明大）
四段　赤山　政治（早大）
四段　中島　吾市（高師）
四段　伊藤志馬三（中大）
四段　山口　利雄（早大）
四段　米盛　運（日大）
四段　中川　冬藏（高師）
四段　能登　又吉（日大）
四段　工藤千代吉（中大）
四段　西田　東生（明大）
四段　藤原愛三郎（高師）
四段　崎　幸男（慶大）
四段　古賀　治朗（明大）
四段　尾崎　政久（立大）
四段　磯部　修二（拓大）
四段　中川　豐（明大）
四段　林　博（日大）
四段　藤田　義人（明大）
三段　島本　勇藏（法大）
三段　肥後　重治（日大）
三段　宗川　昇（法大）
三段　吉田忠一郎（拓大）
三段　鈴木長一郎（拓大）
三段　織田　雄一（慶大）
三段　加藤　靖夫（慶大）
三段　齋藤　源彌（立大）
三段　五十嵐光雄（中大）
三段　白澤幾次郎（早大）
二段　川瀨　正（工大）
先鋒　二段　横内　銀一（法大）
補缺　三段　押田　文明（中大）
二段　根本　享宥（立大）

全滿洲軍

大將　六段　二宮宗太郎（大連）
副將　六段　淺見　淺一（大連）
五段　佐々木雄哉（撫順）
五段　吉原　政紀（大連）
五段　目黑　清（旅順）
五段　深谷　甚八（奉天）
五段　日浦　勳喜（大連）
五段　石川　速水（大連）
五段　三浦　正美（旅順）
五段　高根澤貞藏（大連）
五段　伊藤左武郎（長春）
五段　菅野　增美（奉天）
四段　星　亮三郎（大連）
四段　伊藤藤四郎（撫順）
四段　小山　治平（奉天）
四段　三間音次郎（營口）
四段　石崎　守雄（旅順）
四段　伊藤　次郎（旅順）
四段　阿部　寅三（開原）
四段　白鳥　敬藏（長春）
四段　佐々木武三郎（鐵嶺）
四段　今里　新吾（安東）
四段　大野孝之助（大連）
四段　長澤榮太郎（旅順）
四段　鍛冶　英一（旅順）
四段　大越　兵司（長春）
四段　野口　基城（營口）
四段　刈谷　勝美（大連）
四段　宮崎　嚴洲（大連）
三段　花田　光雄（旅順）
三段　田中　虎雄（大連）
三段　小原　盛夫（鞍山）
三段　門脇　倫（大連）
三段　川上　年雄（大連）
先鋒　二段　大島　耕平（大連）
補缺　五段　島田　知乘（奉天）
五段　山浦　新治（鞍山）
四段　田中　忠勝（安東）
四段　鈴木　薰（鎭子窩）
四段　繩田　清藏（大連）
四段　隼保　勇（大連）
四段　齋藤　次（撫順）
四段　通山　道奕（公主嶺）
四段　田中　德生（旅順）
四段　宮武　松太（旅順）
三段　後藤　豐（大連）
三段　成松　清藏（大連）
三段　伊藤　久彌（大連）
二段　田中　保（大連）
二段　日野　武男（大連）
二段　久間　不薰（大連）
二段　井上　政男（大連）
二段　山野　三郎（大連）
二段　佐藤　良吉（大連）
二段　阪井　慶太（大連）
二段　福島　巖
二段　齋藤　潤吉

戰況中繼放送

大連放送局では二十四日舉行の東京學生聯盟軍對全滿軍の戰況を岡部平太六段により中繼放送する

ロシアの監視船と日本蟹工船が交戰
漁夫と船員三名負傷

【小樽二十二日發】廿二日午後一時北海道廳入電によれば今朝五時カムチヤツカ西海岸イーヤ海上で日本蟹工船幸愛丸、汽船勝丸（四十噸）がロシア監視船と衝突、双方發砲交戰の結果日本漁夫一名、船員二名負傷、ロシア監視船は日本の攻撃に耐へかね逃走した、今の所原因その他不明

輕量拳鬪有望
馬術も有利

【ロサンゼルス特電二十一日發】オリムピツク日本拳鬪選手コーチ不川氏は米國の拳鬪最終豫選見學のため二十一日桑港に向つたが氏は語る

今朝迄各國選手の練習振りを見ると重量の多い方では日本チームは見込ないが、フライウエート、バンタムウエートでは相當自信がある强敵はイタリー、フイリツピン、アメリカだらう日本が重い方で選手が少く反對に外國では輕い方の選手がなくて困つてゐる有樣だ

又馬術選手城戸少佐は語る

競技場の土が固くて馬の脚を傷めたが競技の始まる頃にはコンデイシヨンが良くなろう、後から乘り込んだ各國選手は大概始まる頃に脚が惡るくなりそうだ早く土地に馴れた方が有利だ

女子選手好調

【ロサンゼルス特電二十二日發】今日イングルウツドの練習で走高跳の相良孃は一米突五三、廣橋孃は一米突五一の何れも日本新記錄を出し中西孃はハードルに一二秒四の自己所有の最高記錄とタイ記錄を出し何れも好調を示した

ダイビングで中島選手逝く
頭を打つて腦震盪で

【東京二十三日發】二十二日午後三時半市外碑文谷日本大學プールで同校醫學部一年水泳部ダイビング選手中島作藏（二）君が十米跳込臺から跳込んだ際同跳込臺の五米の處から跳込んだ二十五歳位の一靑年の脚に頭を打ちつけ腦震盪を起しその儘水中に沈んだので選手達が直に救ひ揚げ附近の醫師を招き手當をしたが内出血の爲絶命した、なほ慘事を惹起した靑年は混雜に紛れて逃亡したものらしく身許不明

中島選手は我國一流の選手で殊にスプリングボールドが得意であり六月五日に行なはれたオリムピツク派遣選手選抜水上競技第二次豫選の跳込に一〇四點七で優勝したが決勝に零點二の差で惜しくも選に漏れた悲運者である

バス車掌は陰性
また眞性五名

廿一日發病し疑似コレラ患者として療病院に收容中の市内濱町五四番地小間物行商人楊世臣（四三）及び周水子驛家屯吏鳳奐（三七）の兩名は檢鏡の結果廿三日午前九時眞性と決定したなほ市内寺内通三二番地滿電バス車掌張世寶（一七）は陰性と發表された、また廿二日小崗子署より疑似コレラ患者として療病院に收容した市内榮町二番地李力疾妻、李道氏（六）及び羅士林、朱老大の三名は培養試驗の結果廿三日午前十時何れも眞性と決定、市内大龍街七一帽子製造馮永寛方炊事夫王洪祥（五〇）は廿二日午後發病廿三日午前七時小崗子岐山醫院にて診斷の結果疑似コレラと判明療病院に收容した

乞食が疑似

廿二日來濱金町六一番地附近の襤褸なりをしてゐる病身の乞食があるのを沙河口署檢病隊が搜査中であつたところ廿三日朝再び眞金町に現れたのを引つ捕へて派出所に連行診察の結果疑似コレラと判明したので療病院に收容したが同人は金州生れ住所不定都月明（六〇）で沙河口署衞生係では附近の大消毒を行つた

チチハルに疑似發生
苦力が罹病

【チチハル廿二日發】十九日大連より來た福昌公司扱ひ苦力四十二名の内二十日一名、廿一日一名發病六時間後死亡した廣濟病院で診察の結果疑似コレラと認定された衞生設備不完全の當地とて蔓延のおそれあり日滿官憲は嚴重防疫中

豫防注射液を晝夜兼行製造

本年六月コレラ患者發生以來滿鐵衞生研究所では滿鐵沿線はもとより滿洲國内各方面にワクチン注射液を送つてをり廿二日現在にその總發送量は八十五萬人分を突破してゐるが、なほ各方面共不足をつげてゐるため同研究所では晝夜兼行全力をあげてワクチン液の製造に多忙を極めてゐる

滿鐵沿線患者

滿鐵衞生課入電によれば廿二日午後奉天に滿洲人一名のコレラ患者發生計六名となり、また長春では二十一日疑似と決定した鮮人三名は二十二日午後一時眞性と決定し更に同四時鮮人女一名の眞性を發生計十二名となつた

なほ滿洲において最近コレラの最も流行を極めた大正八年の總患者發生數は七百二十名（關東州内を除く）である

佐藤美子孃が日活へ入社
トーキー女優として

【東京特電二十三日發】去月十一日フランス留學から歸朝した有名なソプラノ歌手佐藤美子孃は今回突如日活に入社今後同社のトーキー女優として活躍する事となつた第一回作品は菊池寛原作「花の東京」と決定トーキー一本出演料一萬圓と云はる【寫眞は美子孃】

分水驛長ら所在判明
救出に努める

十八日匪賊のために拉致された分水森園驛長および元田氏の行方については其の後關係筋から密偵を派して搜査中であるが兩氏は分水を距る六十支里の地點遼河近くの小房子に監禁されてゐるもの〻如く同所は同附近馬賊の大頭目名勝の根據地で關係筋では兩氏の救出に萬全の策を講じてゐる

外人宣教師の救出策を協議

【チチハル廿三日發】甘南にて馬賊に捕へられたるスイス人宣教師ヒ、クツテルに對する馬賊要求の身代金に對しアポストル管長はハルビンのフランス領事を通じ我が軍部に身代金支拂不可能に就き至急救出方取計はれたいと依賴して來たので當地林特務機關長は二十三日午前十時程志遠省長に面談救出方法を打合せその手配をなした

少年團内地へ

大連少年團では内地見學ならびに各地少年團と合同野營をなし少年團の訓練と相互の提携を圖るため阿左見團長、武副團長、松尾團附が引率し内地見學旅行を行ふ事となつた、團員十二名、一行は廿六日出帆のうすりい丸で出發、來月十八日歸連するが團員は左の通りである

▲團長阿佐見福馬▲副團長武午師▲團附松尾忠風▲團員西園敏夫、石動朝彌、中村一馬、新妻泰夫、岩間良三、勝又一郎、水谷政一、的場貞介、早川孜、石黑敬一、内田勝祐、住田守

落籍した愛妻の死を悲しみ遺書
療病院から行方不明

元旅順郵便局員南場安之助（三四）は去る四日局を辭職し同市新萬歳樓の酌婦井上マサノ（二七）を落籍して來連、市内大廣場附近に間借し女はカフエーの女給となつて働き男は就職を探してゐるうちマサノは去る十二日赤痢に罹り療病院に入院したが二十一日午後一時ごろ遂に死亡した

安之助は妻の死去をひどく悲觀し同午後二時ごろ療病院を出たまゝ行方不明となり知人の間で不審に思つてゐると翌朝知人の旅順市朝日町十五番地佐藤久太郎宛「妻の後を追ふて自殺します、何分後事をお願します」との遺書を郵送して來たので佐藤方で驚いて大連署に安之助の搜査を依賴して來た

死體の引取り人がない

療病院では語る

井上といふ婦人は十二日入院して二十一日午後一時ごろ死亡しましたが常に親切に看護してゐた男が安之助といふ人でせう、井上さんが死んだ直後、男の方は棺の用意して午後三時までに歸ると云ひ置き病院を出ましたがそれからいくら待つても歸らず死體の引取人もないので市役所に引渡し二十二日荼毘に附しました

獨米一勝一敗

【オートイユ二十二日發】デ杯インターゾーンドイツ對米第一日シングルス試合はクラム接戰の後辛勝したが次いでヴアインス餘裕ある戰ひ振りで勝ち米獨一勝一敗となつたスコア次の如し

フォンクラム（獨）七―五、五―七、六―四、八―六　シールズ（米）
ヴアインス（米）六―三、六―三、〇―六、六―四　プレン（獨）

西部野球組合

廿四日開催の本社西部大連支局主催の西部大連軟式野球大會第一日戰組合せは左の如し

▲二十四日（日曜日）
聖德倶樂部―水源地倶樂部
沙河口研究所―益濟寮
組立職場―回春街倶樂部
セット倶樂部―電氣A

▲二十五日（月曜日）
工具職場―大正チーム
實業倶樂部―木友倶樂部
下藤倶樂部―客車A
鍛冶職場―親友倶樂部

▲二十六日（火曜日）
鑄物A―消費組合
回春街車友倶樂部―NSK倶樂部
製鑵倶樂部―EC倶樂部

▲二十七日（水曜日）
客車B―車輛職場
旋盤―電氣B
天の川發電所―組立仕上倶樂部
鑄物B―倉庫

▲二十八日（木曜日）
双葉倶樂部―沙河口局

近衛秀麿子

【東京二十三日發】近衞公の令弟音樂家近衞秀麿子は擽て氣管支炎と腸胃病で療養中六月廿二日の硝子協會主催二十三日のオリムピツク選手音樂送別會に病を押して出席した爲めに病勢昂進入院加療中二十二日午後十一時四十一分死去した享年三十三

情婦と暮す夫の搜査願

市内千歳町四〇番地和田芳次郎（四七）の妻光枝は本年六月二日鄕里へ歸り去る十八日歸宅したところ家の中はガランドとなり夫の姿が見えないので不思議に思ひ事情を調べて見ると、芳次郎は妻が歸國中自宅を引拂ひ情婦と大連市内に世帶を持つてゐることが判明光枝は憤慨して二十三日大連署へ夫の搜査を願出たなほ芳次郎は義足である

同居人の盜み

市内千草町九一鳥羽洋行支配人沖本豐助氏（三）方同居人廣島縣生れ齋藤榮（二八）同山口清（二七）の兩名は本年四月中旬以來約二ケ月に亘つて家人の不在中指環、時計等賣金廳十六點（價格五百圓）を持ち出しこの程同家を飛び出して奉天に逃走潜伏してゐるのを沙河口署の手配により奉天署にて逮捕廿三日朝沙河口署伊達刑事が護送して來たが竊取品は何れも入質連鎖街ラッキーカフエー西通り滿洲カフエー等で費消してゐた

けふ競馬中止

廿三日より開催の筈であつた大連競馬倶樂部十周年記念競馬會は昨日來の降雨のため馬場不良で中止し廿四、五、六と順延する

青木氏送別會

藏前工業會滿洲支部では前幹事滿鐵技師青木信一氏が今般長春鐵道事務所長に榮轉來る二十五日朝赴任するので同氏の送別會を廿四日午前十一時三十分より大連ヤマトホテルにて開催する申込は電話七八三四番（中野）へ、會費は金二圓

●●●大塚のカバン藏ざらへ●●●　浪速町三丁目大塚鞄店では廿日より八月十日まで年一回の鞄の藏ざらへ大賣出を催して居るが時節柄三割引より一割引と云ふ思ひ切つた賣出である

天氣豫報

二十四日　南の風（晴）後驟雨模樣

滿潮（午前二時十五分　午後二時二十分）
干潮（午前八時三十分　午後九時）

各地氣溫

	二十三日午前十一時	前日最高
旅順	二六、一	二四、七
大連	二六、四	二六、三
營口	二六、八	二七、六
奉天	二五、八	三一、二
長春	二五、四	三一、一

けふの小洋相場（正午）金百圓は一五二圓二五錢

國難日本刀（41）

高桑義生作　京極佳夕畫

あざの女（十）

それから五六日たつと、米艦再來の噂がパッとひろがつた。東の方から來る旅人は、一人として、この話をつたへない者はない。

「忘れもしない、ちやうど數への十六日でしたれ、前からぼつぼつ噂がないぢやなかつたが、まさに眞實、去年のあめりか船が、神奈川沖に押寄せたといふ知らせなんです。關東の騷ぎは、お話しにも何にもなつたものぢやありませんよ。何といつても、今度は生やさしい事では歸るまい、先方もその覺悟でやつて來たんで、船數も前よりずつと多いし、船も大きい、噓も自慢もないところ、山のやうな奴──これが大砲の筒先そろへて打出したら、江戸も何もひとたまりもあるまい、いやもう恐ろしい事になつたものぢや」

「わてえなどは、折角な江戸見物に出かけたんやが、見物もそこそこに、逃げて來たんや。江戸ちう••ところは恐ろしい處や」

「いや、江戸ばかりぢやない。日本中の大騷動、うかとしちや居られんのぢや」

米艦來！─前年にましての騷ぎである。

安治川口で、どこかの船乘の語つた事は、譬ひもない事實だつた。去年の夏、幕府はあめりか使節にむかつて、

「明年諾答つかまつる」と約束したけれども、實はなんの用意もない、成算もない。だからその狼狽ぶりはひと通りぢやなかつた。よもやさう几帳面に來はしまい、何千里の波濤を越えて、わづか一年や二年の間に、さう容易く來られるものではない──とたかをくゝつてゐたのである。だが、米艦は米本國に歸還したのではなくて、ついお隣りの支那に滯留してゐたしかもある事情から、年が改まると早々にやつて來た。幕府は折檻に海外の事情に迂遠だつたのである尤も、幕府は長崎在留のオランダ人にたのんで、將軍家慶薨去を申出させて、米艦の再渡航を阻止する手段を講じたが、なるほどそれは、彼理の日本紀行によると、かれはその報告を、琉球で受取つた──が、彼理はそんな事は眼中になく、約束通りやつて來たのだ。

西にはまだ露艦との交渉がどうなつたか、その報告もない今日、米艦の再來こそは重大だ。事實は露艦はすでに交渉を終つて、正月八日に退去してしまつたのだけれども、遠い長崎からの報告は、江戸には勿論、京阪の幕府の役人の手にも、更にそれから數日の後、やつと入つたくらゐなのである。

京都所司代、脇坂淡路守安宅は東西の町奉行その他の重役を召集して、今もつて幕府の公報が到達しないことを語り、

「なんとも奇怪至極の事ぢや。すでに庶民の口に噂傳される今日、當所司代の手もとに、知らせの來ない法はない。それとも、幕府は急使は出さなかつたのか？なんで左樣な事があらう。或はまた、庶民の噂は虚傳であるか？斷じて─しからば何とした事であらう。異變ぢや、間違ひが起つたのぢや。さう思ふほかはない。思ふに、急使はたゞの飛脚にあらず、密書傳達などの大切な使命をおびて上洛したるものと推察される。しかしてその密使は、途中において、事變出來のために、今日にいたるもなほ到着せぬのではあるまいか？艦々に看過しがたい重大事でござるぞ」

一同は沈吟した。

當然來べきはずの、幕府の報告不着について、淡路守の判斷は、あたらずと雖も遠からざるものであらう。安宅は更に語をついで、

「ついては、公儀に對しての伺ひ合せは當所司代より差出すこととし、兩町奉行においては、直に街道筋に調べ役人を差向け、嚴重に吟味をいたすやう」

「はツ」

兩町奉行は言下にこたへた。

「もとより當地の調べは申すまでもござらぬ。不逞浪士、あるひは攘夷公卿と氣脈を通ずる怪漢の跋く、策をかまへる者の所業かも知れぬ。各位よろしく心をあはせ、吟味探索いたされば相成らぬ」

と淡路守は訓諭した。

寶生流の辰巳孝一郎氏來連

寶生流寶雲會では能樂師の泰斗辰巳孝一郎氏を招聘し來る二十七日頃から市内信濃町東鄉旅館で約十日間の豫定で寶生流謠曲の教導をするから受敎及び聽講希望者は同會幹事へ申込まれたいと

梅若綠葉會の謠曲囃子例會

大連梅若綠葉會では廿四日午前九時から市社會館で第四十九回謠曲囃子例會を催すが、番組左の如くである

▲素謠賀茂、清經、松風、砧、頼政、梅枝、紘上、葵上、番外野宮▲獨吟▲仕舞小袖曾我、女郎花、笠之段、鵜之段、菊慈童、松虫、二人靜、千手、田村、小鍛治▲囃子鶴龜、熊、山姥

噂話

帝國館の混合プロ第一聲は初日から好調で二日目に至り俄然よく、事務所ではスッカリ氣をよくしてゐるが▲倉重支配人の言ふことを聞くと「お稻荷さんの釜をたいたら今週は這入るぞと御宣託があつた」と放送▲けふは晝間敬老會優待デーで先月は「上海」に當るしお年寄りは後生がよい▲中央映畫館の「若者よなぜ泣くか」の大衆興行は初日から見事ヒットして出て入場人員は同館近來の記錄をつくつた▲たゞ不思議なのは映樂館の不二映畫「熊の出る開墾地」が案外不成績なことで▲宣傳が不足なのか、パッと來ないのはどうしたことだらうと各館でも噂の種となつてゐる▲一昨日の中央映畫館、寶館の野球戰は七對三で寶館に凱歌が揚がつたが▲寶館側から出場した潮田流曉若は口だけあつて見事な遊撃ぶりを示したと好評

本社特選 新棋戰（其七）

先六段△飯塚勘一郎
平手　六段▲小泉兼吉

【圖は五二玉迄の局面】

▲小泉氏　持駒
△飯塚氏　持駒　桂

△三三桂成　▲同金上
△同歩成　▲同角
△四四桂　▲同金
△同銀　▲同角
△三二飛成　▲四二桂
△三四金　▲四三銀打

【土居八段講評】飯塚君は敵の模樣は依つて四四桂打の含みを以て譜の如く三三桂成と成り込んだのは面白い。小泉君は苦戰に陷つたが、然し敵の四四桂打に對し同金と指し敵飛車に侵入されては愈々見込みない、六二玉、五二金、七二玉、三二桂成、八六歩、同歩、九四桂、八七金なら八六歩と打つて極力攻勢を採る方が優る

滿洲農業移民座談會（七）

邦農移民の統制とその保護施設問題
有力なる機關が必要

出席者氏名 ▼竹內德亥（大連民政署長）▼田村羊三（大連商議副會頭）▼栃內壬五郎（大連農事會副會頭）▼小倉鐸二（大連農事會社專務）▼宗光彥（公主嶺實習所長）▼中本保三（公主嶺農事試驗場長）▼鈴木伸二（營城子、篤農）▼山下讓（滿鐵農務課員）▼田中稔（關東廳農林課長）▼鈴木謙（大連農事會社事業課長）▼栗屋萬衛（大連、篤農）▼北浦幸三郎（旅順、篤農）▼千葉豐治（前大連農事會社常務）▼佐藤義胤（滿鐵經濟調查委員會委員）▼橫瀨花兄七（滿鐵農務課員）▼棚橋氏（關東廳農林課技師）▼香村岱二（滿鐵農務課長）▼石原正規（熊岳城實習所長）▼長井租平（滿鐵農務課員）▼黑澤謙吾（滿鐵農務課員）▼佐藤信元（滿鐵囑託、城子疃水田指導者）▼三浦密成（果樹組合技師）▼小田島典三（東亞勸業社員）▼大和田彌一（大連民政署地方課長）【十六日滿鐵社員俱樂部で】

●長井 次に邦農移民の統制機關とその保護施設の問題と邦農移民の奬勵とその財源問題とを一括して論議したい

●栃內 邦農を滿洲に移すにどこが中心になつてやるかをまづ考へねばならぬ、特殊の營利會社を設けよとの說があるが、かくの如き事業は私の北海道における經驗によれば國家がやるべきであつて營利事業として行ふべきではない、しかし滿洲においては日本國家が自ら手を下してやるは考へ物で、そこでこれに代る有力な機關にやらせ、統制は國家がとるべきで、かゝる機關としては滿鐵が適當であると信ずる、同時に滿洲に日本農業移民が入つて來るのは滿洲の進步であるから滿洲國としても受身になつて居るべきでなく相當の援助をなすべきである、さらに移民を收容すべき土地の選擇が極めて肝要である、滿洲には一千六百萬町步の未墾地があるがそのどこへでも任意に入れるものでなく相當の保護を必要とすることは當然である

この際最も大なる障害をなすは無償で入れぬことで、農民が故國土を捨て、他國に出るのは地主になりたいからだから、早く地主になれるやうにしてやらねばならぬ、南米は地價が極めて安いし、北海道、樺太はある條件で入植すれば無償で貰へることになつてゐた、故に滿洲も現在各地で賣買されてゐるやうな相當高い地代を支拂はねばならぬとすれば到底むづかしい相談で、從つて、未墾地は無償で、また先住民の土地は半分は政府で半分は日本人で持つやうにしたいと思ふ、この後者の場合でも出來ればある設備をしたものに對しては無償で拂下げることにしたらば理想的である

さらに移民の保護獎勵法として考慮せねばならぬのは、從來は移民の直接保護だけにつとめたここでこれがため移民が一旦失敗するか又は他の何かの原因で移住地を引揚げた時は、折角の保護も跡片もなく消えてしまつてゐる、よろしく今後は收容した土地を良くしてやるやうにすべきである、卽ち排水、灌漑、衞生、教育等諸が後に來ても直に利用できるやうなものを設備してやることもである、私共は曾て北海道において農事試驗場に模範經濟農家なるものを附屬させて相當の成績を收めたことがあるが滿洲においてもそのスケールを擴大して實行して見たら面白いと思ふ、卽ち日本から來る農民は一、二町の小面積における集約農業しか知らぬから直に滿洲式の粗放農業を營むわけに行かぬ、そこで場所を選んで模範農場をつくつて專門の實地指導の下に組織、機械、經營法作物等を理想的にやつて見せるのである、又農事實習所を設けて農民をこれに收容して實習させる、この實習所は成るべく入植する土地に近い所を選定すべきで嫩江方面に移民しやうとするものが瓦房店で實習するやうなのは抑も無理である

また農事改良試驗場を設くべきで、現在滿鐵のやつてゐる諸調查はこれを永く繼續せねばならぬ、學術的調查は迂遠のやうだが今日では科學の上に基礎を置かぬあらゆる事業は失敗であるかくのごとき一定の方針と國家の保護とにより移民すれば邦農の前途は明るいが、更に移民は原則として家族連れとしたい、青年が一時的興奮で天下國家を論じながら單身で奮鬪することも半年や一年なれば續かうが家を持たぬ移民は不自然で決して永續きするものでない

●小倉 栃內氏と全然同感である、移民機關を營利會社が經營するのは無理で、滿洲へ今後移民を入れやうとするのは南米移民とは全然事情が違ふことを知らねばならぬ、宜しく國家が直接やるか又は國家が危險を負擔し又はバックしてやることが必要である、移民保護の方針で栃內氏と同感であるが、かゝる敎育衞生の施設をするにも營利機關ではむづかしい、移民に要する財源は統制機關とは別個に金融機關を設けてこれにやらすべきで事業をやるものが金融を兼ねるのは弊害が多い、この獨立の金融機關を國家が援助してやることは勿論である

●栃內 云ひ忘れたが、私と雖も財團が自發的に農業を經營せんとすればこれにやらせることには贊成である（つゞく）

南京政府がやれば當方でも對抗する
二重課税問題に關し 福本處長語る

大連關稅徵收處長福本順三郎氏は滿洲國最初の稅關長會議に出席中のところ二十三日午前八時着列車で歸連左の如く語る

今回の稅關長會議は主として內部關係のものが多く、例へば新に滿洲國稅關に入つた者の官制を如何にするかといつたやうなものだが、殆ど決定には至らなかつた、目立つた事項としては南京政府が滿洲諸港の封鎖策を執つた場合の對策如何といふのがあつたがこれとてその時になつてみればはつきりとしたことは判らないわけである只この際考へられることは南京政府が滿洲諸港封鎖の立前から轉口稅を支那各地に於て徵收する、卽ち二重課稅を實現することがその一つ、他の一つは、滿洲よりの輸出品に對し輸入稅を賦課することである、輸入稅は從價稅であるから殆ど禁止關稅に等しく、且つ輸入稅を徵すれば滿洲國を外國として承認したことになるから、恐らく輸入稅はとるまいと思ふ、且つ又南京政府が憎いと思つてゐるのは支那人でなくて日本なのであるから支那人自らの犧牲となるような禁止關稅は今の處やるまいと思はれる、轉口稅の二重徵收は差したる打擊とはなるまいと思ふが南京政府でやるならこちらでも對抗的にやることにならう、例へば外國より一度上海に陸上したのを更に再輸出の場合は最終港に於てとることになつてゐるからこちらでも當然徵稅することになる、一時大連港の二重課稅が行はれてゐたのを再現することになる、貿易業者としては打擊であらうが已むを得まい然しこの種の貨物は極少量だから大した影響はないと思ふが荷主が殆ど外人だから外國人が相當異議を唱へるだらう

專賣案の一段階 米穀法一部改正
買入餘力を八千萬圓に

【東京二十三日發】農林省では米穀の統制案につき省內に米穀部を設置し專賣案を中心として各種の國家管理案に就き進んで協議を進めてゐるが國家管理案に至る一段階として

一、現行米穀法一部の改正
一、現行米穀法施行地域を朝鮮、臺灣に汎擴張する
一、殖民地米の管理

等につき特に考慮されてゐる模樣である、併して專賣案の如き根本案の具體化は來るべき臨時議會迄には殆ど不可能とされてゐる現狀であるので取り敢ず米穀需給調節特別會計法の改正を爲しこれが改正案を來るべき臨時議會に提出することになつた、しかしてこの改正は米價維持の爲め買上げを行ふ場合に買入金を潤澤にせんとするもので現在の買入餘裕金は三千萬圓に滿たざる現狀にあるので本改正案に於ては約五千萬圓を增額し特別會計負擔に屬する證券及借入金の額を通じて最高約四億圓と從し買入れ餘力を約八千萬圓に增額せんとするものである

大詰に近づいた 市場問題
補償金と諸修正案

（五）

小川案における補償金算定の基礎は、卸賣人の總取扱ひ平均年額と純利益率の妥當性は前回に大體述べた。同樣何年買にするかにつき市の方針も一通り吟味したが、これはどうも二三が四といふ風に片づけにくい性質のものであり、自然補償金全額がふらついてくる。委員會ではさう深く考へたわけではないが、いきなり無操作に割つたり減らしたりしてゐる。そこでりふは諸修正案を並べて少し變つた角度から二三所見を述べてみやう

◇

修正案中には純利益を一分、脫退組にけ五割減、北支那青果會社七千圓減額にせよといふのや、脫退組五割減、場外問屋半減、北支那青果三千圓半減といふのも出たが提案者が取消して相川案や大西案に合流したから取上げない。大西案（多數可決案）相川案（少數案）及び原案の內容骨子は左の如くである

●大西案――殘留組三萬二千四百圓脫退組一萬九千圓、北支那青果會社は最大限度一萬圓（補償の必要なきも從事員の退職金として）場外問屋二千圓、合計六萬三千四百圓

原案――殘留組六萬三千三百餘圓脫退組三萬四千九百餘圓（三割減）北支那青果二萬圓、場外問屋四千圓、計十二萬二千三百四十五圓

相川案――殘留組、脫退組は原案通り、北支那青果一萬五千圓、場外問屋二千圓

◇

さて物事落付くところに落付くまでには種々迂餘曲折あるもので…償を知ることは常に必要だ。卸賣人は補償金六十萬圓を吹かけたこともあるが、だんだん値下げして田中案が具體化す頃には三十萬圓からビタ一文まからぬと力んだものだ。これに對し補償の義務がない以上一文もやる必要はないと主張する硬派もあり、現在でも理論的にはさう公言してゐる市議もある。それはともかくとして田中案が補償金を十三萬五千圓以內で纏めるやう市長に一任することにして市會で可決されるや、卸賣人は猛烈に反對したりすねたりしたのはいふ迄もないが、大勢利あらず少しづゝ値下げして行つた。そして結局大連民政署長が卸賣營業者と市當局の居中調停をさるべく餘儀なくされ、歩み寄つて十五萬圓ならばと內定した。ところで十五萬圓は誰の目にも大勉強した先づギリギリ決着のところだらうと思はれた。されば十五萬圓を切込むにしても自から限度ある。原案に近いものならどうやら圓滿に纏まらうが大西案のやうに半減されては頭から出來ない相談を持かけるや…

◇

原案の金額が將來、市の經營負擔が重いやうでは大いに考へ直されねばならぬ。…

曳揚船渠を築造
機船漁業組合で管理

關東州水產會では州內漁業發展助長策として曳揚船渠を築造し州內漁業家に低廉な料金で使用せしむることゝなり滿鐵に右設計を依囑し川口技師の手で設計中のところ漸く出來上つたので來月早々一萬二千圓の工費を投じ榮町第四埠頭に右船渠を築造にかゝり八月中に完成を見ることゝなつたが水產會では右船渠竣工後これを關東州機船漁業組合に無料貸下しその經營一切を委任、創立匆々の同組合の有力なる財源に供し、極力同組合の發展を援助することに決したので、機船漁業組合では右の趣旨を體し過般來理事會を開き、これが利用方法及料金等に就て協議を遂げ二十二日の理事會で愈々正式に決定を見た、卽ち同船渠の利用者は組合員に限ることゝしその使用料金は大體一馬力當り一日四十錢以內とし專門請負業者の見積料金を基本に料金を決定、八日以上に至るときはその後は馬力數の大小如何に拘らず一隻當り一圓の料金を徵收することゝなり、該船渠使用に關する規程も近く關東廳に認可を申請することゝなつた

現在の一般料金馬力當六、七十錢を要するに對し右船渠竣工の曉は四十錢以內にて足りることゝなり又各漁船は少くとも年四回以上の入渠修築を要するので、これより非常な負擔の輕減を見ることゝなり州內漁業者の一大福音である

大連市會續會

大連中央卸賣市場改組の第六十六回市會續會は二十八日ごろ開會の豫定であるが都合によりのびのびになつてゐた

三井銀行異動

【東京二十二日發】三井銀行では本日幹部十五名の異動を發表した

本店營業部長 外山知三
取締役 內國課長
命內國課長 金子堅次郎
命營業部長 上海支店勤務
命ボンベイ支店次長 神戸豪太郎

奥地輸入苹果の稅率引下を陳情
州內各地の當業者等 近く關係筋に運動

州內苹果の生產高は逐年激增し本年は二百萬貫を豫想され今後益々增加する趨勢にあることは既報の如くであるが、これが販路は地理的關係上滿洲國に求めんとするは終港においてなる必然の勢ひであるがこれに關連して滿洲國の輸入稅率は依然接收前の中華民國の稅率を踏襲せる結果、一擔當海關兩二兩七十錢の從量課稅となりこれは苹果の市價が生產費を掩かに割り當業者が非常な窮境にある…

果實輸出販賣組合總會

滿洲果實輸出販賣組合では來十日沙河口驛前關東州果樹組合部共同倉庫所に於て第一回定期總會を開催
一、昭和六年度同組合決算報告
二、定款一部改正の件
三、役員改選の件
四、滿洲果實鐵道運賃輕減方の件
五、滿洲果實の海外輸出に對し出檢查勵行方請願の件
六、關稅賦課法變更方請願の件
七、其他報告事項
の各議案を審議決定することゝなつた

陳情

機船漁業組合理事會

關東州機船漁業組合理事會は二十二日午前十時より引續き開催…

滿鐵社債 申込み殺到

發行條件

商議の委員會

市況

市場電報

國際の打合會

張、湯對立し阿片の爭奪戰

熱河の向背は甚だ疑問　學良不安愈々募る

【錦州特電二十三日發】湯玉麟向背の疑問を中心として阿片王國熱河の山野に戰雲低迷の危機を孕むに至った、卽ち〇〇方面よりの消息によると北平にある學良は兼てより湯玉麟の態度明白ならざるに不安を感じつゝあったところに今回の石本氏事件の結果が彼の豫期したる結果と眞に反對の方向に進みつゝある事實を聞知し一入不安の度を强め武力の威嚇により湯玉麟を北平側に加入せしめんと第百六旅義勇軍第七旅義勇軍の混合部隊を熱河に增發しつゝある、併し湯玉麟が彼の聲明たる熱河に彼等の入國を許すか否かは疑問である、而して學良にとってもこの地は彼の生命であり全力を盡しても得んとしてゐる、かくして阿片王國は學良、玉麟、滿洲國の鼎立三巴の中に阿片採取期に入らんとしてゐる

背後を窺ふ反張勢力

關內東北軍は關東軍が熱河問題の解決を開始せりと認め大狼狽を來し學良は十八日夜將領會議を開催步兵三旅、騎兵、砲兵各一旅を遵化玉田、古北口等に出動せしめ飛行隊及び戰車隊に出動を命じ着々熱河省境の防備に努めつゝあるが**北支一帶の反張派は東北軍の北上を以て北平、天津方面に於て反張派蹶起の好機到來と判斷し反張派に氣脈を通ずる東北軍將領中には日本軍との衝突を慮り內々反張擧兵を促すもの漸次活況を呈して來た、**反張熱は急遽潜航的に猛烈になりつゝあるもの、如く上海申報の如きは學良免職を大聲叱呼してゐる【奉天電話】

調査團を憚る張學良

武裝保安隊を出動

【天津二十三日發】熱河問題は今のところ日本軍に積極的進擊の意志なく且つ湯玉麟の牽制にも成功せる張學良は更に熱河の防備充實を圖る事となり聯盟調査團の滯平中の事とて表面堂々と正規軍を熱河に乘込ませるは不利なので武裝保安隊を承德に繰出す筈で湯玉麟に對し承德附近は保安隊に治安を維持させ熱河軍は北票方面に主力を集め今後に備へよと電報した

學良の義勇軍

【天津二十三日發】張學良は天津の支那商人をして綠色の軍服三千着の調製を急がせてゐる右は第七第十六の兩旅から約五千名を選拔して義勇軍に改編することゝなったもので該部隊に着用せしめ高粱の繁茂と共に蠢動せしめる爲めと見らる

唐集五策動

遼寧民衆自衛軍總司令唐集五は目下通化に總司令部を置き、錦縣に暴威を逞しうしつゝあり、最近第二奉天省政府を組織すべく計畫中にてその主席は未定なるも民政廳長に元通化縣長張煥星を任命して錦縣からの總收入を抗日軍費に充て漸次隣縣を併合の上日本及び滿洲國に反抗の基礎を確立しつゝあり【奉天電話】

山海關に塹壕構築

【天津二十三日發】山海關の何柱國は熱河問題起るや直に戒嚴令を布き夜間の運行を禁ずると共に十八日來人夫を徵發して我が軍に對抗的に塹壕構築なしつゝあり我が守備隊では落合隊長以下兵卒まで一分の隙もなく警戒してゐるが更にはち切れるやうな緊張振りを示してゐる

平津地方の大警戒

北平綏靖公署の命令

【天津二十三日發】熱河問題の緊張と共に北平綏靖公署は天津市政府に對し左の命令を發した

一、日本人及び反動者にして變裝竊かに我軍狀探査或は危害の所爲に出るものは直ちに逮捕すべし

二、地方新聞にして反動者に乘ぜられ又は反動の言論を發表或は軍事消息を揭載したるものは直ちに發行停止すべし

三、民衆運動の激化を防止し非法運動又は宣傳を禁止す

四、兵器その他禁制品の密輸或は所持者を嚴重に取締るべし

五、日本軍の行動は逐一探査速かに報告すべし【奉天電話】

徐永昌は不參加

北支聯合防備會議

【天津二十三日發】北支聯合防備會議に對する張學良の招電で閻錫山、韓復榘、石友三等續々北平に集つたが太原電報に依ると徐永昌は太原政局多忙を極め北平に赴くこと不可能であると云って來た

本社懸賞入選論文

滿蒙維新の大業完成に對する吾人の希望 (6)

教育制度について一言

一

教育を論ずるに當って忘れてはならぬことは宗教と社會制度である。宗教は常に社會制度の基礎を爲すものであって、宗教と社會制度とが密接なる關係に在ることは文化の高低に依りて何等差異がない。科學的發達の幼稚なる社會に於ては、宗教は凡ゆる思想と文化の根柢を爲し、人心統一の强固なる仲介者となってゐることは否めない事實である。固より宗教と迷信とは明確に之を區別し、有害なる迷信は積極的に之を排除し、禁止すべきである。けれども宗教は決して排除すべきものではなく、十分なる保護と獎勵とを與ふべきであって、理由なく他宗教を强ゆるべきでは毛頭ない。學校教育より宗教を全然分離したる制度を採るは、今日文明國の共通的教育制度である。本制度は果して最善のものであるか疑念なき能はずである。教育と宗教とを分離する制度を採るは、國民が多數の宗教に歸依せることを前提とし、信教の自由を保障せむが爲めである。國民に信教の自由を保障することは進んだ制度で寔に結構ではあるが教育と宗教の分離は、國民の道德的訓練に缺陷を生ずること瞭かにして、信教の自由は却て無信仰の自由の如き結果を呈してゐる。人に信仰心なきこと、道德的訓練なきことは、人をして信念なからしめ、輕率浮薄たらしむ。殊に文化の程度低き住民より宗教觀念を取り去ることは危險の最も甚だしきものであるから、教育制度を樹立するに當りては、既存宗教を尊重することゝ新教育の方針は宗教を基礎とすべきであることを希望して已まない。道德仁愛を基調とし、政治の本を王道主義に採る新國家に於て殊に然りとする。

二

滿蒙新國家の政治の大本は、結局住民の安寧幸福を圖り、其の文化を誘發向上するに在る。それには教育の制度を確立して、住民の智能的啓發を圖らなければならぬ而して教育の方針は結局文化的教育即ち普通教育を主とするか實業教育、或は專門教育を本位とすべきかの問題である。換言すれば教育の方針として形而上學に重きを措くか、それとも形而下學に重點を措くかの問題の二つに在る。而して右の孰を採って新國家の方針を樹立すべきであるか何れの國に於ても文化の發達の程度未だ低き地方の青年は、多く文學、法律、政治、經濟の如き形而上學に重きを置き之を修得することを渇望し純粹科學又は應用科學即ち工業、鑛業、農業等の教育、換言せば物質的基礎とする學問は文化の高度に發達したる後でなければ歡迎せられない。此の事實は何等人爲的作用の結果ではなく自然の大勢である。手工を嫌ひ、勞働を蔑すむ土地に於て低級の實業教育を施さむとするのは、勞力と資力とを徒費するに過ぎない。

滿蒙の住民は三千萬人と云はれてゐる其の九割九分迄が農民だと報ぜられてゐる。滿蒙は農業の天地である。新國家の大本は實に農であると云はねばならぬ。此の農民の文化の程度を向上發達せしむることが教育方針の根本であらねばならぬ。此の事實からすれば實業教育に重きを置くべきであると思ふ。けれども實業教育の普及は文化の進んだ後でなければ望めない、それは自然の大勢であるとせられてゐる。

それでは滿蒙に於ける從來の教育施設はどうであったか、最近の全省教育統計の數字の示すところに依れば初等學校數が一萬百二十九校、中等學校數が二百七十一、專門學校一、大學三で其の總學生數が六十四萬二千三百四十三人である。其の內中等程度の職業學校數が四十九、學生數が二千八百三十四人である。大學は東北大學、馮庸大學、吉林大學の三で何れも大體綜合大學である。尙東省特別區には單科大學であるハルビン工業大學と東特區法政大學（鐵道運輸科もあり）とがある。其他社會教育の施設も多少あり又私塾に至っては其の數甚だ多い。即ち滿蒙に於ける從來の教育制度は大體文化的教育、即ち普通教育と實業教育或は專門教育とが併用せられてゐるたやうにも見える。果してそうであるとすれば、新國家としては此の教育施設を改善して發達せしむること、教育方針の重點は出來得れば實業教育に置くこと、私塾は廢して小學校教育を完備し、之を義務教育とすること、中等教育以上は自由教育とすべきこと、何國人と雖も自由に入學し得ることゝすべきである。

三

教育用語はどうするか、日本語を新國家內子弟に教へ込み日本人と何不自由なく交際が出來るやうにせねばならぬ。日本語が普及して始めて眞の日滿親善となり、滿蒙が七民族安住の地となるのであると云ふ人もある。理想としては結構で是非そうありたい。又そうすべきだらう。現に文教司では特に日本語を必須科目に認定する樣各省へ通告し實行を促す處があったと云ふ。けれども言語は民族文化の表示であって、思想や慣習はその國語によって完全に云ひ表さるべきものである。初等教育の初めから全然日本語を用ふる時は、全く民族固有の文化は中斷せられて、其の思想、宗教、慣習、道德等の凡てが玆に廢頽せられ、民族の精神に大擾亂を惹起し、其の結果は、日本語を以て普通教育を受けたものゝ內より最も不良性を帶んだものが輩出するとあるべきを惧る。依って滿蒙に於ける教育制度は滿蒙維新の大業を完成するに當り大改革を斷行し、從來の制度を融然混和し初等教育には中國語を以てし、大學及專門教育に至っては日語、中國語、外國語何れにも特殊の待遇を爲さず、何國語を用ふるも自由たらしむる。

湯の家族避難

【天津二十三日發】湯玉麟は其の後更に貴重品をトラック四臺に積み第一夫人第二夫人子供四人を當地イタリー租界某所に引越さしめたが一昨夜イタリー工部局は湯の家宅搜査を行ひ拳銃二十數挺、彈丸若干、阿片包千個を押收して引揚げた、然し支那公安局の折衝で昨日拳銃だけはこれを返還した模樣である

羅文幹部長辭表提出

【上海廿三日發】羅文幹は外交問題重大化しその重責に堪へぬとの理由で國民政府に辭表を提出した國民政府も今回は慰留せず更迭に決し、後任として元外交部長黃郛を任命することゝし交涉中なるも近日正式任命の模樣である

北票平穩

石本事件解決

【東京二十三日發】二十三日陸軍省着電に依れば朝陽寺事件に關し熱河官憲は誠意を以て陳謝してゐたが要求を容れたると該事件には熱河軍憲の策動は殆どなく一に張學良が所在の兵匪を使嗾して行はしめたる事を認めたるを以て朝陽寺附近を占據しありし我部隊の主力は七月廿日駐屯地に歸還した石本權四郎氏は未だ救出し得ないがそれ／＼盡力中七月十七日以來不通であった北票線は二十日開通し同方面は漸次平穩に歸しつゝある

共產軍一萬武漢に迫る

【漢口二十二日發】湖北の共產軍約一萬は黃安黃陂孝感を中心に集結し武漢に進入の姿勢を取りつゝあり孝感にある第十師は急電により今朝當地飛行場より爆擊機四機を急行せしめ共產軍集團部隊に爆擊を行ひ相當の損害を與へ共產軍は一時東北方へ退却した尙廣域南方の早市は昨日共產軍に占領され四十八師の一營は全滅した、今町は掠奪され烏有に歸した

蔣林會見協議

【上海二十三日發】支那側報道に依れば蔣介石は汪精衞の招電に依り二十二日朝漢口發廬山に來り國民政府首席林森と會見し日貨問題を協議し二十四日朝南京に歸る豫定である

新統一機關內容

新機關の長官は『在滿全權大使』　廿五日の閣議に上程

【東京二十三日發】二十二日午後の關係次官會議で決定せる滿蒙四頭政治統一機關設置案內容は左の通りであるが、本案は統帥權及び豫算問題に關連するため二十五日午後の關係四大臣會議及び閣議決定に際しては多少の變改は免れぬかも知れない

一、四頭政治統一機關は**官制に依らず**關東軍司令部條令關東廳及び外務省事務規定等の改正に止むるものとす

一、新機關の長官は**在滿全權大使**（特派を削除）と稱し現役陸軍大、中將を以て之に當て文官たる身分に於いて內閣に直屬し武官たる身分において關東軍司令官の職務を執るの三任一致主義によるものとし官等は親任官とす

一、全權の下に事務總長を置き全權を輔佐し、その下に置く**內務、警務、外事の三部長及び滿鐵を指揮監督する**

一、事務總長及び各部長以下關東軍顧問をして之に當つ

一、內務は部殖產、財務其他現在關東長官のとってゐる職分の大分を繼承、部長は文官とす

一、警務部は關東廳警務局の事務全部を繼承し警察官及び憲兵を指揮し專ら治安維持に當り部長以下は關東軍憲兵隊長又は同軍顧問をして之に當つ

一、外事部は外交關係の事務を擔當し、部長は總領事又は關東軍顧問を以て之に當て、滿鐵附屬地外における各外交官を指揮監督す

一、滿鐵の有する**附屬地行政權以下從來の儘とし**滿鐵に對する全權の監督權を擴充す

一、新機關に必要なる場合には全權の諮問に應ずるため各方面の學識經驗ある者を網羅すべく顧問を置く事を得

一、**新機關の事務所は現在の關東軍司令部を擴充**して在滿全權編員事務所とす

齋藤首相語る

【東京二十三日發】齋藤首相は避暑靜養のため二十三日午後二時葉山一色の別莊に向ったが出發に先立ち左の如く時局談を試みた

◇…農村救濟　關係五大臣會議は未だ全部決定してゐない、臨時議會は八月二十日頃開きたい希望だが閣議では未だ決定してゐない

◇…滿洲四頭政治統一問題　來週廿五日に關係閣僚と話をする事になってゐるが來週中に自分としては決定したい希望を持ってゐる現在の案では樞密院の御諮詢を奏請せずに行きたいとその方針で案を立てゝゐるからその通りに話が纏れば簡單に實行する事が出來る、而して成案が確定すれば八月一日からでも直ぐ實行出來るわけだがそれも廿五日決定すると思ふ

◇…後任滿鐵總裁　成るべく速に決定したいが四頭政治統一問題が片付いてからといふ事にならう

◇…聯盟代表　松岡洋右氏が行く事は聞いてゐるが石井菊次郎子が行くかどうかといふ事は全然聞いてゐない

首相拓相會見

新統一機關懇談

【東京廿三日發】永井拓相は廿二日午後五時三十分齋藤首相を訪ひ滿洲四頭政治統一及び日滿經濟委員會案につき懇談し特に四頭政治統一案については今日次官會議で大綱を決定したのだから閣議に速かにかけられたいと希望した

有吉公使を承認

國府アグレマンを與ふ

【東京二十三日發至急報】外務省着電＝國民政府は有吉大使の支那駐劄公使たるにアグレマンを與へた

昭和八年度事業費豫算

滿鐵地方部打合會議

滿鐵地方部昭和八年度事業費豫算の總括的打合會議は廿三日午前八時から武部次長以下各課長、各地方事務所長、その他關係係員參集のうへ開催、午後三時終了したが本日の最後的打合せによりいよいよ庶務課經理課の手で豫算案を編成七月中に經理部に提出の豫定である、今年度當地方部で各課所に事業部豫算提出を求めた處總額八百萬圓を超過し到底それだけ莫大な豫算を經理部に提出することは不可能なことであるため最高議を求め、かくして各課所で最必要の事業として提出した金額は計三百萬圓となった、しかるに地方部の七年度事業費實行豫算は僅九十萬圓にすぎず本年の滿鐵の營業成績から見てもそれに比較して急激な增額は到底不可能であり、また地方部の豫算編成方針としても本年度は確實に經理部の通過を豫想し得る程度の豫算を編成する方針であり、これ等の事情からして結局地方部の八年度事業費豫算も百萬圓前後に削減されるものと見られてゐる

滿蒙の將來に就て悲觀論は絕對不要

歡迎會席上　內田外相演說

【東京特電二十三日發】東京官民有志の內田外相歡迎會は昨夜丸の內東京會館に於て開かれたがその席上外相は次の如き要旨を述べ滿蒙問題に對する抱負の一端を披瀝したがこれによって外相の底力ある強き外交振りが窺はれ一般に好評である

滿蒙の將來に就いて昨今一部に悲觀論を抱くものがある樣だが自分が見たところかゝる悲觀論は絕對に不必要である、明治維新にしても幾度かの叛亂を繰返してゐる、建國日尚淺き滿洲國に多少の動搖あるは已むを得ぬ、日本の滿洲國承認は當然の事である、これに對して支那側、聯盟側の紛糾を懸念するものがあるが現在の狀態は日本と滿洲國、滿洲國と支那との關係であるから日本の承認につき支那も亦これを承認するやう肯ぜねばならぬ、聯盟に對しては單に條約公文にのみ即せずその建國に至った精神を充分に汲み取って總てを裁斷せんことを希望する【寫眞は內田外相】

話は食ふた「これから消化だ」

間島に於て　ヤング博士語る

【間島特電二十三日發】聯盟調査團隨員ヤング博士を迎ふべく間島各地より龍井に參集した朝鮮人民會長及び有志は廿二日夕刻總領事館に同博士を訪ひ、種々陳情するところあった、その內容は間島に對する領土權の主張を放棄しこれと交換的に成立した間島協約は一片の反古と化し二十餘年來匪賊、放火、掠奪等あらゆる暴逆を加へられて來た朝鮮人の苦痛を述べて過去における支那軍閥の非人道な壓迫を鳴らし、各地朝鮮人民會長が伴ふて來た被害者の代表者を引合したのであったが、その中には强姦に毆打暴行され、そのため不具者となって跛足をひいてゐる女、無法にも發砲され銃創のため不具者となったもの男女七名、妻が强姦された後掠奪監禁されてその儘妾にされ殘された幼兒をかゝえて泣きくらして來た男五名等がありこれらの哀話を具に聞いたヤング博士は流石に眉をひそめ、この外に同樣の被害者が全間島で一年に何千名に上るかも知れないとの泣訴にいたく感動した面持であったが、博士は二十三日朝退間にのぞんで記者と會見左の如く語った

滿洲全體における朝鮮人問題を調査する上に於ては多數の朝鮮人が居住してゐる、間島地方は日本の滿洲における立場を纖細に知るために最も必要であって余の來問した目的はこれ以外にはない、二日間も朝鮮總督府當局と會見したのは朝鮮そのもの、調査のためではなく、鮮人の滿洲移住に對する背景、即ち理由を調査するためであったが、總督府及び岡田總領事より長時間に亘り詳細なる說明を得たので十分なる知識を得た、この上は情報の完全を期すべく胃袋に入った食物を消化することに努力する段取りである、若い經驗があるから余の話を誤らぬやう特に附言する

ヤ博士間島發

【間島特電二十三日發】ヤング博士は二十三日午前十一時半飛行機で新京に向った

勞農奉天總領事近く奉天發歸國

對滿政策轉換確立か

奉天駐在ロシア總領事ズナメンスキー氏は本國政府の召還により數日中にモスクワに歸國することになった氏は歸國の途次ハルビンに立寄り同地總領事スラウツキー氏と會見打合せをする筈である、ズナメンスキー總領事は滿洲事變前より奉天に在任し當時召還を受けてゐたが事變勃發と共に滿洲國の形勢重大化せるためその儘引續き在任してゐたので今回事態一段落を告げると共に愈々歸國することとなったものである、歸國後は直にリトウィノフ氏と會見滿洲事變後の滿洲に於ける形勢變化滿洲國成立の經過等に就て現地調査せるところを報告するがこれを以てソウエートの今後の對滿政策轉換確立の素因を爲すものとして注目せられてゐる、尙ズナメンスキー氏歸國後の後任總領事は當分空位の儘としソウエートの滿洲國承認及び露滿紛案が解決を見るまでは決定せぬ模樣である【奉天電話】

家庭欄

悲しき例外

○…未婚婦人の數は減少しつゝある……

等といふと變に聞えるが事實は世界のミスの數は漸次減少しつゝあることが英國の有力な調査機關によつて發表された、それによると目下世界には約三億八千萬からの獨身婦人がゐる、その數は年々減退の傾向を示し英國だけに就いて見ても三〇年前の一九〇一年には婦人一萬人中三九五〇人が獨身であつたが今日では三六八〇人の割に減じてゐる、又濠洲でも三十年前には未婚婦人は五〇パーセントを占めてゐたが今日では四五パーセントに低下した

○…更に米國では年々女子の出產率が男子のそれを凌駕してゐるにもかゝはらず未婚婦人の數は年々減退して一九一〇年には千人に對して成年未婚婦人二九七人を數へたのが一九二〇年には二七三人となり、今日では二六〇人まで減じた、佛國では大戰以來女子の數は男子の殆ど倍であるが、なほ過去十年間の成年未婚婦人一パーセントを減じてゐる

○…しかし此處にも悲しむべき例外の國がある、それは日本と伊國だ、伊國は三十年前と同率を保つてゐる程度であるが、日本のみはミス諸々の尊稱を持ちながら鐵のようたヒステリックな所謂老孃が年々增加して行く悲しき例外だ……

戰地の『つはもの』から ―可愛い坊ちゃん孃ちゃんへ― (B)

新しい敵兵の墓場に 赤や白のケシの花

敵をも憐れむ日本兵

もう一つ勇敢なお話を致しませう。六月二十五日に馬占山の兵隊が鐵道を橫切つて東に逃げるかもしれない。一つ樣子を見て來いと云はれた水戶聯隊の塚本特務曹長の指揮する十五名はモーターカーに乘つて綏化の町から北へ北へと前進すると丁度午後零時半頃土煙をあげ乍ら、まつしぐらに西から押し寄せて來る八九百の敵軍がありました。

十五人は全く決死の覺悟です、ガバッと鐵道線路を前にして伏せ乍らパン／＼と敵をめがけて擊ちだしました。

パッパッパンパン。カタカタッ、カタカタッ、ズトン／＼。百雷の一度に落ちるやうな戰場です。八百人と十五人、とても勝味のない戰爭です。勇士達の胸の中には勝負はなかつたのです、只大君のために、只御國のために、只任務のために、射ちに射ちに射ちまくりました。

あられの如く、雷光の如く敵の彈丸はさんで來ました。一人斃れ二人傷つき、味方の兵は少くなる許りでした。

あはつと云ふ間に、塚本曹長は胸をやられました。血しほは胸をまつかに染めましたが「天皇陛下萬歲」と聲高らかに叫びながらどつと斃れた者がありました。誰だかわかりません。皆んな一生懸命に擊つだけでした。

「殘念やられたッー」どつと斃れた兵がありました。

頭が血だるまのやうです「何ッ！これしきにッ」と叫びながら流るゝ血をぬぐひもせずに、射ち始める勇士がありました。

ブスッー、ブスッー。ピフユーン！と敵の彈丸は足許に、頭上にははげしさを增してきました。

「やられた！」と見る間に塚本曹長は頭と腹を擊ち拔かれて斃れました。斃れ乍らも苦い息の中から部下をはげましてゐました。

味方は少くなる許りでした。敵の距離は近くなる一方です。恐ろしい頑强な抗戰です。激戰が五時間も續いて行きました。

一負傷兵が叫びました「四方臺から味方の援兵です」「汽車だッ、汽車だア、汽車が來た。皆んな、がんばつてくれーイ」一同の眼には喜びの淚が光つてゐるのが見えました。

それから十五分もすると我左手にあたつて援兵の猛烈な射擊です。ばたばたと將棋倒しに打ち斃れるのは敵の兵です

敵の將校らしいのが軍刀を高く振りあげたまゝ、どつと仰向けに射ち落されました。

車を曳いた一疋の馬がバタリ斃れると連の馬が右に逃げようとする右にゐた馬が、また跳ねる、馭者はもうとつくに逃げてゐました。荒れ狂ふ馬の群、馬車の衝突、制止する怒號、さては悲鳴、もう敵の混亂は絕頂に達してゐました。

味方の苦戰は、もう敵と位置をかへてゐました。快哉を叫ぶ元氣な兵のうれしい顏が赤い赤い大きな滿洲の夕日に照り輝いてゐました

追擊と射擊が根限り續けられました。射ち斃された支那兵、馬、荷物が玩具箱を引つくり返したやうにばう／＼に散らばつてゐました

靑い地平線の彼方に生き殘つた人、馬、車がマラソンの競ぎを續けて逃げました。

ほつとした味方の誰もの顏には、感激、狂喜、安堵、逝ける戰友への悲痛、感謝の情がありありと現はれて鬼をもひしぐ男士の、土に泥れた顏に大粒の淚がさめざめと流れてゐました。誰一人淚を拭かうとするものはありませんでした。

戰友を抱いたまゝ頰にぬれた顏を相手の戰友になすりつけてゐるものもゐました。

戰捷の夜があけて靑い高粱の彼方から陽がのぼりますと日本兵は昨日までは敵であつた支那兵の死骸を、掘り下げた大きな穴に葬つてやりました。

新しい墓場の周圍には赤や白の芥子の花をたむけ水筒の水をかけてゐる日本の兵隊さんがありました

敵をも憐み得る日本の兵隊さん！何んと神々しい姿ではありませんか。

新式飛行機の失敗

シンシキヒコウキノシツパイ

後藤草二作　フジ図案画

リアの運動會の卷 (5)

オウエンダン　フルエー／＼　フルエー／＼

ガンバレ！ガンバレ！　アッ　ニッポンガ　ヌクゾ　マンシュウコク　ガンバレ！

ニッポン　イットウ！　マンシュウコク　ニトウ！　バンザーイ！　バンザーイ！

ヒカウキ　ダ　ヒカウキ　ダ　シンシキ　ヒコウキ　ダ　スバラシイ　プロペラノ　オトダ

夏のファッション

英國競馬界のクライマックスとして全英ファンの血を湧かすエスコート・ミーチング當日は英國皇帝皇后兩陛下御親臨の下に壯烈なる競馬が行はれるのみならずロンドン社交界にとつてはファッション競美會にも擬せられる日だ、モダンから超モダンへと此處こそ英國ファッションの源泉だ

人出に正比例 增える忘れもの

流石夏だけに電車汽車內に 置去りを食ふ水泳具

汽車で、電車で、海へ／＼と大連市からあらゆる交通機關によつて吐き出される市民は日每に增加してゐますが、これに正比例して負けず劣らず增加して行くものは何といつてもそれら交通機關內に遺される忘れ物でせう

滿電 及び大連驛の遺失物係の記錄帳を一寸覗つて見ましたところ、未だ學校が休暇になつてないせいもありませうが列車內の遺失物は割合に尠いのですが、星ケ浦或は老虎灘といつた樣な近郊めがけて水泳に出かける者が利用する電車內に忘れ物する人の多いことは際立つてゐます、滿電遺失物係では次の樣な事を一般に希望してゐます

七月 十日以來といふもの電車內の忘れ物が急に增加して今まで一日平均十件餘だつた遺失物が最近では三十五件平均はあります、これらの內容は水のシーズンだけに、濡れタオルにフンドシを大切さうに包み込だものや、濡れ着、帽子、傘、扇子といつた樣なものが非常に多いのです、この樣な物は希望に滿ちて海水浴場さして行く時はさすがに忘れるものは全くないといつてよい位ですが中にはお辨當や、パンを置き忘れたり或は咽喉の鳴るのをじつと押へて

海邊 についたら食べようと樂しみにとつておいたらしいキャラメルを忘て降りて行く坊やなど樣々です、さすがに最近では金錢を落して行く人は極く稀で結構ですが、これらシーズンに相應しい遺失物が澤山集まるところでも後の始末に困ります濡れた物など乾かす事にしてはゐますが、それにしても臭く又お辨當などは二日もそのまゝ置きますと腐敗して厭な臭を發します、この樣な小さな品物は面倒なので自然屆け出る方が尠いのですがタオルの樣な小さな物でも忘れた人は一々屆出て受取られる樣にして貰ひたいのです

大連 驛の方は、汽車で行くだけに不便も手傳つて今の處では今迄と大差ありませんが、やはり夏らしい海水着、帽子、ステッキ、寫眞機、麥藁帽、タオルと云つた樣な忘れ物がこれから日每に增加して行く許りです

腕白ものを持つお母さんへ

滿鐵社會施設係の希望

おとなしい子供とへ遊び仲間が二、三人集まるときつと、茶目氣を出して惡戲しがちになりますまして腕白大將においてをや、夏の子供たちは星ヶ浦に、或は電氣公園に惡戲のはけ場所を求めて行きます、そして多勢の餓鬼大將によつてだん／＼公衆用の運動具、或は動物といつたものが夏の間に損ぜられますが、滿鐵社會施設係から次の樣な事を一般お母さん方へ希望してゐます

兒童の遊園地が尠いので電氣公園、星ヶ浦と云つた樣な所にできるだけ子供のために運動具を設備したい考へですが、亂暴がすぎて、運動具など片つ端から破壞されます、例へばねぢ釘でとめてある所などねぢを外してしまつたり、折角池の中に綺麗に咲いてゐる水蓮の花や、葉つぱなど夏の水草に石を投げてきたなくしたり、池の中に魚でも泳いで居ればそれをめがけて石を投げて殺したり、公園に飲料水として備へつけてある噴水式水道栓を面白がつていぢくつて毀し、水が飲めない樣にしたり、其他花壇に植付けてある綺麗な草花を折とつて持ち歸つたり動物園の鶴の頭や足を空氣銃で射つて傷けながら何とも思はず平氣でゐます、動物が一度空氣銃で擊たれ傷きますとその部分が腐れるのです

このほかひどいのになりますと釣針に餌をつけて鶴を釣つたり慘酷な事を何とも思はずやつてゐますが、こんな事は家庭で注意され、もつと公德心を養つていたゞいたらこの樣な事は自然防げると思ひます、西洋では芝生の中に踏み入る者は公德心が缺けてゐる者とまでされてゐます、こちらでも芝生の中に入る事を禁じてゐたのですが、最近では芝生の上に坐る位はゆるしてゐるのですが、芝生を通路の樣にして通りますと芝生を損じ、殊に下駄穿きでは折角の芝生を滅茶々々にしますから、遠慮して貰ひたいのです

滿日各地版

匪賊、鳳凰城を襲撃 わが軍警と猛交戰 住民は一時驛に避難
鷄冠山より軍隊警官隊出動

【鳳凰城】二十一日午後九時頃山東街方面より約七、八十名の匪賊襲來し練兵場方面より三、四十名(これは匪賊の偵察隊ならん)我が兵營に向つて發砲しつゝ接近し城南山よりと東方西南方よりは附屬地に向つて射撃を浴びせ鳳凰城は一時全く包圍の中にあつた、當地警察署では最初銃聲を聞くや直に出動附屬地要所の移動警戒をなしつゝ、城内方面より襲撃せる匪賊團と約二十分間に亙り交戰してこれを撃退したが再び襲來の憂があるので在住民を全部驛地下室に避難せしめ自警團も出動、分遣隊は驛附近の警戒に當つた、我が守備隊では廣田小隊長は一部を殘して守備せしめ主力を率ゐて北方の敵を撃退すべく出動せるも後方より彈丸飛來し(これは第一旅の撃ちしものならん)危險にして同志撃ちの虞があるので圍壁の防禦線についたが山東街方面の銃聲は益々激烈となり機關銃の急射撃も加はり匪賊の一部は圍壁に向つて攻撃して來たのでこれに應戰十分間にして銃聲は漸次衰へ敵は東方に退却した、此間山砲の威嚇射撃は大なる威力を示した、憲兵派遣隊では銃聲を聞くや滿洲國官憲に對し匪賊撃滅方を電話で督勵しつゝある中賊團は逐次派遣隊に接近し猛射を浴せるので守備隊と協力これに應戰敵を撃退した、急報により鷄冠山より高石守備隊長は部下五十五名を率ゐ臨時列車で應援に來り廣田小隊と連絡をとり一部を附屬地の警戒に名古屋小隊を二龍山方面に福岡小隊を城西溝方面に各威力搜索に當らしめたが賊影を認めなかつた、尚鷄冠山より移動警察隊も臨時列車で應援に來り警戒につとめた、襲來せし匪賊の總數は約三百名で頭目は不詳なるも多分鄧鐵梅の一味であらうと、尚幸ひに一般に被害はなかつた

撫順襲撃の 先發隊一味潜入
五人組强盜素性判明

【撫順】東老虎臺の五人組强盜に就ては目下撫順署司法係に於て逮捕したる三名(うち一名は死亡)につき嚴重なる取調を行つてゐるが、その所持品及び手帳の記事等により峻烈に追及したところはからずも彼等こそは近く大部隊をなして撫順襲撃を敢行せんとしてゐる一匪賊團の先發隊なること判明するに至り爾來司法係は俄然色めき近く大手入を決行する模樣であるが、彼等の自白に依れば彼等は一味約六百名の集團匪賊の先發隊として六月中旬來當地に潜入し警察、軍隊の警備力やその狀況、銀行、驛、富豪の所在や撫順市の地理、渾河の水深等襲撃に關する各種の調査計畫をしてゐたもので已に警備方面及び大官屯千金地方の調査を終つてゐるが、先發隊員は尚十數名市内外に潜入してゐる模樣である

大石橋附近に 匪賊現はる
軍警緊張し嚴重警戒

【大石橋】二十二日午後八時當地への情報に依れば大石橋を離る東南方約五支里善宮寺に頭目不詳の馬賊約四十騎現れ村民に對し物資强要中なりとの事にて、憲兵隊は勿論警察共に緊張し接壤滿洲國側では非常召集をなし自警團も出動警戒中である

鐵嶺を襲撃した 一味捕はる
再襲撃のため潜入

【鐵嶺】本年一月七日未明鐵嶺城内を襲撃し警務處を占據し監獄に放火し大手町路上で我が警官隊と交戰し郡山巡査を死に至らしめ九ケ所の公安分所を襲撃するなど飽くなき暴虐を擅つて引揚げたる匪首金山好の一味に對しては天人共に怒つてゐるところであるが圖らずも鐵嶺本署の手によつて城内襲撃の一味として郡山巡査と交戰せる馬賊二名が逮捕された

去る二日午前五時頃附屬地北五條通路上を擧動不審の支那人二名の通行するを内布刑事が認めて逮捕本署に連行取調べたるに此男は原籍海龍縣山城鎭無職伊文清(四〇)と稱し金山好とは姻戚關係にあり賊團偵察隊副隊長として幹部に列する者、一人は原籍柳河縣孤山子無職董桂山(二〇)と稱し人質となつて脅迫され賊團に投したもので去月末匪首金山好から重大な使命を與へられ伊の部下として鐵嶺に潜入したところを逮捕されたものであるが其供述によると匪首金山好は本名は崔殿代と言ひ本年四十歳、昨年九月まで東北陸軍將校であつたが退職後清原縣下で自ら團長を勤め事變ごと見るや部下を誘つて兵匪となり二三ケ月間に七八百の部下を擁し昨年十一月末頭目方振國(化周)等が來り投ずるに及びて其勢力千餘となり鐵嶺縣内に侵入して施家堡子に根據地を据ゑ一月五日鐵嶺を襲撃すべく部下百二三十名を率ゐて東門外公安分所を襲ひ富貴街民家を襲撃某を人質として引揚げ施家堡子に於て第一回襲撃に成功せる祝杯を擧げ次いで城内の警備手薄なるを看破して本格的襲撃を提議し部下一同賛意を表するや約二百名三組に分れて一隊は警務處と監獄を襲ひ一隊は警戒に任じ一隊は各公安分所を襲撃し

前記伊文清と董桂山は分所襲撃隊に加はり大手町で日本警察官と交戰充分目的を達して施家堡子に引揚げたが日本警官隊や守備隊の追撃急なる爲め清原縣に入り二日再び鐵嶺縣下に侵入頭目趙亞洲の一團と合流して大甸子を占據越年し三月張海鵬軍と激戰して百四五十名を殺され過半數は歸順したので滿石の匪首も解散の止むなきに至つて金山好は北平に赴き部下は四散した然るに去る四月金山好は張學良より滿洲擾亂と失地恢復の重大使命を受け軍資金一萬七千元を與へられて再び滿洲に歸り再起を畫り伊文清もその幹部となつて奔走の結果部下四百名を集め完全に再起成り目下清原縣小山子に本部を据ゑてゐるが、金山好は依然鐵嶺占據を斷念せず右伊文清と董桂山外一名に鐵嶺城内外の警備偵察を命じて三名は六月十八日出發七月一日奉天を經て來鐵一泊し早朝偵察に出かけたところを逮捕されたもので罪狀明白なるを以て一件書類と共に二十二日滿洲國側に引渡した、伊は既に掠奪殺人幾多の罪を重ねてゐるので總てを觀念し死刑を覺悟してゐると言ひながら曳かれて行つた

首山立山間に 匪賊三百名

【遼陽】首山と立山の八家子部落に廿一日夕刻三百名の匪賊襲來せりとの情報あり鞍山守備隊から時を移さず山本中隊の率ゆる一隊が出動せりとのことで遼陽署から岩瀬部長以下十二名が首山驛警戒の爲め急行したが、午後七時半から八時半頃まで砲聲殷々として遼陽に聞えた守備隊は賊團の集結せる人家に向け威嚇射撃を行ふた爲め同方面は漸次平穩に歸したるも警察隊は徹宵首山を警戒廿二日拂曉引揚げた、なほ同夜千山驛西方舊兵舍附近にも六七十名の匪賊が現はれたと

東豐縣城包圍さる

【鐵嶺】東豐縣南方三十五支里太陽意林には約一千の大刀會匪あり同五牽子には振國軍の一千、北方老傑頂子にも約一千、西方三十支里石猴にも約一千の兵匪あり近く數千の兵匪は東豐縣を全く包圍し西安縣城への退路を遮斷して後一擧に東豐縣城を占據し然る後西安縣城を襲撃すべしと頭目會議で決議し二三日中に行動開始との情報に接し西安縣城内の富豪連は何れも財を纒めて奉天に引揚げつゝあり居住邦人六十名も形勢危險なりとし二三日中に避難すべく民會が主となつて準備してゐると

北滿稀れの豪雨で 兵匪の討伐に苦心
歩兵に代つてわが騎兵部隊の 活動振り目ざまし

【ハルビン】北滿一帶は數年來稀に見る豪雨が連日續き皇軍の兵匪討伐は全く言語に絶した困難を伴つてゐる、東支西南部線方面の如きは平地は一面に北滿獨特の泥海と化し十一日以來列車の運行さへも支障を來たす有樣であるから部隊の行軍は想像もつかぬ程の苦みを嘗てゐるが、八月上旬まではこのまゝ水が引かぬだらうと言はれてゐる、殊に支那馬車を使つてゐる大小行李の如きは到底部隊について行けないので食料や彈藥の補給に最も苦心してゐる、甚だしいのは空腹をかゝへ乍ら全身

ぬれ鼠となつて一晝夜近くも戰鬪を續けた部隊さへあるしかも大陸的の豪雨がやむと忽ち百二十度もの炎熱と一變する、過般の新立屯の戰鬪の如きは鐵カブトがやけて冠つてゐられないので全員白はちまきで戰鬪した程である、斯うした惡天候にかてゝ加へて兵匪の大部分は馬隊であるから逃げ足も早いので追撃になると歩兵では迅速に活動が出來ない、これがため昨今は追撃は殆どすべて騎兵が當つてゐる、兵匪の使用する馬は農民のものを掠奪した足の短い驢馬なのでわが優秀な軍馬には到底敵しない爲めこの

新戰術は絶大な效果を收め騎兵を以て最優秀とされてゐる、馬占山軍の如きも一たまりもなく潰走し主要な部隊は悉く散らされて今は黑龍江省内殆ど反軍の集團はない、馬占山自身も僅か二百餘の手兵を殘す許りである

氣の毒な同胞に 御下賜金を傳達
皇室の御仁慈に感泣

【撫順】畏くも皇室におかせられては、滿洲事變に當り兵匪刀匪その他匪賊の兇刄に斃れた氣の毒なる鮮人同胞遺族並に負傷者に對し、今回御下賜金の御沙汰があつたので、撫順警察署では廿一日午前十時から當該遺族負傷者を同署に集め右御下賜金の傳達式を擧行したが、遺族四家族、負傷者八名にて宮澤廳庶務課長、寺西地方委員議長、田村憲兵分隊長、朴鮮人民會長、尹同金融組合長その他來賓列席の上前田署長より御下賜金の傳達及び訓示あり、遺族代表金用集は皇室の御仁慈を謝してこれに答へ宮澤來賓代表の訓話を以て閉式したが、遺族一同は皇恩の無窮に感泣してゐた

王殿忠軍 移駐か

【大石橋】二十二日某方面に達したる情報に依れば現在牛莊駐屯王殿忠軍のうち二ケ連は鞍山北方約五邦里擔馬寨方面の賊情に鑑み治安維持の特命を受け移駐する事に決したる模樣なるが、海城縣當局に於ては牛莊方面唯一の官兵たる比較的大部隊が移駐する事に對しては尠からず脅威を感じ分水事件並に高粱繁茂夏季警戒の重要期を控へ益々警備の充實を圖らざるべからざる矢先の事とて該軍の移駐反對運動に關し對策考究中であるなほ○○せる王殿忠軍部下に對し海城縣當局に於て極力搜査中なりしが偶々二十一日午後七時蓋平縣第六區湯地分局長江介忱より王司令に達したる情報に依れば二十二日朝五時頃○○○と見做さるゝ○○名の歩隊同地附近に來れりとの急報に依り王司令は直に少校副官連少章以下○○名をして湯地に向け急派せしめた

匪賊跳梁で 避難民増加

【大石橋】當地附近の匪賊跳梁は高粱繁茂期に伸び漸く旺となりこれが警防に寧日なき狀況なるが、附屬地及び隣接滿洲國街に避難せるもの現在に於て三十八戸、三百八十九人に及び尚續々增加の狀態である、蓋平城内に於ては廿二日迄の避難數六十五戸、一千三百九十五名の多數に上り尚避難者相繼ぐ狀態にして時恰も惡疫流行期なのでこれが收容に關しては滿洲國側と連絡嚴密な注意を拂つてゐる

國境中等野球
遂に無勝負

【安東】國境中等聯盟野球戰第二日は二十日午後四時より新義州公設球場にて新義州中學(先攻)對安東中學によつて擧行、八百野(球)高田、神崎(塁)三氏審判、安中軍は前日新商軍を一蹴すれば今日新中軍を一蹴すれば三度國境の覇權を獲得することゝて必勝の意氣物凄く、一方新中軍は地元二校が常に對岸安中軍に蹂躪さるゝを茲に喰ひ止めて新進の意氣を示さんとして以て打撃戰を演じ追ひつ追はれつ、遂に中新中軍俄然五回に四點六回二點を入れて四點をリードし大勢決せるかに見えたが、ねばり強い安中軍は容易に意氣沮喪せず八回二點を返へし九回一點を入れ尚は一死滿壘の好機を摑んで最後の猛襲を試みんとしたが七回頃より降り出した雨は九回表の如きタイムを宣すること六度遂に試合續行は不可能となり各校當事者及び審判員協議の結果野球規則によらず、且之れを前例とせざることとしてノウゲームを宣告した

新中	0	1	0	1	4	2	0	0	0
安中	1	0	1	2	0	0	0	2	1

なほ二十一日雨天にて新中對新商戰も行はれず其の結果春季聯盟戰は無勝負の儘終りを告げることゝなつた

豫防注射せねば 朝鮮には入れぬ
朝鮮のコレラ豫防策

【安東】朝鮮總督府では二十日附を以て大連及び營口をコレラ流行地と指定したので平北道當局に於ては右兩地から新義州及び龍岩浦へ入港する船舶に對して魚市場下流と柳草島上端とに見張船を配置し營林署沖合に停船せしめて檢便檢査を勵行することゝなり道警察部衛生當局は實施計畫を樹てた尚兩指定地より陸路入鮮せんとする者に就いては安東側と協調し新義州驛へは豫防注射の證明書なきものは入らしめない事となる模樣である、又た新義州署は二十二日より一週間に亙り第三回豫防注射を施行することゝなつたが、それで平北管内は前後四萬人に施行したことになると

コレラ豫防に 必死の努力
日滿當局が協力して

【新京】新京特別市防疫所では本年五月上旬上海、天津等にコレラの流行を見、ついで六月二十八日遂に滿洲國でも營口の眞性コレラ發生を最初として蔓延の傾向にある際同月三十日大連にもその發生を見るに至つたので何時新京へその病菌が侵入するや計り知れずとして本月一日日滿防疫協議會を開催、第一期豫防實施事項より第三期の豫防實施事項までの細部を決議し二日滿洲國の各官廳及關係者を市役所に招集新京防疫協議會を開きその徹底を期することになつた、第一期防疫實施事項としては吉長驛望診、檢病的戸口調査の勵行、飲食物營業者の嚴重取締り及野菜類の煮熟、豫防注射勵行徹底的蠅の捕殺勵行、院字の清掃塵箱の修備及便所に生石灰或は土の散布、滿洋醫者診療の際に傳染病を留意報告、隔離所設置、防疫所籌備、徹底的市民のコレラに對する注意喚醒等々を遂めつゝある折柄、十日突如として眞性コレラを發生するに至つたので更に緊急會議を開き第三期の防疫對策を左の如く講ずることゝなつた

コレラ臨時防疫事務所を市政公署内に設置、防疫隊の組織、豫防機械器具の充實、宣傳ビラの撒布、豫防注射の勵行現在終了者二萬人、引續き毎日三千人宛注射、隔離所完成まで發電所内の一部を收容所に充當、公安局總動員で戸別調査の實施、郊外への通路に公安局巡警の立番を實施して密かに搬出せんと企圖する死體運搬の嚴重取締り、井戸及野菜に對しクロールカルキ消毒、危險率の多い北瓜の販賣禁示研究、日滿人の緊密なる連絡保持等で目覺ましい防疫活動に努力しつゝあるが城内及附屬地とも依然コレラの發生を見つゝあるので日滿人は一大脅威を感じつゝある

蓋平に眞性 また二名

【大石橋】蓋平城内に於て七月十八日更に二名の患者を出し營口細菌研究所に於て檢鏡中のところ廿二日何れも眞性コレラと決定し累計四名となつたが何れも既に死亡した、臓藏の惡習ある彼等の事故商蔓延の兆あり大石橋接壤村落張家堡子、聚水寺、老古林子、虎莊屯の各地に最近吐瀉下痢患者多數ある情報に接し當局は頗る憂慮滿洲國側と實狀調査中

コレラ騷ぎ
遼陽驛停車中

【遼陽】營口滿鐵社宅居住無職李宜氏(三〇)は廿一日午後廿三列車で安東に赴く途中遼陽驛停車中米汁樣の物を吐瀉せるを發見驛員、警察官、地方事務所員出動、健康者は他の列車に本人は臨時隔離車に收容の上飯田博士が主となり檢鏡中のところ廿二日に至り陰性と決定せるが、一時は遼陽に虎疫襲來と大騷ぎであつた

急死した鮮人 コレラの疑ひ

【新京】長春附屬地入舟町三ノ三鮮人金氏(三〇)は二十二日午前四時急死したが、コレラの疑ひあり附近の交通を遮斷の上檢鏡中である

沿線往來

▲清水遼陽署長 挨拶の爲め廿二日鞍山往復
▲谷本遼陽警部 同上
▲關屋遼陽地方所長 廿二日赴連
▲警部補本田善治氏は二十一日午後八時着列車で長春より鳳凰城に着任二十二日は森原巡査の案内で日滿官公署及其他に挨拶廻りをなした

新滿蒙統一機關 奉天設置運動へ
庵谷商議會頭が上京

【奉天】新滿蒙統一機關奉天設置運動のため上京することに決した奉天四公共機關のうち奉天商議庵谷會頭は來る二十六日上京四機關決議の陳情文を齎して猛運動をなすが、なほ野口民會長も上京するが地方委員會側は經費なき爲め上京見合せることゝなり聯合町内會は上京未定

旅順小學生の遠泳成績

【旅順】二十一日午後二時より潮見崎より滿鐵棧橋に至る二浬半を遠泳する第一小學兒童の遠泳大會は無事大成功を以て終了したが、この日東南の風稍強く水溫二十度を示し港口附近並に東港入口よりの潮流は相當困難を感じたるも瞻援の父兄學友の聲援にて元氣一ぱい難關を突破所要時間一着B組女子部の六年生安達芳子孃は八十三分を要した、參加人員は男子三十五名女子十七名にて合格せる者男子十九名、女子十一名にて本年は特に女子の入賞者多きことは特筆に價する、尙合格せる兒童は左の如し

佐藤文男、阿部武次（以上五年生）水間達造、山口俊策、朴龍益、安田富三、前田日出男、飽田忠正、吉田又一、西本弘、早瀨克巳（以上六年生）藤野和雄、庄司信義、原敬一（以上高一年生）古野利雄、中本昌美、前田良一、林盛桂、山本秀雄（以上高二年生）松田百合子、永倉さく、上村貞子、安達芳子、坂元さし子（以上六年生）高野知重子、磯部安子（以上高一年生）楠目俊子、長谷川きぬ、川谷みき子、永見きぬ子（以上高二年生）

全鐵嶺軟式野球チーム

【鐵嶺】體育協會主催の軟式野球大會によつて各チームの實力選手の技倆もわかつたので近く擧行の第一回鐵、開、四、公野球大會並に第一回州外大會出場の全鐵嶺軟式野球團を組織すべく二十一日滿鐵クラブに幹事會を開催し全鐵嶺チームより優秀選手を選拔し左の如く鐵嶺の代表チームを組織した

三十歳以上のチーム
皇田石館瀨井林本野
田增立古成酒中湯清
123456789
本原幡山田田本中坂
木西小小石柴野田長
三十歳以下のチーム

安東商議々員會の決議

【安東】安東商工會議所は二十一日午後三時より常議員會を開き

一、支那より輸入する貨物に對する税率を一般輸入税と同率とすること
二、海關金單位對日本金圓換算方法を更正すること
三、鋼平銀以外の通貨を以て關税を納入する場合の手數料を廢止すること
四、支那水災附加税はこれを廢止すること
五、國內產業振興と密接なる關係を有する輸出税は輕減又は廢止すること
六、關税戾税制度を復活せしむること
七、輸入税率中從量税による不合理なる税率を改正すること

等を議題として檢討し右の實現につき日滿各要路へ促進運動をなすことに決した

事務員の背任横領　酒色に費消

【奉天】市內千代田通り淺速自動車商會事務員通稱片桐敏雄こと片桐三郎（二）を背任横領の廉で同商會主飯川松太郎氏は大內辯護士を代理人として正式告訴を奉天署に提起したので片桐は目下司法係の手で取調べ中である、片桐は以前松島町の大和タクシーに居たが不正をなして解雇され昭和六年八月淺速自動車商會のもとに事務員として採用されたもので爾後一切の會計事務を託されてゐた所、經營者が本年四月より六月まで內地旅行中に一切の會計を委託されしを奇貨として經理をごまかし多額の金を着服し本田までに粹山、金六、金八、松鶴、お多福、天狗等に於いて酒色に費消し其の請求書の到達せるもの八百圓に及び此の外集金を着服せるもの多額に及ぶ見込みで然も主人飯井氏の留守中に飯井氏が採用せし運轉手並に助手を

勝手に 解雇して新に片桐の手にて採用し更に着服した金で中古自動車六臺を購入して他人名義を以て十間房に海運タクシーを開業し淺速自動車の顧客を全部奪はんとし淺速自動車に對する注文ありし時は故意に時間を遲らしめ自分の開業せる自動車を之に紹介して淺速自動車の信用を失墜せしめる目的で種々手段を弄しあはよくば淺速自動車を自滅せしめて之を自己の手に納めんと計畫中に惡事が露見したもので取調べの進行につれて

横領額 は相當多額に上る見込である、因に片桐は八十圓の俸給と二十三圓の家賃を支給されて居たが目下霞町に某カフエーの女給を圍つてゐるほか二、三の女給や情婦にもち之等に費消されて居た金額も相當多額に上る模樣である

安東日滿協和大演說會盛況

【安東】日滿親善提携をモットーに共力共存こに當らん爲め安東滿洲側から新市街に進出し大いに融和を強調せんとする安東縣參事辦事處主催の日滿協和大演說會は既報の如く二十日午後七時より安東公會堂で開催、折柄の猛雨を衝いて集るもの日滿人約六百、稀に見るの盛況を呈した、先づ司會者の挨拶に次いで王安東縣長登壇して協和融和の必要を說き、續いて同夫人、同令孃も壇上より紅唇を開いて滿洲婦人界のため萬丈の氣焰を吐き、割るゝばかりの拍手を浴び引續き高橋地方委員會議長、瀨ノ口商議副會頭その他日滿紳士十數氏の熱論あり和氣靄々裡に午後十時過ぎ散會したが、從來の形式一片の提携融和論でなく議論以外にかゝる催しが如何に有意義であり眞の融合に役立つかを明かに示した事は大なる收穫であつたと日滿人ともに其の成功を稱へてゐる

新臺子に送電

【鐵嶺】鐵嶺電燈局の新臺子部落鐵路部落送電工事は既報の如く着々と進捗し新臺子部落は既に完成せるを以て二十一日夜試驗點燈を行ひたるが成績極めて良好にて何等の支障を認めなかつた新臺子部落の配給狀況は豫想にも拘らず望外の成績で全部落二百戶中百燈の配燈あり鐵路部落も近く完成の筈なるが此部落は千餘戶あり配給も相當な成績を見ることゝ豫想されてゐる同電燈局では此送電を第一期とし第二期には亂石山附近の部落に送電工事を進める模樣である

奉撫野球戰

【撫順】對奉天野球戰は二十四日午後二時より永安球場に於て開始されるが、奉天チームは今シーズンに入つて撫順に二勝しながら過般の州外大會に於ては優勝戰でみごと撫順チームに賭られて一敗地にまみれたので今回こそは大會の復讐戰として全力を擧げて奮闘するであらうが、新陣容のチームワークが整つた撫順チームとの試合は近來の見ものであらうと非常な人氣を呼んでゐる

旅順軟式野球

【旅順】旅順軟式野球大會第一回戰關東廳對白金クラブは二十一日午後四時三十分から旅順球場に於て開球審、境、飯島兩壘審にて開始十六對五にて財務決勝した、尙當日は時間の都合に依り內務對官房の準優勝戰は午後二時から開始した結果四對一にて官房の勝利となつた

森本警務課長來石

【大石橋】關東廳森本警務課長及警務課橋本警部は突發せる分水事件の眞相及び夏季警戒狀況調査を兼ねコレラ豫防警戒に關し實地調査の爲め二十一日午後四時五分着列車にて來石午後五時發にて營口に赴き夏季警戒その他同樣視察の上二十二日午前七時着列車で大石橋警察に歸署午前十一時十五分發列車にて南行した

チチハル

警察官を增員

チチハル領事館警察署にては來る九月より警部補一名、巡査十二名增員に決定したが之が實現の曉には各方面に警察の眞價を發揮すべく注目されてゐる

藝酌婦水揚高

六月中に於けるチチハル藝酌婦の水揚高は約一萬二千圓に達したが第一位は青月樓の美代龍で四百三十七圓續いで六尺の男子を瞠若たらしめてゐる

小學校の暑休

チチハル小學校並に幼稚園にては來る二十一日より八月十九日迄滿一ケ月間暑中休暇を實施する事となつた

遠矢大尉進級

拉哈の激戰に名譽の戰死を遂げたチチハル駐屯小泉聯隊第五中隊長遠矢忠大尉は十三日附を以て少佐に進級の御沙汰があつた

鐵嶺

觀音寺の大祭

市內觀音寺では例年の通り今二十四日境內に安置せる地藏尊の大祭を執行する由午後一時半から祭典嚴修終つて子供角力福引供物の撒待あり

今日の案內（廿四日）

◇陸上競技選手豫選　近づく鐵開四公大會に備ふる爲め午前十時より滿鐵グラウンドに於て選手豫選大會を擧行す出場者には別に案內狀を送附せざれど選手たらん希望の者自信ある人達は擧つて參加されたし

安東

徐大尉の遺族

去る十六日匪賊團の襲撃で名譽の戰死を遂げた鴨江劉軍第九中隊步兵大尉徐樹楨氏の遺骸は二十日午後三時安東に到着した、葬儀は姜司令の歸安を待つて盛大に執行することになつてゐる

對ハ大野球戰

安東俱樂部野球軍は二十四日目下來滿中のハワイ大學軍を迎へ同日午後二時から驛前球場で試合を行ふこととなつた、尙安俱では八月中のスケジユールを略決定したが大體に於て八月三日早大第二軍を迎へて試合を行ふをキッカケに續て高商軍、京城遞信局軍を順次邀擊することとなつてゐる

プール開き延期

安東大和校のプール開きは雨天續きのため工事に支障を來たしたので二十四日は行はず無期延期となつた

撫順

鮮農に仕事を

新賓縣外東邊道各地より當地に避難せる鮮人は目下三十餘名に及んでゐるが、何れも働くに職なく知友の家に寄食してゐるが、この儘長く放任するときは時節柄惡疫流行や思想上にも由々しき結果を來す恐れあり、所轄撫順署では豫てより炭礦其他の企業者と交渉これ等避難鮮人の就職斡旋に奔走しつゝあるが、炭礦庶務課農林係では今回その試みとして新屯及楡林農苗圃及び公園の手入除草人夫として青少年婦女子七、八十人を當分の間每日使役することゝしたと

綠蔭

撫順驛では江川驛長の着任以來驛務にサービスにその改善に努めてゐるがお蔭で今度雨傘十五本が用意されて列車に乘り込むにも濡れずにすむし▲喫茶所も近く新設さるゝかと思へば一、二等待合所にも植木が備へ付けられて氣分を和げ▲三等待合所の不足勝な椅子も增された

四平街

四平街神社の玉垣

既報四平街神社玉垣增築に就いて二十一日氏子總代協議の結果、總費百二十圓にて秋の祭禮迄に完成することになつた

分遣隊長會議

四平街憲兵隊管下各分遣隊長（開原、鄭家屯、昌圖、通遼、洮南）會議は廿一日午後一時より當地憲兵隊に於て開催一、警備方針二、功績調查の件その他の事項につき協議した

齋藤大尉進級

當地守備隊長齋藤大尉は滿洲事變勃發以來各地に轉戰し大に殊勳をたてたが今回少佐に進級し同時に兵庫縣豐岡中學軍事教官として轉任することになつた

遼陽

圍碁研究會

遼陽の圍碁同好者は過日の大會に出席した撫順の天兒三段が引續き滯遼中なるを機會とし吉田、谷田川、町野氏等の斡旋で圍碁研究會を開設、西本願寺內で每日午前九時から午後十時迄教授を受けつゝあるが現在既に會員約三十名あるが何人も入會差支なしと

鐵嶺から傷病兵着遼

遼陽衞戍病院に廿二日午前十一時四十一分着列車で鐵嶺から傷病兵四十名轉送されて來た

金州

內外綿紡績社員淘汰か

內外綿紡績の主力である上海工場が事變以來非常な痛手を蒙つた爲め營業狀態に多大の變狀を來たし、ために根本的立直しが迫つたので第一着として剩餘人員の淘汰を斷行することゝ決せし爲、既に上海工場では多數社員の馘首を決行せし模樣にして、從つてその飛沫は當地に於ける同會社の工場にも波及すべく、近く淘汰が行はるゝのではないかと見られてゐる

旅順

旅順市會招集

旅順市役所では市廳舍新築の件及び同起債の件に關し二十五日午後一時から市會を招集する、因に二十一日永山市長、竹中、村上兩市會議員長官訪問の結果右新築に關する關東廳よりの補助金は頗る有望視せらるゝにいたつたので本問題はこの機會に於て容易に實現さるゝ模樣である

旅順放送

▲ナイヴア舞踊研究所では市役所後援にて廿五日午後七時から警察機建造資金獻納舞踊會を開催する入場料は大人三十錢、子供十錢で當夜のプログラムは左の如し

第一部　1波と船2お山のらくだ3出船の港4四人5子供の律動A6赤いグラス7お土產三つ8鴨川小唄9滿洲維新の唄

第二部　1ポンポコ狸公2ウグイス3子守唄4雀とカヤシ5カニノピクニック6子供の律動B7題未定8スズメにナーロ9影を慕ひて10シシリーの風

▲出演者は　櫻岡判子、田崎和子、岡野須磨子、淺野敏子、吉野敏子、島村幸子、石川須磨子、吉川春江、吉藤幸子、佐賀元君子、田中佐々市

▲旅順在鄕軍人分會の全會員は現在八四〇名でその內譯を見ると本官の將校四九、准士官一五、下士一〇四、兵三〇七計四七五名、相當官では將校一〇、准士官一四、下士七、兵一六計四七名、未教育者兵三一八名で即ち將校五九、准士官二九、下士一一一、兵六四一である

▲吉野町六ノ一近藤朴氏方では二十一日お孃さんミドリ孃が疑似赤痢と診斷さる

▲伏見町七ノ六小林米吉氏四男薰（一〇）君は二十一日死去

▲撫順署へ轉出した黑田吾一氏は二十二日在旅各方面へ挨拶狀を寄せた卜居地は撫順中央大街四九

▲安東署長に轉任の淸水助太郎警視は二十一日午後八時二十分旅順驛發列車にて家族同伴知友多數の見送りを受け出發赴任した

▲二十四日正午關東廳では工業科學會一行を黃金臺ヤマトホテルに招宴

市中の噂

今夏の舊市街にはいろんな催し事があるので、新市街方面のプロ連大いに羨ましがつて？曰く「滿電も營業だから無理も云へんが、七、八月中だけでも現在の停車場を境とする二區制を乃木町派出所迄延長して貰へぬか」と▲今では往復が二十錢、夫婦連れなら四十錢、一寸アイスを一杯やると一圓札が飛ぶ▲そんな細かい事を考へると、大連郊外の人々が淺遠アラしても電車賃往復十錢なるに比し、出足を「ニブラス」事にならぬとも限らぬ▲若しプロ連の希望實現し、新市街の人がたとへ三分の一でも出て來るといふ事になれば舊市街は相當賑はひ小賣物も增えるは必定▲そこで問題は滿電で「從前値下の實績からして果して採算がとれるかどうか」と躊躇の模樣▲要するに解決の鍵は新市街の人の進出如何にあるが……値下すれば出て來るか、出て來れば値下をするか、一寸鷄と卵ごつち……一層白玉山の睨樣にでも御伺ひして見るがチ

油房見學の工業化學會員

吉林發大連行列車が脱線

匪賊來襲を嚴重警戒

二十三日午前八時吉林發長春經由大連直行の第十八列車は午前九時十五分頃吉長線九站、哈達灣中間にて機關車及びその直後に連結されてゐる無蓋車一輛の外殆ご全部一大音響と共に突如脱線した脱線車は二等寢臺車一輛、二等食堂車一輛、三等車三輛、手荷物車一輛郵便車一輛であるが目下の處乘客その他に死傷者なきもこれがため十二時半長春發大連行列車は見込立たざるため長春驛に於て新に編成正規の時刻に發車乘客の便に供することになつた
なほ吉長線では午前八時發列車が脱線現場にて乘客手荷物郵便物の收容を行ひ同列車内の吉林行乘客を吉林仕立の列車と徒歩聯絡により折返し長春に引返すことになつた、一方午後二時長春發吉林行列車は取敢へず現場迄運轉し吉林發の列車と徒歩聯絡の上乘客その他を交換することゝなつたが午後六時發列車（大連始發吉林直行）は長春限り運轉を中止することに決定した
脱線原因は目下取調中であるが兵匪の仕業であらうと見られてゐる引續き調査中である、急報により長春より救援列車を仕立て復舊を急ぎつゝあるが現場は匪賊の來襲を防ぐため吉林及び下九臺その他沿線から日滿の軍警を派遣監視中である【新京電話】

社員會の洗濯班の計畫に健氣な婦人が志願し來る

滿鐵社員會では社外線派遣社員のために洗濯班派遣の計畫があることは既報の如くであるが二十三日午前、廿七八歳位と思はれる容姿整つた一人の女性が滿鐵社員會竹森部長の部屋を訪れ、生憎竹森氏が不在であつたため「是非妾を氣の毒な社外線派遣員の方のために洗濯に行かせて下さい」と固い決心を言ひ殘して歸つて行つた、後でこの健氣な婦人の決心を聞いた竹森氏はその厚意に涙を流して喜んだが、何分社員會としてその計畫があることは事實としても具體的に決定したことでなくまた男子でさへ危險な場所に婦人を送ることは餘程の安全策を講ずる必要もあるので
いづれ決定しました節にお願ひいたします
と鄭重にその婦人の兄さんを通して一應その申込を謝絶した、この女性は土佐町三八藤岡佐一郎氏の妹さんである

次期大會主催國

申込競り合ふ

優秀な成績を擧げるだらうドイツも百米には自信がある

【ロスアンゼルス特電廿三日發】今日はブラジル・メキシコ他四ケ國選手到着、村の人口は一千百三十八名に達し旗數は二十九となつた、一九四〇年の第十二回大會主催國申込國は目下日本、イタリーを始め十二ケ國に達し二十八、九兩日の委員會に提出され決定は一九三五年となる豫定である

日芬競技豫定

【ロサンゼルス特電二十二日發】オリムピック大會終了後渡日して日芬大會に出場豫定のフインランド選手ヌルミ以下七、八名でその顏觸れは未だ決定しないが八月十七日の大洋丸で當市發九月三日横濱着、東京、大阪、松江、名古屋京城、の五ケ所で競技を行ふはずである

織田主將の足部痛む

練習を休む

【ロサンゼルス廿二日發】日本陸上軍主將織田幹雄君は以前手術した足が引續いて痛み大阪から連れて來た採擦治師中村囑託が治療を加へてゐるが夜間の急激な冷氣がさはつて經過面白からず當分練習を休むことゝなつた中村囑託は大會迄一週間内に治すと云つてゐるが、選手等は心配してゐる織田君が土地變りにやられたので他の選手も大いに警戒し寢る時など掛毛布を増して夜半の寒さに備へ戒めてゐる

大會實況の對日放送

絶望となる

【ロサンゼルス二十二日發】ロサンゼルスからオリムピック大會の實況放送を日本に向つて試みる計畫は殆ど絶望となつた、之は大會側が國内にラヂオ放送をやられては切符賣上に支障を來すといふので放送權利金十萬弗を要求したゝめでこの結果對日放送も駄目となつた譯だ、然し放送は毎日午後六時五分から七時迄（日本時間午前十一時五分から零時）行はれ日本も中繼される譯だ

渾水泡派出所に大刀會匪が來襲

擊退し安東から來援

鴨緑江下流渾水泡の我警察派出所へ二十三日朝四時五十分四百名の匪賊襲來し大刀會匪五十名第一陣として槍、青龍刀を振つて進擊し來り他は派出所を包圍して猛射したので警官隊はこれに應戰し約三十分にして敵を擊退した賊團は派出所附近に死體七、裏山には五を遺棄して逃走した、安東署よりは午前九時三十分中川司法主任以下急援のため警備船で下江した、尙ほ賊は二十二日夜同署の巡捕宿舍を襲擊するとの情報あつたので警官隊の半數は宿舍方面に警戒して居り派出所は十名の少數であつたが我に被害なかつたのは幸ひである【安東電話】

ヌルミも出場

芬蘭の陸上選手發表

【ロサンゼルス特電二十二日發】北歐のスポーツ王國フインランドのオリムピック出場選手名左の通り本日發表された
▲高障碍スコステツド▲四百米ストランドヴアル▲千五百米ルエ・ラルヴア、ルオマーネン▲五千米レーネチン、イソホロ、ヴイルタネン▲三千障害マチライネン、イソホロ▲走高跳レイニツカ▲三段跳ラヤサーリ▲槍投げエム・ヤルヴイネン、シツパ・ペチラ▲圓盤投げコトカス▲砲丸投ケイ・ヤルヴイネン▲鐵槌投ボルホラ▲十種競技エー・ヤルヴイネン、イルヨラ▲マラソン　ヌルミ、トイヴ、オネン
その他拳鬪、レスリング、水泳、體操の選手等は流石は北歐の運動王國だけに錚々たるメンバーを揃へてゐる

ズバ拔けて好調

水泳選手練習

【ロスアンゼルス特電廿三日發】水泳エントリーは明二十四日正式に決定するが右につき松澤コーチ語る
選手は猛練習を續けてゐるがメンバーは明日決まるが宮崎、大横田、横山、木村、牧野、小池はズバ拔けて好調を示してゐる外國で強いのはバラニー・クラブラインゴルトだが我選手は皆内地の氣持で堅くならぬからその點安心だ

日本賞めらる

愛想よきドイツ

【ロスアンヂエルス特電二十二日發】陸の王者米國に對つて第二位をねらふのはドイツだと一選手は到着匆々ヤンキー式歩調でオリムピック村に乘込み觀衆を驚かしたが今日午後二時からホリウッドで監督リイツアーの指揮で二時間に亘り驟好陸上選手二十餘名が猛練習を行つたが何れも旅の疲れも見せぬ元氣を示した、中距離のユウベルツアー博士は語る
今回はいゝつもりだが他國も強いさうだからその結果はわからぬが日本チームは實に立派なチームだ[illegible]

乘客、矢庭に運轉手の首を締める

危い命を拾つた實タク運轉手

犯人嚴探中

二十三日午後八時三十分ごろ市内西通十一番地池田醬油店の前で二十二、三歳の

黑詰襟服を着た二人の男

が實用タクシー運轉手王[illegible]昌（二）の空車を呼び止め「十圓で釣錢があるか」と質したうへ長者町へ行けと命じて乘り込み中央試驗所を左に折れて二中手前に差しかゝつた處でストップを命じて電燈を消すなり矢庭に一人の男が王運轉手の背後から首を締め一人の男が用意の細引を首に卷きつけんとしたが、運轉手は右足でドアーを蹴つて開け車外に

轉げ落ちて

格鬪中譯家屯方面から疾走して來た自動車のヘッドライトに驚き、運轉手を地上に叩きつけるなり通りかゝつた同じ實用タクシー運轉手李淑陽（二九）の車に乘つて逃走、日本橋を渡つたところで下車し料金五十錢を渡すなり何れへか姿を晦ました、一方絞殺の難を脱れた王運轉手は直に歸店しこの旨を報じてゐるところへ、怪漢二名を送つて歸つて來た李運轉手が「犯人は今乘つた客に違ない」と大連署司法係に訴へ出た

王運轉手のタクシー内に

犯人が所持してゐた細引一本、スボン二着、ワイシャツ一枚內地鐵道地圖一枚等が遺留してあり、最近入り込んだルンペンが金強奪を企てたものらしく運轉手を絞殺し所持金の強奪を企てたものらしく大連署では刑事召集を行ひ犯人嚴探中である

學生對全滿柔道試合

けふ相撲場跡に擧行

昭和柔道史上に特筆大書すべき大試合として日本武道界より非常な期待と興味とを以て迎へられて居た東京學生聯盟軍對全滿洲軍の對抗柔道試合は愈々今廿四日午後一時より大廣場東拓敷地の相撲場跡に於て擧行されるが昨夕刊既報の如く兩軍とも全陣容をすぐつて對戰することゝなつた卽ち聯盟軍は先鋒に學生界の新進氣鋭の士を揃え中堅には明大藤田、拓大磯部、立大尾崎、慶大大崎、明大古賀等の猛士を揃え更に後陣には無敵軍に殊勳を立てた早大山口、慶大上野の兩四段を以て堅め三副大將には、それぞれ學生界に於ける強豪として斯界に名聲赫々たる中大奧村、高師加藤、早大伊勢の各五段を以て完全無缺な陣を布くこれに對する全滿洲軍もまた大島耕平二段を先鋒に据え田臨、田中兩三段にこれを補佐せしめ第二陣として宮崎、大越、今里、佐々木の各四段を以て布き、中堅に伊藤、三問、兒ト四段を以て堅め高根澤、日滿、深谷の五段を後陣に配し吉原、佐々木兩五段、更に日本柔道界の猛者として勇名を馳せる淺見、二宮兩六段をそれぞれ四三將副將、大將とし水も漏らさない偏成振りである、東京軍若しそれ先鋒に於て破れんか必ずや中堅を以て滿洲軍の堅陣を脅かすべく又滿洲軍中堅に於て堅陣を脅かされんか必ず後陣にそなへる高根澤、日滿深谷の各五段の奮鬪に依り挽回せらるべく結局戰ひは未曾有の白熱戰となつて觀衆を極度に熱狂せしむべく昭和武道界の一大試合として世人の見逃し能はざる試合である、同場内の靜肅を保つため拍手聲援は絶對に禁止することになり會員券は當日會場前に於て販賣することゝなつた

軟式野球

八日目組合

日本軟式野球協會主催本社後援の日本軟式野球大會大連豫選會第七日目たる二十三日の戰績左の如し
▲鐵道部經理一―三新興倶樂部
▲埠頭輸出係〇―十二若狹倶樂部
▲檢車區一―二A埠頭事務所
▲機關區六A―一双葉倶樂部
▲中央試驗所十二―三豐年製油
尙第八日目の組合左の如し
▲伏見臺球場（八時半）
消費B組對滿洲銀行
▲伏見臺球場（十時半）
淡路倶樂部對保安區
▲商業球場（八時半）
消費A組對瓦斯會社
▲商業球場（十時半）
SMU對工場能率係
▲二中球場（八時半）
大連鐵道地方部工事課
▲二中球場（九時半）
沙河口郵便局對新與倶樂部

夏家河子行臨時列車

七列車運轉

廿四日の日曜日には普通列車以外に滿鐵々道部で夏家河子行左記七列車の臨時列車を運轉するが、海水浴シーズンの書入時として夏家河子驛の整理等にも萬全を期してゐる

大連發	沙河口發
七時二〇分	七時三二分
八時一〇分	八時二二分
八時四五分	八時五七分
九時五五分	一〇時〇七分
一〇時四〇分	一〇時五二分
一一時二〇分	一一時三二分

夏家河子發	大連着
一三時三〇分	一三時四二分
一五時二〇分	一六時〇分
一五時五五分	一六時三五分
一六時二〇分	一七時〇分
一七時〇七分	一七時四五分
一八時〇八分	一八時四六分
一九時〇分	一九時四〇分

なほ廿五日の月曜から廿九日まで毎日左の臨時列車を増發することゝなつた
大連發▲九時五五分▲一五時二〇分▲夏家河子發▲一六時二〇分▲一八時〇八分

滿鐵道場暑中稽古

滿鐵大連道場では左記の如く暑中稽古を行ふことゝなつたが一般の參加を希望するさ
自七月二十六日至八月八日（日曜日休みなし）
普通日は午前三時半より一時間
日曜日は午前九時より一時間

電車事故三件

飛降り卽死

二十三日午後六時半ごろ市内山手町八番地福昌華工所職人王德義（二〇）は千代田停留所から寺兒溝行きの十一號系勞工車――運轉手芦兆壹（三）車掌陳煥章（三）――に乘つた刹那物差を落しこれを拾はんとして進行中の電車から飛び降りやうとして地上に轉倒、後頭部を強打し腦震盪を起して卽死した、大連署から中島、山本兩係官檢證した結果二十四日午前十時公會堂で解剖に附することゝなつた

電車立往生

自轉車と衝突

廿三日午後一時市内連鎖街小泉商店員廣谷睦次（二〇）は自轉車にて滿鐵大連圖書館前を通行中折から寺兒溝方面より疾走中の系統二一九號（運轉手范立忠、車掌王世平）の電車と衝突自轉車を大破し廣谷は左腕に治療約一週間の傷を負ふたため電車は約三十分立往生し混雜を呈した

電車追突

小學生の怪我

廿三日午前八時半ごろ沙河口霞小學校生徒が野外講習のため貸切電車運轉手坂下友吉（三）＝で尾ケ浦に向ふ途中西門停留所附近で前方電車に追突しその反動で生徒村上治夫外六名が擦過傷を負ふた

忠靈塔健兒團

擴大編成

大連忠靈塔少年團では廿二日午後七時から能登町〔[illegible]〕に於て臨時總會を開催協議の結果名稱を忠靈塔健兒團と改め、團長に下島元次郎氏、副團長に山縣勇彥氏、主事に小山田茂喜藏氏を選擧され、別に顧問として日本橋圖書館長橋本八五郎氏外四氏が推擧された、なほ右健兒團はこれを青年隊、少年隊に分ち、青年隊には品行方正で一般の模範となるべき青年二十四名を新に募集入隊せしめ、總てボーイスカウト式に訓練を行ふさうで、一切の監督には岩井少將が當る由

滿鐵獨身社員

滿鐵社員會修養部は獨身社員團結のため廿四日夏家河子海水浴場で大連獨身社員合同の清遊會を開催する

家出して女給

長春附屬地居住梅田靜子（二二）は去る五日實家を無斷で飛び出し奉天で二三泊し大連市内某警察署に勤務する親戚を頼つて來連したが着連後親戚を訪れず市內のカフェーで女給を働いてゐる模樣なので兩親から大連署へ搜査を願つて來た

疫禍猖獗

水源地危し

龍王塘附近部落にコンマ菌保有者發見

二十三日夕刻龍王塘水源地附近部落に於て乞食風の一支那人（氏名不詳）行倒れとなつたが同地の本庄醫師診斷の結果疑似コレラの疑ひあり、病體を大連療病院に送り檢鏡せるところコンマ菌を發見大騷ぎとなつた、このため關東廳衞生課では直に水源地各部落と外間との通路全部を封鎖、外部との交通を遮斷し、全部落の大消毒を行ふことゝなつた、但し貯水池には何等の異狀を認めぬ、なほ該患者は二十三日旅順から歸つたもので前五時ごろ激しい吐瀉を數回催して兩膝に陷り同日午後四時四十分死亡した、屆出により大連署衞生係で檢便の結果眞性コレラと判明し附近一帶の大消毒を行つてゐる

コレラ

◇…市內若狹町七一番地[illegible]は二十三日午[illegible]
◇…市外石道街東部一區十一番地鄭桂子（二〇）は廿三日午後五時發病、疑似コレラで療病院に收容目下檢鏡中である

吐瀉患數十名

【チチハル二十三日發】當地におけるコレラは益々蔓延の徴あり二十三日朝又復市內飲食店ボーイ一名死亡附近部落の吐瀉患者數十名に達したので日滿官憲は擧げて防疫に大童となり天野〇〇團では公用以外の外出を禁じ豫防注射を實施すると共に第一線出動將兵に對し豫防藥を急送した

墓口をスル

廿三日午後四時二十分ごろ監山北一條通一丁目原田喜三郎方田中喜八が大連市常盤橋から七號電車に乘り中央公園前に到る間に十一圓入の墓口を掏摸取られ大連署へ屆出た

小崗子の廣場に歡樂場出現

初めの許可を縮小して

認可有望となる

前滿鐵安東地方事務所長井上信翁氏外二十名の在連商工業者は擧つて合資會社大同倶樂部の名を以て小崗子露天市場廣場に支那人向きの一大歡樂場建設出願中であつた處途中幾多の問題發生荏苒今日に至つた然るに二十二日井上代表社員が來旅關東廳に林警務局長を訪問し最後の意思表示の結果最初の計畫より小規模のものなればと云ふ程度の諒解を得るまでにこぎつけたが右計畫の資本は二十五萬圓（十二萬五千圓拂込濟）で建築は前滿鐵建築課長佐藤築次郎氏の設計になるモダンなもので豫算十萬圓である、右に關して代表井上信翁氏は語る
種々苦心して當局と交渉の結果規模縮小することによつて大體許可を得ることが出來る程度の諒解を得ましたこの縮小は他に同種の大計畫があるためでして仕方がありません、私共の方では早速二十二日夜關係者が集つて相談しましたが、二十五日迄には新規計畫を作つて小崗子署を通じて願書を提出する筈です、今度の新計畫は全然最初の計畫とは別で、ずつと低級なもので遊戲場を中心としたいはゆる下級人相手のものです、收入の點では勿論非常な差が生じて來ますが、それでも拂下土地の利子位は充分浮くだらうと思ひます、出資方面は少しも變動がなく順調に進んでゐますから許可を得次第直ちに工事に着手します

日曜の催し

▲妙心寺語錄提唱　丸山師內地歸還の爲め當分休講
▲滿倶對早稻田野球戰都合により中止
▲全滿洲軍對全東京學生團柔道試合午後一時より大廣場角力場跡に於て
▲實滿庭球戰午前九時より北公園コートに於て
▲青島中學對大連商業籠球戰午前十時より大連一中で
▲西部大連軟式野球大會午前十時より沙河口工場グランドで
▲競馬大會　沙河口競馬場に於て

慈惠資金交附

關東廳恩賜財團慈惠資金では聖旨を奉體し慈惠救濟の趣旨に基きその事業助成の爲今回其資金中から左の各補助する事になつた
▲大連聖愛醫院に金一萬圓▲救世軍育兒婦人ホームに金二千圓
▲大慈園に金二千圓

警察飛機建造費へ　市內霞井町二七森永製菓會社は廿三日警察飛行機建造費に金二百圓を沙河口署を通じて寄贈した

去る六月二十二日旅順警察官練習所で施行された巡査さんの採用試驗の答案中奇想天外の珍答案が願る多く試驗官を苦笑させたが奇拔なのを二、三拾つて見ると
…◇…
「空中樓閣」の答へに「大連のビルデング」「飛行機の宿る建物」「大阪の有名な遊廓」「空中に煙幕を引く」に至つては試驗官も煙に卷かれる。
…◇…
「拐帶者」の答へに「狐を操る人」「新開地を切り開く人」「政治家の元老」「影の人」はまだいゝとして「戀人」「みなし兒」「ルンペン」等々では採點者も顏色なし。
…◇…
「良二千石」の答へに「赤穗浪士」「大石良雄の異名」「張學良の支配下」「滿點の意味」等々、これでは警官から立身出世して良二千石になれそうもない
…◇…
「顧維鈞」の答へに「滿洲國に敵意のある人」「外交政治家」「南京の將軍」等は當らずと雖も遠からずだが「滿洲國の中心人物」「支那の調査員にして滿洲國の首領」などは皮肉のつもりか、逆に覺えて居たのか、更に「昔を思ひ出すこと」「何時までも色の變らぬこと」「解雇」「危險」「纏綿」などに至つては呆れ物と間違へて居る。
…◇…
最後に「上海」の答へが「張學良の首都」「有名な爆彈三勇士」等は一體何を勘違ひしたのか、何れ劣らぬ珍答々々。

曙の鐘 (354)

倉田潮

河野想多畫

文化の黴（一）

平津はあけみが犯罪の秘密を告白したのを非常に喜びながら、高山の蟄居の空家を出た。あけみは數日の中に公衆の前で堂々と再びその秘密を打ちあけ、眞の犯人をあげて瀧駒や春木の無實を證明すると約束したのだつた。恐らく今度こそ確實にその約束を實行することだらう。

平津はさう思ひながら、神田行きの電車に乘つた。神田の血盟團の者に逢つたら或は高山の隱れ家が解りはしないかと考へたからである。

彼は高山とはこれまで行動を共にしたことはなかつたが、主義主張を同じくしてゐた。つまり二人とも國家主義者であるので、平津は同志としての高山にいろ〳〵と相談せねばならない用件を持つてゐるのだつた。

神田の須田町で電車をおりたが平津は血盟團の住所を知らなかつたので、訪れて行くすべがなかつた。が、春見と龜太郎とが喧嘩を賣られたと云ふ表神保町のバアの名を小耳にはさんでゐたので、そこへ訪れて行くことにした。

血盟團の根城と聞いた其のバアには、まだ夜が早い爲めか一人も客が無かつた。

瀟洒にしつらへられた小さなホールは青いシヤンデリアの光に落ちついて、鳥渡海の底と云つた感じがした。平津は●●●から血盟團の所在を訊いても教へてくれないと思つたので、ひそかに良い時機の來るのを覗つてゐた。

暫くして客がボツ〳〵來初めたが、主にその近くの學生で不良と思はれる者はゐなかつた。平津は失望したが、醉つて來たので、いよ〳〵女給に血盟團の本部を訊いて見た。が、女給は案の條「知らない」と答へた。

間もなく女中をつれた十七八歳の令孃がやつて來た。買ひ物に出た途中で咽喉が乾いたものらしく一杯の飲み物を愼ましやかにすゝつてゐる。女中はじみな着物をつけて不器用な無口を續けてゐた。

令孃らしい女はよく見ると非常な美人だつた。あけみのやうなモダン・ガール風の美しさは無いがたえ子に似た傳統的な奥ゆかしい品があつた。平津はかう云ふ型の女が好きだつた。で、なほ時々女の姿を忍びやかに眺めてゐると、その女は視線を意識して紅くなつて脅えたが、脅えながらもチラと下から平津の顔を盗み見た。同時に耳まで紅くなつて溜息をついたが、間もなく今度は熱情を含んだ瞳で平津を見返した。心の思ひが恨みのやうに白く輝いたひとみだつた。

「ふーん」

と平津はその時初めて或る事實に思ひあたつたが、相變らず時々女に意味ありげな視線を送つてゐた。

女は居堪れないやうな風だつた。ストローを細に千切つて見たり、髮に手をやつて見たり、立ちかけてまた坐つて見たり……しかも、時々熱情に燃える瞳で平津を見返した。平津は最後に思ひ樣女の眼に己の視線を接吻させた。と、女も熱情に亢奮したやうに今度は大膽に眼をそらさなかつた。二人の眼は無言に甘く濕かく接觸し合つて、互に心の中を語り合つた。が最後に女は鳥渡ウインクして立ち上り、扉まで行つて最一度ウインクを投げて外に出た。

平津は或目的をもつて直ぐその後を追ひかけた。女は女中に注意されてから初めて男に後をつけられてゐるのを知つたらしく一層歩を急がせたが、しかし時々夜店の人ごみの中から平津の方に振りかへつた。平津は一層歩を急がせた。

女は九段の方に向つてゐた。がそこまで行かぬ中に――今川小路の先の濠ばたで平津はつひに二人に追ひついた。そして、その女によりそつと横から小聲で

「もし〳〵、少し話し度いことがあるのですが、私と一緒に來てくれませんか」

と問ひかけた。すると、女は明かに脅えて身を顫はしたが、溜息をつきながら頷くやうに首を垂れた。

新刊紹介

▲ぬかご（八月號）定價五十錢（發行所東京市麹町區丸の內三丁目十二番地ぬかご社）

▲實業公論（七月號 滿蒙特輯、定價三十錢（發行所東京市芝區芝公園八號實業公論社）

けふの放送

大連 JQAK　七月二十四日

▲午後零時十分　ニユース

▲午後零時五十分　柔道連絡放送（全滿洲軍對東都學生聯盟軍）ニユース

▲午後七時十分　ニユース（以下內地中繼七時三十分）

▲俚謠（一）熱海小唄、熱海金襴外十二名（二）伊豆山小唄、伊豆山蔦龍外十一名（三）熱海節　熱海連中（四）磯節、唄駒澤秀晃、三味線井上友子、太鼓駒澤社中（五）相馬二(へん返し)（六）相馬節（七）琉球節（八）高田甚句、唄駒澤秀晃、三味線井上友子

▲新日本音樂一、歌謠曲（イ）秋の厦門（ロ）ムミの音、唄、箏久本玄智、尺八安部香山、同關野生山、二、管絃合奏「山の幸」（町田嘉章作）第一雲界の曙、第二霧の底に沈める湖、第三スキーヤー跳る、第四高山寨の團欒、セイワ音樂會、指揮川合太郎（以下大連放送局より）

▲ラヂオドラマ「國定忠次」明石潮一座（場景）一、權堂辻堂の場、二、山形屋藤造宅の場、三、牛吉松原の場（配役）國定忠次（明石潮）板割淺太郎（松島隆也）日光圓造（松本德三郎）山形屋藤造（北村惠勇）同乾分馬吉（美峰一潮）同乾分三太（長友義雄）山形屋女房お信（衣川淺路）百姓喜右衛門（服部義雄）娘袖（林夏目）女髪結（武田君子）やり手婆（大浦亘浪）

▲ニユース

▲氣象通報

第五回 滿日特選碁戰

先番 渡邊英夫（三段）　宮下秀洋（初段）

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

●一 ハの四　○二 タの五
●三 ホの四　○四 ハの十六
●五 ホの十七　○六 ヨの十七
●七 タの三　○八 カの四
●九 レの五　○一〇 レの六
●一一 レの四　○一二 タの七
●一三 リの十七　○一四 ヨの十二
●一五 タの二　○一六 トの十七
●一七 トの十八　○一八 トの三
●一九 への十六　○二〇 タの十三

—【1】—

對局者の感想

黑曰く　三の手で七に入らうかとも思ひました

白曰く　八では（レの三）に打ち黑（レの二）白一一黑一四白一九にとなる白一九にシマラル事になれば黑（レの九）シマラないで（への九）に開けば黑に一九と入られてまづいと思ひました

黑曰く　一三の手で一九に打たうかと思ひましたが白に一三と挾れるのがいやでした

滿洲日報
七月二十三日發行
發行人 木本喜代治 印刷人 鈴木村武盛 昇
大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

暗雲低迷の北支
學良の現狀維持策に
韓、商等協力するか疑問

【北平特電二十三日發】張學良提唱の北支軍事會議に參加するため山東の惡星韓復榘、石友三等は今曉三時濟南より來平した、右張學良の軍事會議は全國に囂々たる永久抗日、東北失地回復の叫びの手前 湯玉麟牽制のため餘儀なく熱河問題を惹起せしめ省境に出兵したが、韓を始め舊西北軍宋哲元、龐炳勛等が 馮玉祥、閻錫山と氣脈を通じて盛んに河北を窺ひつゝあり、北支に一大變動勃發の憂ひある事とて學良はこの際多少連絡ある韓復榘、商震等と妥協して現狀維持を圖らんとするものであるが、學良下り坂にある今日 韓が行動を共にするや否や、右軍事會議は暗雲低迷の北支の形勢に重大關係を持つものとして重視さる

天津よりの情報によれば熱河方面の事態重大化と共に關內東北軍は非常の緊張を呈しその後ひそかに津浦線方面の二箇旅及び京綏線方面の一箇旅、通州王以哲の一箇旅計五箇旅を熱河方面に移動中であり、同時に管下各軍に對し軍備の充實に努むるとゝもに多數の密偵を派し日本軍の行動を探査してゐる、前記の軍隊が果して熱河に進出するや否や不明であるが、關內東北軍が非常の緊張を以て熱河に備へてゐることは事實であつて盛に軍隊の移動を行つてゐる【奉天電話】

學良軍先發隊熱河入

【天津二十二日發】學良軍の熱河移動は極めて迅速に行はれ二十一日朝迄に完了せるもの三ケ旅餘、目下移動中のもの四ケ旅餘、更に平綏線宣化の砲兵旅、石門鎭、馬廠の騎兵旅楊柳青の步兵旅等喜峰口に向け出動準備を急いでゐる、此等出動部隊は俸給給料の外に若干の手當を貰ひホク〳〵ものである、先發隊の一部は既に熱河に到着してゐること判明した

熱河の形勢發展せず
解決可能……と外交部公表

【南京二十二日發】南京政府外交部は十八日午後熱河方面の形勢發展の事實なく同問題の圓滿解決は有望であると公表し學良も日滿軍との衝突は努めて避ける筈だと語つた

滿洲國の上空でビラ撒布を計畫
張學良軍の航空隊

【天津二十二日發】出動準備を命ぜられてゐる學良の航空隊は昨日投下爆彈二百個を北平の郊外飛行場に輸送した、右飛行機で滿洲國の上空で撒布すべき五色のビラ多數を積載すべく目下印刷中である

學良軍の軍費缺乏
愛國證券で支拂

天津よりの情報によれば關內學良軍は軍費に窮し稅損その他により極力之を補給せんとしてゐるが財政窮乏の河北省は容易にこれを滿すことが出來ず、ために一般軍政費に愛國證券を當つることゝし給費の二割は證券を以て支拂ふことゝなり軍費は階級に應じ大將五十元、中將三十元、少將二十元より大尉三元、中尉二元、少尉一元づゝ支給することにしたが、之は八九年前に國庫證券を支給したのに比較し有價證券である關係上一層投機的なものであつて宋哲元、孫殿英、龐炳勛、商震、高桂滋等の各部隊に一律に支給された【奉天電話】

熱河と存亡を共にす
張學良の電報

【上海二十三日發】張學良は熱河事件を利用して「學良懦夫に非ず」と宣傳これ努めてゐるが二十二日國民政府に左の電報を寄せた

余は熱河を救ひ滿洲失地を回復せんとす、一切の準備を爲してゐる、この方針は既に聯盟調査團にも通告した、事態擴大せば余は親しく熱河又は滿洲に赴き諸兵を指揮す、熱河の興亡は宗の興亡なり、余は熱河と存亡を共にする覺悟である

韓復榘北平着

【北平特電二十三日發】韓復榘は石友三、葛光廷、何豐林等の護衛隊百餘名を連れ昨夜當地通過、今朝張學良、萬福麟その他の歡迎裡に北平に着いた

來往支那要人の行動監視

熱河方面の形勢は近時とみに惡化しつゝあるがこれによつて平津大連間の來往支那要人の數が急激に增加しそのうちには張學良一派の使命を帶び內面的に滿洲において事を釀さんとするものが增加する氣配があるので直接海續きで滿洲の關口をあづかる大連水上署高等係に最大限の能力を發揮して入港毎に客船貨物船の區別なく徹底的に船客名簿と船客を照合せて訊問しつゝあるがこれが爲水上署高等係はこれ等不審旅客の船より招致されたもので天津方面よりの入港船のあつた際は物々しい有樣を呈する

露支復交交渉は遂に停頓狀態
支那の提議全部拒絕

【南京廿二日發】支那側の報道によれば露支復交々渉はモスクワで行はれた結果、遂に停頓狀態に陷つた、卽ち支那側提出の「相互不可侵」「共產黨取締」「東鐵問題解決」「滿洲政府を承認せぬこと」の四提議をしたが、ロシア側が拒絕したゝめである

滿洲海關閉鎖
南京行政院會議で決定

【南京廿二日發】國民政府發表によれば宋子文、羅文幹連名で本日行政院會議に滿洲海關卽時封鎖の原則案を提出し討議の結果、實行期を外交財政兩部に一任の條件を以て滿場一致通過した

郵政從業員等に總罷業、引揚勸告

【南京廿二日發】滿洲國が八月一日から郵政權を接收することに關し國民政府は最後的手段として滿洲に在つて郵便事務に攜はつてゐる一千餘の役人と職工に對し卽時引揚げ及び總罷業を開始するやう勸告するに決し本日右通達をなした

滿洲國交通部の訓令

滿洲國政府は曩に國內の郵政權の接收を斷行し着々事務の統制を圖つてゐるが、最近にいたり職員間にその地位に不安を感じや〻動搖の形勢あるに鑑み二十三日交通部より訓令第五十七號を以て政府當局の意のあるところを聲明し現職員の地位の安定を保障した

滿洲國政府はその建國宣言の趣旨に從ひ通信行政の自主權を確立するためさきに領域內の郵政權を接收しこれを交通部統制のもとに置きたり、惟ふに郵政は國內的及び國際的に一に民衆の利便のためにこれを經營するものにして我滿洲國郵政に從事する職員は門戶開放、機會均等の精神に基き國籍の如何を問はずこれに任用するものなることはさきに聲明したところなり、政府は既に七月九日交通部令第三號を以て公布したるが如く八月一日を期して國內一齊に新郵便切手、はがきを發賣することに決定、近く郵政各機關を通じ新切手、はがきの發賣を準備しつゝあり、聞くところによれば新切手、はがき發賣期近づくに從ひ郵政部內從事員間に自己の現在の地位に關し危惧の念を抱くものを生じたりと、斯くの如きは政府の眞意を諒解せざるの甚しきものにして民衆の福利、國家の公益を目的とする郵政の業務に從ふ職員に對してはその身分の高下を問はず政府は一樣にその地位を保障、俸給、給與その他の待遇および將來の昇進等につ いても中華民國の約束せるところと毫も異るところなきを期しをれり、寧ろ各人の勤勉に應じ將來の好遇を與へんとするの用意あるものなるにつき郵政各機關の職員はその居に安んじその職務に盡瘁すべし、重ねて玆にこれを訓令す【新京電話】

滿洲國初代總領事栗原氏

滿洲四頭政治の統一も關係各省の意見が大體まとまり愈々近く實現の運びに至つたが外務省では統一機關成立に伴ひ滿洲國政府との外交關係を整理するため先きに新京領事館を總領事館に昇格せしむると共に出先軍部との聯絡並に對滿外交の中心たるべき初代勅任總領事も文書課長栗原正氏に決定したので內田外相よりの重要使命を帶び滿洲國要人出先官憲と打合せの上一度歸任正式に赴任する事となり二十一日午後一時東京驛發滿洲國に向つた、寫眞は車中の栗原氏

有吉駐支公使のアグレマン回答
來週早々發送の豫定

【上海特電二十三日發】有吉明氏に對する南京政府へのアグレマンは去る十五日南京政府に接受したので回答は來週早々發送する筈

【南京廿二日發】有吉氏の駐支公使アグレマン問題につき外交部では未だアグレマンを求められてはゐない、しかし求められれば國民政府として相當考慮して回答する別に反對すべき理由もないとの口吻を洩らしてゐる

亞細亞局第三課長任命

【東京二十三日發】內田外相は十九日の閣議にて亞細亞局に滿蒙對策の調査を專ら管掌せしめるため第三課を新設するに決し現在課長事務を執行しつゝある柳井領事を正式に同課長に任命するに決し二十三日左の如く發令された

命亞細亞局第三課長　領事　柳井恒夫

人事

▲福本順三郎氏（大連關稅徵收處長）稅關長會議出席中のところ二十三日午前八時着列車で歸連
▲石本鏆太郎氏　同上奉天より歸連

うすりい丸
二十四日午前八時港外着豫定

滿鐵沿線警備充實
昇格新署の陣容を決定

滿鐵沿線各署における關東廳警察の配置變更、增補異動は高粱繁茂期を目前に控へて頗る緊急事とされてゐたが、森本警務課長沿線視察の結果左の如く決定した

一、警備の重點は依然安奉線におき同沿線の警備は一層充實せしむること
二、鞍山大石橋間の危險率增加せるにつき相當數增派のこと
三、營口は地理的に孤立しをり非常時に際し增援に困難を伴ふにつきこれ又相當數增員すること

尙新昇格三署配屬の新陣容は署長以下左の通り決定した
▲蘇家屯　署長警部植田德次▲警部補林周吉、飯盛三夫、岡田佳人▲外巡査五十五名、巡捕四十名、囑託一名
▲范家屯　署長警部渡部補津田誠、加治龍、黑瀨始、巡査三十名、巡捕二十五名、外囑託一名
▲鳳凰城　署長警部田上乾吉▲警部補本田喜治、北里房義、伊東茂敏、山內俊信、巡査七十名、巡捕六十名、囑託一名

聯盟總會特派代表松岡氏に決定
滿洲視察後正式任命

【東京二十三日發】今秋の聯盟總會我代表中內地より派遣する代表は松岡洋右氏に確定、既に同氏の受諾を得たが、任命は氏の滿洲視察歸京後で、他の二名は長岡、佐藤兩大使の模樣である【寫眞は松岡氏】

代表として特派するに決し、既に松岡氏に聯盟對策及び滿洲問題對策の立案を委囑せることが判明した、松岡氏は約一週間前より連日外務省に登廳對案の完備に努力してゐるが、更に內田外相の懇望により二十六日東京發渡滿三週間滿洲現地調査に當ることゝなつた

聯盟總會特派の松岡氏近く來滿
約三週間現地を調査

【東京二十三日發】今秋の聯盟總會は滿洲國承認問題を繞つて紛糾を豫想されてゐるが內田外相はこの外交難局に處するため總會開催中松平駐英、長岡駐佛、吉田駐伊、佐藤駐白、各大使をジュネーヴに總動員し、英、佛、伊等の大國代表と政治的折衝に全力を盡さしむると共に、特に滿洲問題に精通せる政友會代議士松岡洋右氏を總會

松岡氏は適任

【東京二十三日發】松岡洋右氏は近く渡滿約一ケ月間の豫定で滿洲各地を視察する事となつたが、右は聯盟總會に列席する準備行動で氏が語學に堪能である事外交官として又滿鐵副總裁として經驗ありけ更に近くは上海の停戰協定における手腕等よりみて聯盟總會の代表としては最も適任と稱られてゐる

事變に現はれた我國民銃後の力
(中)
陸軍省徵募課長　松村正員

また從軍願の多い事は更に驚くべきものがある、陸軍省に集つた從軍願だけでも許可したら數において忽ち一ケ中隊や二ケ中隊作り出す事は容易なのである、全國の聯隊區司令部等に願出てゐるものを合せたら恐らく莫大なる數に上るであらう、之は實に尊い國防意識の發露といはねばならぬこのやうに我國民の國防義務の理解と、熱烈なる銃後の力とは誠に曠古の日露戰役にも增した狀況にある、從つて出征軍隊に安んじて戰鬪に從事し、思ふ存分働くことが出來乍も後々の心配がないのである、正義を實行してゐる我國にとつては國際聯盟如何に誤解するとも、列强の野心國が何を邪魔しようとも、結局我全國力の强い〳〵團結力の前には正義を認めざるを得ないのである

この偉大なる國民的決意は實に列强の野心を抑制し、時局の擴大を防止したに止まらず、支那をも以て制夷の實效を擧げ得ず、正義の前に兜を脫ぐ日を早からしめつゝあるものと確信する、又かくあらねばならないのである

次に指揮統帥の妙と平素の準備といふことである、前者は餘り專門的であるから後者についてのみ述べることゝする

その一は軍隊訓練の眞劍さである、眞劍な軍隊訓練の氣分は體驗者以外には容易に解し得ないであらう、しかし之は極めて重要な事であつて之を以て苛酷、慘酷などと見るべきではない、實際軍隊は兵役期間は短縮するし、社會の風潮は浮薄文弱に趨り、軍隊教育の根本と離反するし、軍の裝備は改革に迫まられ其費用を自體の縮小に依らればならぬし、外交條約は逐次我國の壓迫を受けるし、國內の經濟狀況は切迫し、我經濟資源たる滿蒙は支那の橫暴に日一日と蹙まるし、一日として安閑として居られなかつたのである、從つて我軍隊は絕えず優勢なると合理的に必勝を期する爲め何れだけ苦心したことであらう、又軍隊では良共卽良民なしの訓練要求が示されてある、流石の左翼運動者でも軍隊內に對しては匙を投げて居る、之は監督の嚴といふのみではない、要注意人物の半數以上は斷然悔悟して除隊後正業に就いて居るのを見ても解る、われ〳〵は常に偉大なる軍隊の教化と眞劍なる訓練とに多大の感謝を拂ひこの眞劍にして不屈不撓の意氣を全國民に徹底したいと常に考へて居るものである、

その二は適當なる兵力を保持し得たといふことである、抑も四隣の情勢に應じて適度なる軍備を保持して行くことは國防上絕對の要件でありながら却々苦しい事情が伏在するものである、我國が不十分ながら這般の國際關係に處するに適當なる軍備を保有して居た事は實に稀有の幸福であると共に列國をして敢て武力の行使を爲す能はざらしめつゝある大なる原因と見なければなるまい、卽ち平時の國防費は平和の保險料として危險なる大戰爭を未然に防止し得たものといふべきであらう、故に今後如何に野心國の暗中飛躍が行はれやうとも、我國は必勝を期して開戰し得るし、在外部隊を安んじて任務に邁進し得るのである、「理に近くして愈々眞を誤る」といふ西諺もあるが、文化交通の發達に伴ひ本問題と關連して附言して見たい、今度の軍縮會議の劈頭セシル卿は徵兵全廢を叫んださうだ、由來イギリスは自由志願兵制度の國であつて、戰時非常の外徵兵制度を布けぬ國柄である、從つて何とかして他の國の徵兵制度を廢止しようと試みてゐる、又フランスは聯盟軍隊の創設を提議したやうだが、これも自國の歐洲における安全保障の一役に過ぎぬ、嘗て歐洲大戰の末期、ロシア革命軍討伐の爲め英佛が手を燒いて日本に出兵を依賴したことがある、それも所もあらうに歐露の眞唯中といふに至つては沙汰の限りではないか、何處でも自分を損ぜずに甘い汁ばかり吸はんとして居る眞情を立證するものである、此間に比して堂々たる我代表の主張は何うであらうか、卽ち攻擊を唯一の任務とする武備の撤廢であつて、不合理な自衞權の廢止や、國情を異にする國の內政干與的の片言だに述べて居ないのである、

滿蒙の戰慄 (52)
直木三十五作　淺枝次朗畫

進軍（一ノ八）

道木は、床の上に、膝を突いてゐる捕虜へ

「煙草をのむか」

と、聞いた。

「はい」

支那人は、笑つて、御叩頭した。道木は、赤い袋の煙草を、二本、突出すと、つゞけさまに、御叩頭をして、恐る〳〵、それをとると、內懷のポケットへ、大切そうに、仕舞つてしまつた。道木は（可愛い奴だ）

と、感じた。そして（殺さない方がいゝ。こんな奴が外にも居るだらうから）

と思ふと、二人を、取卷いて立つてゐる兵に

「何うだ——人間といふ者は、可愛いゝものだ。無暗に殺すな」

「はつ、然し、こいつなど、上出來の方です。日本人に、使はれてゐたせいで、いゝ所をさつてゐるのであります。外の奴は——」

一人の兵が、云ふと、捕虜が

「そうです、そうです。私、日本人、好きです」

「うまくやつてやがらあ」

その聲に、人々が、どつと、笑つた。遠くで、銃聲がした。

「步哨、大丈夫か、ちやんと、やつてるだらうの」

と、道木が、呼ぶと、誰かゞ、答へた、道木は、一挺の銃を、自分の後方から、引出して

「この銃は、何處から、手に入れたか？」

支那人は、それを、暫く、眺めてゐたが、手にとつて、

「銃、ピストルは、大連から、來る」

「うむ」

道木は、手帳に納めて

「今の馬賊の本據地は、こゝから遠いか」

「昨日は、こゝから、三十里位の、山の中にゐた。今日は、わからん」

「本據地は、毎日、變るのか」

「判る——判らんさ、食物が、少い」

「何を食つてゐる」

道木が、そう云つた時、プロペラの音がしてきた。

「あゝ」

支那兵は、手で、素早く、耳を蔽して、床の上へ、突伏してしまつた。兵が、笑ひ出したが、支那人は、道木の靴の間へ、顏を入れる位にして、うづくまつてゐた。

「成る程れ」

と、道木も、それを見て、笑つた。

「大連？」

「私、雇はれてゐた所、日本からこういふ物、買つて、賣つてゐました」

「何處だ」

「濱速通」

「名は？」

「齋田」

「齋田？、何といふ？」

「いろ〳〵、名があつて、判りません」

「一挺、いくらで、買ふか？」

「知らん」

支那人は、すつかり、安心したらしく、笑つて、首を振つた。道木は、手帳を出して、名を書きながら

「齋田といふのは、日本人だな」

支那人は、頷いた。

「國賊ですの」

と、兵が云つた。

蛇角

上海で重大な役割を演じた松岡洋右氏、今度はまた重大使命を帶びてジュネーブに使ひする。

◇

わが政治外交界における特殊な存在としての松岡氏である、一層の自重と健在を。

◇

學良軍の迅速な移動、湯玉麟の不可解な態度、それに滿洲國軍の待機。

◇

今や採取期を控えて熱河に熟し來る戰機

◇

「熱河の存亡は余の存亡」と學良、ナルホド阿片の三巴は果して何う？

◇

晴れのオリムピック、ダイビング選手の奇禍、最初の犧牲悼まし。

◇

土用、本格的の暑氣。曜日、郊外へ、海へ。

▲中川四朗氏（滿鐵埠頭事務所海運長）社用を帶び廿三日午前九時發列車にて北上

ヤング專門委員
滿鐵中心に鮮人問題調査
あす朝急行で來連

國際聯盟調査團專門委員ヤング氏は豫定を早め廿四日朝着の急行で來連の豫定であるが、大連では滿鐵を中心として朝鮮人移民問題等について調査を進める筈

佛軍艦拔錨

入港中であつたフランス東洋艦隊所屬アルゴール號は廿三日午前五時嚴海衞に向つて拔錨出帆した

元氣一杯で學生柔道軍來る

早速大連道場で練習

日本柔道界の雄たる古澤六段の統帥する全朝鮮軍を見事擊破し破竹の勢ひを以て日本柔道界の二大王國として誇る二宮、淺見兩六段統帥の我が滿洲軍の堅陣を玉碎せんとする東部諸大學の柔道學生聯盟軍伊勢六段一行四十一名の大軍は聯盟理事高廣三郎六段に引率され二十三日午前八時着列車で長途の旅の疲れも見せず二宮宗太郎六段以下の滿洲軍の選士及び關係者並びに各大學先輩等多數の出迎えを受け元氣よく着連、直に兒玉町滿鐵社員會館簡易宿泊所に投じ午後一時より大連道場に於て明日に迫る大試合に備える爲一行ははち切れんばかりの元氣で猛練習を行つたが一行を代表して高廣六段は語る

滿洲軍と對戰するのは今回で三度目然かも一勝一敗の跡を受けて今回は決勝戰とも云ふべき試合でありますのでチームを組織するのにも非常な苦心を致しました、對朝鮮軍には全員協力一致敵にあたりましたので大勝を博しました、對朝鮮戰終了後直ちに奉天に參り奉天では本庄軍司令官に御會ひして種々御話を承り後長春に參りまして執政、執政夫人その他各要人の前で段取り、型、紅白試合を御覽に入れる光榮を得まして一同感慨して居ります、幸に一名の病人も出ださず非常に元氣で居ります何分滿洲軍は二宮、淺見兩六段以下の強剛揃ひでありますから大いに案じて居りますが然し正々堂々と大いに戰ふ考へで居ります【寫眞は驛頭の一行】

メンバー交換

堂々と戰ふ

昭和柔道史上を飾るとも云ふべき東京學生聯盟軍對全滿洲軍の柔道試合は二十四日午後一時より大廣場東拓敷地の相撲場跡に於て開催するが、廿三日午前九時半より滿鐵社員俱樂部樓上特別室に聯盟軍より高廣三郎六段、伊勢五段、上妻、古賀、道明各四段、滿洲軍より二宮六段、吉原、山根、江頭、日浦各五段集合の上メンバー交換の結果、左の如く決定し又試合方法は講道館新規定を使用することゝなり審判は高廣三郎六段、鯨岡五段となし又正々堂々紳士的に戰ふことを申合した

學生聯盟軍

段位	氏名	所屬
大將五段	伊勢　治	明大
副將五段	加藤　幸藏	高師
五段	奥村　信一	中大
四段	道明　留男	高師
四段	上妻　利男	慶大
四段	小田原德吾	明大
四段	赤山　政治	早大
四段	中島　吾市	高師
四段	伊藤志馬三	中大
四段	山口　利雄	早大
四段	米盛　還	日大
四段	中川　冬藏	高師
四段	能登　又吉	日大
四段	工藤千代吉	中大
四段	西田　東生	明大
四段	藤原愛三郎	高師
四段	崎　幸男	慶大
四段	古賀　治朗	明大
四段	尾崎　政久	立大
四段	磯部　修二	拓大
四段	中川　豐	明大
四段	林　博	日大
四段	藤田　義人	明大
三段	島本　勇藏	法大
三段	肥後　重治	日大
三段	吉田忠一郎	拓大
三段	宗川　昇	法大
三段	鈴木長一郎	拓大
三段	鎌田　雄一	慶大
三段	加藤　靖夫	慶大
三段	齋藤　源彌	立大
三段	五十嵐光雄	中大
三段	白澤幾次郎	早大
二段	川瀬　正	工大
先鋒二段	横內　銀一	法大
補缺三段	押田　文明	中大
二段	根本　享宥	立大
二段	福島　巖	
二段	齋藤　瀧吉	

全滿洲軍

段位	氏名	所屬
大將六段	二宮宗太郎	大連
副將六段	淺見　淺一	大連
五段	佐々木雄哉	撫順
五段	吉原　政紀	大連
五段	目黒　清	旅順
五段	深谷　甚八	奉天
五段	日浦　動喜	大連
五段	石川　速水	大連
五段	三浦　正美	旅順
五段	高根澤眞藏	大連
五段	伊藤左武郎	長春
五段	管野　増美	奉天
四段	星　亮三郎	大連
四段	伊藤藤四郎	撫順
四段	小山　治平	奉天
四段	石崎　守雄	旅順
四段	三間音次郎	營口
四段	伊藤　次郎	旅順
四段	阿部　育三	開原
四段	白鳥　敬藏	長春
四段	佐々木武三郎	鐵嶺
四段	今里　新吾	安東
四段	長澤榮太郎	旅順
四段	大野孝之助	大連
四段	鍛治　英一	旅順
四段	大越　兵司	長春
四段	野口　基城	營口
四段	刈谷　勝美	大連
四段	宮崎　嚴洲	大連
三段	花田　光雄	旅順
三段	田中　虎雄	大連
三段	小原　盛夫	鞍山
三段	門脇　倫	大連
三段	川上　年雄	大連
三段	大島　耕平	大連
先鋒二段	島田　知秉	奉天
補缺五段	山浦　新治	鞍山
五段	田中　忠勝	安東
四段	鈴木　薫	貔子窩
四段	縄田　清藏	大連
四段	筆保　勇	大連
四段	齋藤　久	撫順
四段	通山　道矣	公主嶺
四段	田中　德生	旅順
四段	宮武　松太	旅順
三段	後藤　豐	大連
三段	成松　清藏	大連
三段	伊藤　久彌	大連
二段	田中　保	大連
二段	日野　武男	大連
二段	久間　不激	大連
二段	井上　政男	大連
二段	山野　三郎	大連
二段	佐藤　良吉	大連
二段	阪井　慶太	大連

戰況中繼放送

大連放送局では二十四日擧行の東京學生聯盟軍對全滿軍の戰況を岡部平太六段により中繼放送する

ロシアの監視船と日本蟹工船が交戰

漁夫と船員三名負傷

【小樽二十二日發】廿二日午後一時北海道廳入電によれば今朝五時カムチャツカ西海岸イーヤ海上で日本蟹工船博愛丸、汽船勝丸(四十噸)がロシア監視船と衝突、双方發砲交戰の結果日本漁夫一名、船員二名負傷、ロシア監視船は日本の攻撃に耐へかね逃走した、今の所原因その他不明

分水長ら所在判明

救出に努める

十八日馬賊のために拉致された分水森園驛長および元田氏の行方については其の後關係筋から密偵を派して捜査中であるが兩氏は分水を距る六十支里の地點遼河近くの小房子に監禁されてゐるもの、如く同所は同附近馬賊の大頭目名勝の根據地で關係筋では兩氏の救出に萬全の策を講じてゐる

外人宣教師の救出策を協議

【チチハル廿三日發】甘南にて馬賊に捕へられたるスイス人宣教師ヒ、クッテルに對する馬賊要求の身代金に對しアポストル管長はハルビンのフランス領事を通じ我が軍部に身代金支拂不可能に就き至急救出方取計はれたいと依頼して來たので富地林特務機關長は二十三日午前十時程志遠省長に面談救出方法を打合せその手配をなした

輕量拳鬪有望

馬術も有利

【ロサンゼルス特電二十一日發】オリムピック日本拳鬪選手コーチ石川氏は米國の拳鬪最終豫選見學のため二十一日桑港に向つたが氏は語る

今朝迄各國選手の練習振りを見ると電量の多い方では日本チームは見込ないが、フライウエート、バンタムウエートでは相當自信がある強敵はイタリー、フイリッピン、アメリカだらう日本が重い方で選手が少く反對に外國では軽い方の選手がなくて困つてゐる有樣だ

又馬術選手城戸少佐は語る

競技場の土が固くて馬の脚を傷めたが競技の始まる頃にはコンデイションが良くならう、後から乘り込んだ各國選手は大概始まる頃に脚が惡るくなりそうだ早く土地に馴れた方が有利だ

女子選手好調

【ロサンゼルス特電二十二日發】今日イングルウッドの練習で走高跳の相良嬢は一米突五三、廣橋嬢は一米突五一の何れも日本新記録を出し中西嬢はハードルに一二秒四の自己所有の最高記録とタイ記録を出し何れも好調を示した

佐藤美子嬢が日活へ入社

トーキー女優として

【東京特電二十三日發】去月十一日フランス留學から歸朝した有名なソプラノ歌手佐藤美子嬢は今回突如日活に入社今後同社のトーキー女優として活躍する事となつた第一回作品は菊池寛原作「花の東京」と決定トーキー一本出演料一萬圓と云はる【寫眞は美子嬢】

少年團內地へ

大連少年團では內地見學ならびに各地少年團と合同野營をなし少年團の訓練と相互の提攜を圖るため阿左見團長、武副團長、松尾團附が引率し內地見學旅行を行ふ事となつた、團員十二名、一行は廿六日出帆のうすりい丸で出發、來月十八日歸連するが團員は左の通りである

▲團長阿佐見福馬▲副團長武午師▲團附松尾忠風▲團員西園敏夫、石動朝彌、中村一馬、新妻泰夫、岩間良三、勝又一郎、水谷政一、的場貞介、早川孜、石黒敬一、內田勝祐、住田守

ダイビングで中島選手逝く

頭を打つて腦震盪で

【東京二十三日發】二十二日午後三時半市外碑文谷日本大學プールで同校商學部一年水泳部ダイビング選手中島健藏(二一)君が十米跳込臺から跳込んだ際同跳込臺の五米の處から跳込んだ二十五歳位の一青年の脚に頭を打ちつけ腦震盪を起しその儘水中に沈んだので選手達が直に救ひ揚げ附近の醫師を招き手當をしたが內出血の爲絶命した、なほ椿事を惹起した青年は混雜に紛れて逃亡したものらしく身許不明

中島選手は我國一流の選手で殊にスプリングボールドが得意であり六月五日に行なはれたオリムピック派遣選手選拔水上競技第二次豫選の跳込に一〇四點七八で優勝したが決勝に零點二の差で惜しくも選に漏れた悲運の者である

バス車掌は陰性

また眞性五名

廿一日發病し疑似コレラ患者として療病院に收容中の市內濃速町五四番地小間物行商人楊世臣(三四)及び周水子㘴家屯吏鳳奧(三七)の兩名は檢鏡の結果廿三日午前九時眞性と決定したなほ市內寺內通三三一番地滿電バス車掌張世寶(二七)は陰性と發表された、また廿二日小崗子署より疑似コレラ患者として療病院に收容した市內柴町二番地苦力郝龍奎、郝道氏及び羅士林、朱老大の三名は培養試驗の結果廿三日午前十時何れも眞性と決定、市內大龍街七一帽子製造業馮永寬方炊事夫王洪祥は廿二日午後發病廿三日午前七時小崗子岐山醫院にて診斷の結果疑似コレラと判明療病院に收養した

乞食が疑似

廿二日來眞金町六一番地附近の靴溜りをしてゐる病身の乞食があるのを沙河口署檢病隊が捜査中であつたところ廿三日朝再び眞金町に現れたのを引つ捕へて派出所に連行診察の結果疑似コレラと判明したので療病院に收容したが同人は金州生れ住所不定都月明で沙河口署衛生係では附近の大掃除を行つた

チチハルに疑似發生

苦力が罹病

【チチハル廿二日發】十九日大連より來た福昌公司扱ひ苦力四十二名の內二十日一名、廿一日一名發病六時間後死亡した廣濟病院で診察の結果疑似コレラと認定された衛生設備不完全の當地とて蔓延のおそれあり日滿官憲は嚴重防疫中

豫防注射液を晝夜兼行製造

本年六月コレラ患者發生以來滿鐵衛生研究所では滿鐵沿線はもとより滿洲國內各方面にワクチン注射液を送つてなり廿二日現在既にその總發送數は八十五萬人分を突破してゐるが、なほ各方面共不足をつげてゐるため同研究所では晝夜兼行全力をあげてワクチン液の製造に多忙を極めてゐる

滿鐵沿線患者

滿鐵衛生課入電によれば廿二日後奉天に滿洲人一名のコレラ發生計六名となり、また長春では二十一日疑似と決定した鮮人二名は二十二日午後一時眞性と決定更に同四時鮮人女一名の眞性發生計十二名となつた なほ滿洲において最近コレラ最も流行を極めた大正八年の患者發生數は七百二十名(關東州內を除く)である

落籍した愛妻の死を悲しみ遺書

療病院から行方不明

元旅順郵便局員南場安之助は去る四日局を辭職し同市新萬歳拖醉婦井上マサノ(二七)を落籍して來連、市內大廣場附近に間借し女はカフエーの女給となつて働き男は就職を探してゐるうちマサノは去る十二日赤痢に罹り療病院に入院したが二十一日午後一時ごろ遂に死亡した

安之助は妻の死去をひどく悲觀し同午後二時ごろ療病院を出たまゝ行方不明となり知人の間で不審に思つてゐると翌朝知人の旅順市朝日町十五番地佐藤久太郎宛「妻の後を追ふて自殺します、何分後事をお願します」との遺書を郵送して來たので佐藤方で驚いて大連署に安之助の搜査を依頼して來た

死體の引取り人がない

右に就き療病院では語る

井上さいふ婦人は十二日入院して二十一日午後一時ごろ死亡しましたが常に親切に看護してゐた男が安之助さいふ人でせう、井上さんが死んだ直後、男の方は棺の用意して午後三時までに歸ると云ひ置き病院を出ましたがそれからいくら待つても歸らず死體の引取人もないので市役所に引渡し二十二日荼毘に附しました

獨米一勝一敗

【オートイユ二十二日發】デ杯インターゾーンドイツ對米第一日シングルス試合はクラム擬戰の後辛勝したが次いでヴアインス餘裕ある戰ひ振りで勝ち米獨一勝一敗となつたスコア次の如し

フォンクラム(獨)	七―五、五―七、六―四、八―六	シールズ(米)
ヴアインス(米)	六―三、六―三、〇―六、六―四	プレン(獨)

▲二十四日(日曜日) 聖德俱樂部―水源地俱樂部 沙河口研究所―益濟寮 組立職場―回春街俱樂部 セット俱樂部―電氣A 實業俱樂部―木友俱樂部 工具職場―大正チーム
▲二十五日(月曜日) 鍛冶職場―親友俱樂部 下番俱樂部―客車A
▲二十六日(火曜日) 鑄物A―消費組合 回春街車友俱樂部―NSK俱樂部
▲二十七日(水曜日) 製鑵俱樂部―EC俱樂部 客車B―車輛職場 旋盤―電氣B 天の川發電所―組立仕上俱樂部
▲二十八日(木曜日) 鑄物B―倉庫 双葉俱樂部―沙河口局

西部野球組合

廿四日開催の本社西部大連支局主催の西部大連軟式野球大會第一日戰組合せは左の如し

近衛秀麿子

【東京二十三日發】近衛公の令弟音樂家近衛秀麿子は豫て氣管支炎と腸潰瘍で療養中の六月廿二日の硝子協會第二十三回のオリムピック選手音樂送別會に病を押して出席した爲めに病勢昂進入院加療中二十二日午後十一時四十一分死去した享年三十三

情婦と暮す夫の捜査願

市內千歳町四〇番地和田芳次郎の妻光枝は本年六月二日郷里へ歸り去る十八日歸宅したところ家の中はガランドウとなり夫の姿が見えないので不思議に思ひ事情を調べて見ると、芳次郎は妻が歸國中自宅を引拂ひ情婦と大連市內に世帶を持つてゐることが判明光枝は憤慨して二十三日大連署へ夫の捜査を願出たなほ芳次郎は義足であると

同居人の盜み

市內千草町九一鳥羽洋行支配人沖本豐助氏方同居人廣島縣生れ齋藤榮同山口清の兩名は本年四月中旬以來約二ヶ月に亘つて家人の不在中指環、時計等貴金屬十六點(價格五百圓)を持ち出しこの程同家を飛び出して奉天に逃走潛伏してゐるのを沙河口署の手配により奉天署にて逮捕廿三日朝沙河口署伊達刑事が護送して來たが竊取品は何れも入質連鎖街ラッキーカフエー西通り滿洲カフエー等で費消してゐた

けふ競馬中止

廿三日より開催の筈であつた大連競馬俱樂部十周年記念競馬會は昨日來の降雨のため馬場不良で中止し廿四、五、六と順延する

青木氏送別會

藏前工業會滿洲支部では前幹事滿鐵技師青木信一氏が今般長春鐵道事務所長に榮轉來る二十五日朝赴任するので同氏の送別會を廿四日午前十一時三十分より大連ヤマトホテルにて開催する申込は電話七八三四番(中野)へ、會費は金二圓

●大塚のカバン藏ざらへ 浪速町三丁目大塚鞄店では廿日より八月十日まで年一回の鞄の藏ざらへ大賣出を催して居るが時節柄三割引より一割引と云ふ思ひ切つた賣出である

天氣予報

二十四日 南の風(晴)後驟雨模樣

滿潮(午前一時十五分 午後二時二十分)

干潮(午前八時三十分 午後九時)

各地氣溫

	二十三日午前十時	前日最高
旅順	二六、一	二四、七
大連	二六、四	二六、三
營口	二六、八	二七、六
奉天	二五、八	三一、二
長春	二五、四	三一、一

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一五二圓二五錢

暑さ知らずの水明境 滿日海水浴場

海へ海へ我等の小平島

のんびりしたテント村

バス 黒石礁始發午前六時半 終發午後八時半 小平島始發午前六時 終發午後八時

市外電車を黒石礁にて下車、それより滿電バスにて風光明媚な旅大道路を縫ふて二十分にして滿日海水浴場に到着する、會場には無料休憩所、婦人脱衣場、洗足場及其他陸上附帶設備あり水面の施設を萬遺漏なき樣期してゐる、尚場內には本社特設の賣店ありて日用品を低廉に販賣する、海水浴に魚釣に或は干潮時には浅蜊、うに、あわび等子供にも容易に取られるので樂しい夏の一日を送るには相應しいところである。

黒石礁と小平島間 バス片道十錢 電車切符も通用します

市外海濱生活の最好適地そこにスマートなキャンプが立並ぶ大連は勿論沿線各地の我が愛讀者の家族的簡易避暑に便するため施設されてゐるが、村人のためにラヂオの夕やレコードコンサート等の催しのほか子供達の爲めにも土俵設備や少女雜誌等も備へ付けて慰安することになつてゐる、用意としては寢具と身廻り品さへ持參すれば生活必需品は場外賣店にて安價で得られる、交通至便にして會社の通勤通學にも不便を感じないから朝夕大自然の山と海に身も心も打込んでのんびりと暮すには理想的である。

希望者は收容力に制限あるので本社事業部テント村係(電六三四八)に至急申込んで下さい

大形(六、七名用)一週間四圓
小形(二、三名用)一週間二圓

國難日本刀 (41)

高桑義生作
京極佳夕畫

あざの女（十）

それから五六日たつと、米艦再來の噂がパッとひろがつた。東の方から來る旅人は、一人としてこの話をつたへない者はない。

「忘れもしない、ちやうど藪入の十六日でしたれ、前からぼつ／＼噂がないぢやなかつたが、まさに眞實、去年のあめりか船が、神奈川沖に押寄せたといふ知らせなんです。關東の騷ぎは、お話しにも何にもなつたものぢやありませんよ。何といつても、今度は生やさしい事では歸るまい、先方もその覺悟でやつて來たんで、船數も前よりずつと多いし、船も大きい、艫も自慢もないところ、山のやうな奴――これが大砲の筒先そろへて打出したら、江戸も何もひとたまりもあるまい、いやもう恐ろしい事になつたものぢや」

「わてえなどは、折角な江戸見物に出かけたんやが、見物もそこ／＼に、逃げて來たんや。江戸ちう處は恐ろしい處や」

「いゝや、江戸ばかりぢやない。日本中の大騷動、うかとしちや居られんのぢや」

米艦來！前年にまして騷ぎである。

安治川口で、どこかの船乘の語つた事は、疑ひもない事實だつた。

去年の夏、幕府はあめりか使節にむかつて、

「明年確答つかまつる」と約束したけれども、實はなんの用意もない、成算もない。だからその狼狽ぶりはひと通りぢやなかつた。よもやさう几帳面に來はしまい、何千里の波濤を越えて、わづか一年や二年の間に、さう容易く來られるものではない――とたかをくゝつてゐたのである。だが、米艦は米本國に歸還したのではなくて、ついお隣りの支那に滯留してゐたしかもある事情から、年が變ると早々にやつて來た。幕府は斯樣に海外の事情に迂遠だつたのである尤も、幕府は長崎在留のオランダ人にたのんで、將軍家慶薨去を理由として、米艦の再渡航を阻止する手段を講じたが、なるほどそれは、彼理の日本紀行によると、かれはその報告を、琉球で受取つた――が、彼理はそんな事は眼中になく、約束通りやつて來たのだ。

西にはまだ露艦との交渉がどうなつたか、その報告もない今日、米艦の再來こそは重大だ。事實は露艦はすでに交渉を絡つて、正月八日に退去してしまつたのだけれども、遠い長崎からの報告は、江戸には勿論、京阪の幕府の役人の手にも、更にそれから數日の後、やつと入つたくらゐなのである。

京都所司代、脇坂淡路守安宅は東西の町奉行その他の重役を召集して、今もつて幕府の公報が到達しないことを語り、

「なんとも奇怪至極の事ぢや。すでに庶民の口に喧傳される今日、當所司代の手もとに、知らせの來ない法はない。それとも、幕府は急使は出さなかつたのか？なんで左樣な事があらう。或はまた、庶民の噂は虚傳であるか？斷じて――しからば何とした事であらう。異變ぢや、間違ひが起つたのぢや。さう思ふほかはない。思ふに、急使はたゞの飛脚にあらず、密書傳達などの大切な使命をおびて上落したるものと推察される。しかしてその密使は、途中において、事變出來のために、今日にいたるもなほ到着せぬのではあるまいか？輕々に看過しがたい重大事でござるぞ」

一同は沈吟した。

當然來べきはずの、幕府の報告不着について、淡路守の判斷は、あたらずと雖も遠からざるものであらう。安宅は更に語をついで、

「ついては、公儀に對しての伺ひ合せは當所司代より差出すこと、兩町奉行においては、直に街道筋に調べ役人を差向、嚴重に吟味をいたすやう」

「はツ」

兩町奉行は言下にこたへた。

「もとより當地の調べは申すまでもござらぬ。不逞浪士、あるひは[illegible]公報を怠慢に通する職務の面々、策をかまへる者の所業かもしれぬ。各位よろしく心をあはせ、吟味探索いたされば相成らぬ」と淡路守は訓諭した。

寶生流の辰巳孝一郎氏來連

寶生流寶雲會では能樂師の泰斗辰巳孝一郎氏を招聘し來る二十七日頃から市内信濃町東鄉旅館で約十日間の豫定で寶生流謠曲の教導をするから受教及び聽講希望者は同會幹事へ申込まれたいと

梅若綠葉會の謠曲囃子例會

大連梅若綠葉會では廿四日午前九時から市社會館で第四十九回謠曲囃子例會を催すが、番組左の如くである

▲素謠賀茂、清經、松風、砧、頼政、梅枝、絃上、葵上、番外野宮▲獨吟▲仕舞小袖曾我、女郎花、笠之段、鵜之段、菊慈童、松虫、二人靜、千手、田村、小鍛治▲囃子鶴龜、籠、山姥

噂話

帝國館の混合プロ第一聲は初日から好調で二日目に至り俄然よく、事務所ではスッカリ氣をよくしてゐるが▲倉重支配人の言ふことを聞くと「お稻荷さんの釜をたいたら今週は這入るぞと御宣託があつた」と放送▲けふは晝間敬老會優待デーで先月は「上海」に當るしお年寄りは後生がよい▲中央映畫館の「若者よなぜ泣くか」の大衆興行は初日から見事ヒットして出で入場人員は同館近來の記錄をつくつた▲たゞ不思議なのは映樂館の不二映畫「熊の出る開墾地」が案外不成績なことで▲宣傳が不足なのか、パッと來ないのはどうしたことだらうと各館でも噂の種となつてゐる▲一昨日の中央映畫館、寶館の野球戰は七對三で寶館に凱歌が揚がつたが▲寶館側から出場した潮田流曉若は口だけあつて見事な遊擊ぶりを示したと好評

本社特選 新棋戰 （其七）

先 六段△飯塚勘一郎
平手 六段▲小泉兼吉

【圖は五二玉迄の局面】

▼小泉氏 持駒 桂 歩五

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	△香		△飛					△桂	△香
二					△玉		△金	△角	
三	△歩			△歩		△金		△歩	△歩
四				△銀	△銀		歩		
五		歩			△歩	△歩	銀	桂	
六			歩				飛		
七	歩	金		歩		歩			歩
八		角		銀	金				
九	香			玉					香

△飯塚氏 持駒 桂

△三二桂成 ▲同 金上
△同 歩成 ▲同 角
△四四桂 ▲同 金
△同 銀 ▲同 角
△三二飛成 ▲四二桂
△三四金 ▲四三銀打

【土居八段講評】飯塚君は敵の横様に依つて四四桂打の含みを以て譜の如く三三桂成と成り込んだのは面白い。小泉君は苦戰に陷つたが、然し敵の四四桂打に對し同金と指し敵飛車に侵入されては愈々見込みない、六二玉、五二金、七二玉、三二桂成、八六歩、同歩、九四桂、八七金なら八六歩と打つて極力攻勢を採る方が優る

滿洲農業移民座談會（七）

邦農移民の統制とその保護施設問題

有力なる機關が必要

出席者氏名 ▼竹內德亥（大連民政署長）▼田村羊三（大連商議副會頭）▼栃內壬五郎（大連農會副會頭）▼小倉鐸二（大連農事會社專務）▼宗光彥（公主嶺實習所長）▼中本保三（公主嶺農事試驗場長）▼鈴木伸二（營城子、篤農）▼山下肇（滿鐵農務課員）▼田中稔（關東廳農林課長）▼栗屋萬衞（大連、篤農）▼北浦辛三郎（旅順、篤農）▼千葉豐治（前大連農事會社常務）▼鈴木課（大連農事會社事業課長）▼橫瀨花兄七（滿鐵農務課員）▼棚橋民（關東廳農林課技師）▼佐藤義胤（滿鐵經濟調查委員會委員）▼石原正規（熊岳城實習所長）▼長井租平（滿鐵農務課員）▼香村岱二（滿鐵囑託、城子疃水田指導者）▼佐藤信元（滿鐵農務課長）▼三浦密成（果樹組合技師）▼黑澤謙吾（滿鐵農務課員）▼小田島興三（東亞勸業社員）▼大和田彌一（大連民政署地方課長）【十六日滿鐵社員俱樂部で】

長井● 次に邦農移民の統制機關とその保護施設の問題と邦農移民の奬勵とその財源問題とを一括して論議したい

栃內● 邦農を滿洲に移すにどこが中心になつてやるかをまづ考へねばならぬ、特殊の營利會社を設けよとの說があるが、かくの如き事業は私の北海道における經驗によれば國家がやるべきであつて營利事業として行ふべきではない、しかし滿洲においては日本國家が自ら手を下してやるは考へ物で、そこでこれに代る有力な機關にやらせ、統制は國家がとるべきで、かゝる機關としては滿鐵が適當であると信ずる、同時に滿洲に日本農業移民が入つて來るのは滿洲の進步であるから滿洲國としても受身になつて居るべきでなく相當の援助をなすべきである、さらに移民を收容すべき土地の選擇が極めて肝要である、滿洲には一千六百萬町步の未墾地があるがそのどこへでも任意に入れるものでなく相當の保護を必要とすることは當然である　この際最も大なる障害をなすは無償で入れぬことで、農民が故國土を捨て、他國に出るのは地主になりたいからだから、早く地主になれるやうにしてやらねばならぬ、南米は地價が極めて安いし、北海道、樺太はある條件で入植すれば無償で貰へることになつてゐた、故に滿洲も現在各地で賣買されてゐるやうな相當高い地代を支拂はねばならぬとすれば到底むづかしい相談で、從つて、未墾地は無償で、また先住民の土地は半分は政府で半分は日本人で持つやうにしたいと思ふ、この後者の場合でも出來ればある設備をしたものに對しては無償で拂下げることにしたらば理想的である　さらに移民の保護奬勵法として考慮せねばならぬのは、從來は移民の直接保護だけにつとめたことでこれがため移民が一旦失敗するか又は他の何かの原因で移住地を引揚げた時は、折角の保護も跡片もなく消えてしまつてゐる、よろしく今後は收容した土地を良くしてやるやうにすべきである、即ち排水、灌漑、衞生、教育等誰が後に來ても直に利用できるやうなものを設備してやることである、私共は曾て北海道において農事試驗場に模範經濟農家なるものを附設させて相當の成績を收めたことがあるが滿洲においてもそのスケールを擴大して實行して見たら面白いと思ふ、即ち日本から來る農民は一、二町の小面積における集約農業しか知らぬから直に滿洲式の粗放農業を營むわけに行かぬ、そこで場所を選んで模範農場をつくつて專門の實地指導の下に組織、機械、經營法作物等を理想的にやつて見せるのである、又農事實習所を設けて農民をこれに收容して實習させる、この實習所は成るべく入植する土地に近い所を選定すべきで嫩江方面に移民しやうとするものが瓦房店で實習するやうなのは抑も無理である　また農事改良試驗場を設くべきで、現在滿鐵のやつてゐる諸調查はこれを永く繼續せねばならぬ、學術的調查は迂遠のやうだが今日では科學の上に基礎を置かねばあらゆる事業は失敗であるかくのごとき一定の方針と國家の保護とにより移民すれば邦農の前途は明るいが、更に移民は原則として家族連れとしたい、青年が一時的興奮で天下國家を論じながら單身で奮鬪することも半年や一年なれば續かうが家を持たぬ移民は不自然で決して永續きするものでない

小倉● 栃內氏と全然同感である、移民機關を營利會社が經營するのは無理で、滿洲へ今後移民を入れやうとするのは南米移民とは全然事情が違ふことを知られねばならぬ、宜しく國家が直接やるか又は國家が危險を負擔し又はバックしてやることが必要である、移民保護の方針で栃內氏と同感であるが、かゝる教育衞生の施設をするにも營利機關ではむづかしい、移民に要する財源は統制機關とは別個に金融機關を設けてこれにやらすべきで事業をやるものが金融を兼ねるのは弊害が多い、この獨立の金融機關を國家が援助してやることは勿論である

栃內● 云ひ忘れたが、私と雖も財團が自發的に農業を經營せんとすればこれにやらせることには贊成である（つゞく）

南京政府がやれば當方でも對抗する

二重課稅問題に關し　福本處長語る

大連關稅徵收處長福本順三郎氏は滿洲國長駐の稅關長會議に出席中のところ二十三日午前八時着列車で歸連左の如く語る

今回の稅關長會議は主として內部關係のものが多く、例へば新に滿洲國稅關に入つた者の官制を如何にするかといつたやうなものだが、殆ど決定には至らなかつた、目立つた事項としては南京政府が滿洲諸港の封鎖策を執つた場合の對策如何といふのがあつたがこれとてその時になつてみればはつきりさしたことは判らないわけである　只この際考へられることは南京政府が滿洲諸港封鎖の立前から轉口稅を支那各地に於て徵收する、即ち二重課稅を實現することがその一つ、他の一つは、滿洲よりの輸出品に對し輸入稅を賦課することである、輸入稅は從價稅であるから殆ど禁止關稅に等しく、且つ輸入稅を徵れば滿洲國を外國として承認したことになるから、恐らく輸入……

……ことになる、一時大連港の二重課稅が行はれてゐたのを再現することになる、貿易業者としては打擊であらうが已むを得まい然しこの種の貨物は極少量だから大した影響はないと思ふが荷主が殆ど外人だから外國人が相當異議を唱へるだらう

專賣案の一段階

米穀法一部改正

買入餘力を八千萬圓に

【東京二十三日發】農林省では米穀の統制案につき省內に米穀部を設置し專賣案を中心として各種の國家管理案に就き連日協議を進めてゐるが國家管理案に至る一段階として

一、現行米穀法一部の改正
一、現行米穀法施行地域を朝鮮、臺灣に迄擴張する
一、殖民地米の管理

等につき特に考慮されてゐる模樣である、併して專賣案の如き根本策の具體化は來るべき臨時議會迄には殆ど不可能とされてゐる現情であるので取り敢ず米穀需給調節特別會計法の改正を爲しこれが改正案を來るべき臨時議會に提出することになつた、しかしてこの改正は米價維持の爲め買上げを行ふ場合に買入金を潤澤にせんとするもので現在の買入餘裕金は三千萬圓に滿たざる現情にあるので本改正案に於ては約五千萬圓を增額し特別會計負擔に屬する證券及借入金の額を通じて最高約四億圓とし買入れ餘力を約八千萬圓に增額せんとするものである

大詰に近づいた市場問題

補償金と諸修正案

（五）

小川案における補償金算定の基礎中、卸賣人の總取扱ひ高年額と純利益率の妥當性は前回に大體述べた。同樣何年賣にするかにつきこの方針も一通り吟味したが、これはどうも二二が四といふ風に片つけにくい性質のものであり、自然補償金全額がふらついてくる。委員會ではさう深く考へたわけではないが、いきなり無雜作に削つたり減らしたりしてゐる。そこでけふは諸修正案を並べて少し變つた角度から二三所見を述べてみやう

◇

修正案中には純利益を一分、脫退組には五割減、北支那青果會社七千圓減にせよといふのや、脫退組五割減、場外問屋半減、北支那青果三千圓强減といふのも出たが提案者が取消して相川案や大西案に合流したから取上げない。大西案（多數可決案）相川案（少數案）及び原案の內容骨子は左の如くである

●大西案――殘留組三萬二千四百圓 脫退組一萬九千圓、北支那青果會社は最大限度一萬圓（補償の必要なきも從事員の退職金として）場外問屋二千圓、合計六萬三千四百圓

原案――殘留組六萬三千三百餘圓 脫退組三萬四千九百餘圓（三割減）北支那青果二萬圓、場外問屋四千圓、計十二萬二千三百四十五圓

相川案――殘留組、脫退組は原案通り、北支那青果一萬五千圓、場外問屋二千圓

◇

さて物事が落付くところに落付くまでには種々迂餘曲折あるもので一應を知ることは常に必要だ。卸賣人は補償金六十萬圓を吹かけたこともあるが、だん／＼値下げして田中案が具體化す頃には三十萬圓からビタ一文まからぬと力んだものだ。これに對し補償の義務がない以上一文もやる必要はないと主張する硬派もあり、現在でも理論的にはさう公言してゐる市議もある。それはともかくとして田中案が補償金を十三萬五千圓以內で纏めるやう市長に一任することにして市會で可決されるや、卸賣人は猛烈に反對したりすねたりしたのはいふ迄もないが、大勢利あらず少しづゝ値下げして行つた。そして結局大連民政署長が卸賣當業者と市當局の居中調停をさるべく餘儀なくされ、步み寄つて十五萬圓ならと內定した。ところで十五萬圓は誰の目にも大勉强した先づギリ／＼決着のところだらうと思はれた。されば十五萬圓を切込むにしても自から限度ある。原案に近いものならどうやら圓滿に纏まらうが大西案のやうに半減されては聽から出來ない相談を持かけるやうなものではなからうか

◇

原案の金額が將來、市の銷却になか／＼骨が折れ從つて市民の負擔が重いやうでは大いに考へ直されねばならぬ。ところで市價並に一時借入金六萬三千圓を加へた補償金額を三年間で銷却出來、その他取引高など豫算の基礎となる數字も內輪に見積つてゐるから大丈夫とは玄人筋の判定だ。もちろん市民としては補償金が少ければ少いほどよい。然し忘れてならぬことは市直營となつた曉、その二大機關たる卸賣人の市と仲買人が何事によらずお互ひ氣持よく協調努力することが出來るやうでなければ市場の健全な發達は望まれないといふことだ。これを思ふ時、大西案のやうに將來の仲買人たる人々から根强い恨を買つて越え難い溝を造つた揚句、假に無理にも收容が出來たにしろ、その有形無形の惡影響はどんなだらう、初め六萬圓を値切つたところで將來どの位損するか。一文吝みの百文失ひの感がないでもない

◇

大西案は卸賣人が收組後も仲買人や場外問屋たることが出來、利益を失ふのは市場類似の行爲方面だけだから半分の仕事だ。それも當分は打擊を蒙らうが三年も經てば恢復出來やうからその期間の生活費を助けてやればよい。即ち殘留組の生活費を百二十圓、家族と從事員を入れ十五人とし、生活費の年額六十圓の十五人分の二年分をやればよい。脫退組は取引高減により收入が減つてゐるからその四割減にせよといふのだ。然し補償金は中央市場の卸賣人たりし一種の特權や將來場外にて市場類似の行爲を拘束されるから出すのであつて生活を補助するのではない。どうも算定の基礎を卸賣人の生活費に求めるのは諒解が出來ぬ。また日支人の生活程度や同じ支那人なり日本人なりの生活程度又は家族從事員數も區々だし、それを一稚にして而も杜撰な仕事だ。

◇

北支那青果の分についていへば大連警察署が同會社の設立認可に當り、將來公共團體において市場を開設する場合は無條件にて荷受けせり行爲を停止し、補償如きを要求しないといふ意味の條件附になつてゐるので、補償する義務はないが經過的事情や政治的見地から減額支給說を出したもの三四氏あり、大西案も從業員退職手當として一萬圓とした。これに對し原案は右會社が大連で臺灣バナナを特約獨占して荷受販賣してゐるが改組により右獨占權を奪ふといふので殘留組同樣の算出による一萬一千餘圓に八千圓餘を加算してゐるのである。蓋し兩者の云ふところ共に一理あるが、相川案は恐らく原案の約八割加算が過當と見て五千圓減の約三割加算としたのであらう

◇

最後に場外問屋の分だが市當局の調查によれば現在場外で市場類似の取引をなしてゐると見做されるものが約四十名あるが、そのうち取引年額千圓以上のもの六名、一萬圓以上のものは三人に過ぎないといふことである。然るに彼等は皆代理店で當業者でないから取引を差止められてもあまり痛痒を感ぜぬだらうといふので各修正案とも原案の四千圓を半減したわけであるが、これについては殆ど異論がないやうだ。また田中案や石本案ではてんで計上しなかつたので……

曳揚船渠を築造

機船漁業組合で管理

關東州水產會では州內漁業發展助長策として曳揚船渠を築造し州內漁業家に低廉な料金で使用せしむることゝなり滿鐵に右設計を依賴し川口技師の手で設計中のところ漸く出來上つたので來月早々一萬二千圓の工費を投じ榮町第四埠頭に右船渠を築造にかゝり八月中に完成を見ることゝなつたが水產會では右船渠竣工後これを關東州機船漁業組合に無料貸下しその經營一切を委任、創立匆々の同組合の有力なる財源に供し、極力同組合の發展を援助することに決したので、機船漁業組合では右の趣旨を體し過般來理事會を開き、これが利用方法及料金等に就て協議を遂げ二十二日の理事會で愈々正式に決定を見た、即ち同船渠の利用者は組合員に限ることゝしその使用料金は大體一馬力當り一日四十錢以內とし專門請負業者の見積料金を基本に料金を決定、八日以上に至るときはその後は馬力數の大小如何に拘らず一隻當り一圓の料金を徵收することゝなり、該船渠使用に關する規程も近く關東廳に認可を申請することゝなつた

現在の一般料金馬力當六、七十錢を要するに對し右船渠竣工の曉は四十錢以內にて足りることゝなり又各漁船は少くとも年四回以上の入渠修築を要するので、これより非常な負擔の輕減を見ることゝなり州內漁業者の一大福音である

奧地輸入革果の稅率引下を陳情

州內各地の當業者等近く關係筋に運動

今日非常な苦痛であり、則率決定當時は革果を高級果奢侈的果實なりとの見地より率を課せるも今日は革果の大衆化し保健上必要缺くべからざるものとなつてゐるにも拘らず稅を課するは不當にして、收後必然的に豫想される滿洲國稅改正に際しては從價稅より安當なる稅率に改正されるものを、要望が最近有力となり州內當業者は二十二日朝關東廳、東軍及滿洲國に陳情運動を起す急ぐ程し決議文を作成關東的達成に邁進することに決……右の旨陳情するところあ……

果實輸出販賣組合總會

滿洲果實輸出販賣組合では十日沙河口驛前關東州果樹部共同荷造所に於て第一回總會を開催

一、昭和六年度同組合決算報告
二、定款一部改正の件
三、役員改選の件
四、滿洲果實鐵道運賃輕減の件
五、滿洲果實の海外輸出に出檢查勵行方請願の件
六、關稅賦課法變更方請願
七、其他報告事項

の各議案を審議決定することゝなつた

大連市會續會

都合によりのびのびになつてゐた大連中央卸賣市場改組の第六十六回市會續會は二十八日ごろ開會の豫定であると

三井銀行異動

【東京二十二日發】三井銀行では本日幹部十五名の異動を發表した

本店營業部長　取締役　外山知三
命內國課長　內國課長　金子堅次郎
命營業部長　上海支店勤務　神戶豪太郎
命ボンベイ支店次長

機船漁業組合理事會

關東州機船漁業組合理事會二十二日午前十時より引續き開き回委員附託となつた油類共同購入及曳揚船渠使用規程、魚函……

滿鐵社債申込み殺到

【東京二十三日發】二十二日一般の申込みに應ずることゝなつた滿鐵社債二千萬圓は發表の二十二日早くも二倍半乃至豫約に達する盛況を呈した

發行條件

【東京廿二日發】シンジケート銀行の會合で條件の決定を見た社債五千萬圓は廿一日當局の許可を得たので廿二日午後零時銀行業者を興銀に集め左の如く發表した

▲發行額五千萬圓▲期限（一年据置三ケ年間隨時償還）▲利率年六分▲發行價格九十九圓十錢▲募集期日七月廿六日より廿八日迄▲拂込期限八月……▲總額五千萬圓中二千萬圓は公募殘りはシンジケート引受と決定した

商議の委員會

大連商議では過般の役員會で決定した低利資金滿洲融通に關し十二日午後三時半より委員會を開催、低利資金融通方法及び……

市況（廿三日）

特產

買氣ありて一齊强調

定期前場

現物市場

銀　鈔

株式

商品

麻袋保合　綿糸低落

定期後場

市場電報

銀塊及爲替　神戶日米　棉花　大阪株式　東京株式　大阪期米　東京期米　神戶期米　大阪棉花　橫濱生糸　印度麻袋

上海爲替情報

前場

後場

手形交換高

鮮銀建値

爲替相場

奧地市況

今晚の催しものは

(明治卅八年十二月十五日 第三種郵便物認可)

満洲日報

北支の風雲に乘じて反張派漸く動く

張系將領もぐらつく

關内東北軍は關東軍が熱河問題の解決を開始せりと認め大狼狽を來し學良は十八日夜將領會議を開催歩兵三旅、騎兵、砲兵各一旅を遵化玉田、古北口等に出動せしめ飛行隊及び戰車隊に出動を命じ着々熱河省境の防備に努めつゝあるが**北支一帶の反張派は東北軍の北上を以て北平、天津方面に於て反張派蹶起の好機到來と判斷し反張派に氣脈を通ずる東北軍將領中には日本軍との衝突を慮り内々反張擧兵を促すもの漸次活況を呈して來た、**反張熱は急速潜航的に猛烈になりつゝあるもの如く上海申報の如きは學良免職を大聲叱呼してゐる【奉天電話】

【錦州特電二十三日發】湯玉麟向背の疑問を中心として阿片王國熱河の山野に戰雲低迷の危機を孕むに至つた、即ち〇〇方面よりの消息による北平にある學良は豫てより湯玉麟の態度明白ならざるに不安を感じつゝあつたところに今回の石本氏事件の結果が彼の豫期したる結果と眞に反對の方向に進みつゝある事實を聞知し一入不安の度を強め武力の威嚇により湯玉麟を北平側に加入せしめんと第百六旅義勇軍第七旅義勇軍の混合部隊を熱河に増發しつゝある、併し湯玉麟が彼の聲明たる熱河に彼等の入國を許すか否かは疑問である、而して學良にとつてもこの地は彼の生命であり全力を盡しても得んとしてゐる、かくして阿片王國は學良、玉麟、満洲國の對立三巴の中に阿片採取斯に入らんとしてゐる

米國の神經を刺戟

九國條約違反かと

【ワシントン二十一日發】熱河の風雲急にして日本軍進出の報にワシントン官邊は前途を憂慮しゐる**が若し日本軍進出せば九國條約違反なりとの既定方針を支持する意向**を有してゐる併しアメリカ政府としては調査團の任務完了するまでは事態を静觀する模樣である

平津地方の大警戒

北平綏靖公署の命令

北支時局の緊張と共に北平綏靖公署は天津市政府に對し左の命令を發した

一、日本人及び反動者にして變裝竊かに我軍狀探査或は危害の所爲に出るものは直ちに逮捕すべし

二、地方新聞にして反動者に乘ぜられ又は反動の言論を發表或は軍事消息を掲載したるものは直ちに發行停止すべし

三、民衆運動の激化を防止し非法運動又は宣傳を禁止す

四、兵器その他禁制品の密輸或は所持者を嚴重に取締るべし

五、日本軍の行動は逐一探査速かに報告すべし【奉天電話】

學良の義勇軍

【天津二十三日發】張學良は天津の支那職人をして綠色の軍服三千着の調製を急がせてゐる右は第七第十六の兩旅から約五千名を選拔して義勇軍に改編することゝなつたもので該部隊に着用せしめ高粱の繁茂と共に蠢動せしめる爲めと見らる

唐集五策動

遼寧民衆自衛軍總司令唐集五は目下守備隊では落合隊長以下兵卒まで一分の隙もなく警戒してゐるが更にはち切れるやうな緊張振りを示してゐる

徐永昌は不參加

北支聯合防備會議

【天津二十三日發】北支聯合防備會議に對する張學良の招電で離震、韓復榘、石友三等續々北平に集つたが太原電報に依ると徐永昌は太原政局多忙を極め北平に赴くこと不可能であると云つて來た

湯の家族避難

【天津二十三日發】湯玉麟は其の後吏に貴重品をトラック四臺に積み第一夫人第二夫人子供四人を當地イタリー租界某所に引越さしめたが一昨夜イタリー工部局は湯の家宅捜査を行ひ拳銃二十數挺、彈丸若干、阿片包千個を押收して引揚げた、然し支那公安局の折衝で昨日拳銃だけはこれを返還した模樣

山海關に塹壕構築

【天津二十三日發】山海關の何柱國は熱河問題起るや直に戒嚴令を布き夜間の運行を禁ずると共に十八日來人夫を徴發して我が軍に對抗的に塹壕構築なしつゝあり我

満蒙の將來に就て悲觀論は絶對不要

歡迎會席上　内田外相演説

【東京特電二十三日發】東京官民有志の内田外相歡迎會は昨夜丸の内東京會館に於て開かれたがその席上外相は次の如き要旨を述べ満蒙問題に對する抱負の一端を披瀝したがこれによつて外相の底力ある強き外交振りが窺はれ一般に好評である

満蒙の將來に就いて昨今一部に悲觀論を抱くものがある樣だが自分が見たところかゝる悲觀論は絶對に不必要である、明治維新にしても幾度かの叛亂を繰返してゐる、建國日尚淺き満洲國に多少の動搖あるは已むを得ぬ、日本として満洲國承認は當然の事である、これに對して支那側、聯盟側の紛糾を懸念するものがあるが現在の狀態は日本と満洲國、満洲國と支那との關係であるから日本の承認につき支那も亦これを承認するやう肯ぜねばならぬ、聯盟に對しては單に條約公文にのみ卽せずその建國に至つた精神を充分に汲み取つて總てを裁斷せんことを希望する【寫眞は内田外相】

新統一機關内容

新機關の長官は『在滿全權大使』

廿五日の閣議に上程

【東京二十三日發】二十二日午後の關係次官會議で決定せる満蒙四頭政治統一機關設置案内容は左の通りであるが、本案は統帥權及び豫算問題に關連するため二十五日午後の關係四大臣會議及び閣議決定に際しては多少の變改は免れぬかも知れない

一、四頭政治統一機關は**官制に依らず**關東軍司令部條令關東廳及び外務省事務規定等の改正に止むるものとす

一、新機關の長官は**在滿全權大使**(特派を削除)と稱し現役陸軍大、中將を以て之に當て文官たる身分において内閣に直屬し武官たる身分において關東軍司令官の職務を執るの三任一致主義によるものとし官等は親任官とす

一、全權の下に事務總長を置き全權を輔佐し、その下に置く**内務、警務、外事の三部長及び滿鐵を指揮監督**する

一、事務總長及び各部長以下關東軍顧問として之に當つ

一、内務は部預産、財務其他現在關東長官のとつてゐる職分の大分を繼承、部長は文官とす

一、警務部は關東廳警務局の事務全部を繼承し警察官及び憲兵を指揮し專ら治安維持に當り部長以下は關東軍憲兵隊長又は同軍顧問を以て之に當つ

一、外事部は外交關係の事務を擔當し、部長は總領事又は關東軍顧問を以て之に當て、滿鐵附屬地外における各外交官を指揮監督す

一、滿鐵の有する**附屬地行政權以下從來の儘とし**滿鐵に對する全權の監督權

一、新機關に必要なる場合には全權の諮問に應ずるため各方面の學識經驗ある者を網羅して顧問を置く事を得

一、**新機關の事務所は現在の關東軍司令部を擴充**して在滿全權職員事務所とす

統一機關案

民政より進言

問題は廿二日午後三時から首相官邸に開かれた關係次官會議で綱目を發す大綱を決定廿五日關係大臣會議に附議し廿六日定例閣議で最後的決定をなすことゝなつた

【東京廿二日發】民政黨滿蒙對策四頭政治統一委員會は廿二日左の

四頭政治統一

關係次官會議

【東京二十二日發】四頭政治統一

有吉公使を承認

國府アグレマンを與ふ

【東京二十三日發至急報】外務省着電＝國民政府は有吉大使の支那駐劄公使たるにアグレマンを與へた

昭和六年度歳入出國庫現計

殊に租税收入減甚し

【東京廿二日發】大藏省發表＝五月末現在昭和六年度歳入出國庫現計によれば歳入十三億二千八百餘萬圓歳出十四億七千餘萬圓差引一億四千二百六十九萬五千圓の歳出超過を示してゐるが歳入は尚豫算金二億九千四十餘萬圓の繰入れがあるので今後の歳出を差引いても昭和六年度現計締切に於ては二千萬圓前後の新規剩餘金を生ずる見込みであるが大要左の如し(單位千圓)

歳入經常部	一、一一八、六九九
前年比較減	九七、五三七
臨時部	二〇九、四八四
前年比較增	四九、一六七
計	一、三二八、一八四
歳出經常部	一、一〇六、三七一
前年比較減	五五、六二一
臨時部	三六四、五〇八
前年比較增	九一、一七四
計	一、四七〇、八七九
前年比較減	四六、四四七

陸軍關係の失業救濟事業

追加豫算要求

【東京廿二日發】陸軍は失業救濟に要するため臨時議會に追加豫算を要求

選擧法改正

法制審議會諮問

來週中に第一回總會

【東京二十二日發】政府はいよいよ選擧法改正を行ふ事となり、齋藤首相は二十二日の定例閣議でその旨述べ閣僚の承認を得法制審議會に諮問をなした、而して右諮問は直に平沼樞府副議長に手交されたので法制審議會は内務、司法の參考案をもつて審議を開始すべく第一回總會は來週中に開かれる豫定である

今村中將御召

【東京二十二日發】天皇陛下には二十二日午後二時御學問所で去る十四日横須賀に歸港した練習艦隊司令官今村中將より遠洋航海の所感に就き御聽取遊ばされた

失業對策委員會

【東京二十二日發】失業救濟並に防止の積極的對策樹立のため新に設置された失業對策委員會は内務省が本年度追加豫算として地方公共團體の一般失業救濟事業國庫補助費として二千百萬圓を計上した結果各地方の失業救濟事業國庫補助並に低利資金は各地方獨自の立場で施行し得る立前になつたので從來の失業防止委員會の調節部は自然消滅せしめ具體案のみ審議せしめ政府の對策の最高方針を決定する機關として第一回總會は二十七日内相官邸に開催する事となつた

高橋藏相不信

全國町村長會議

【東京二十二日發】全國町村長會議は二十一日來開會中であるが第二日の廿二日に至り高橋藏相不信の聲揚り、この上は農村救濟に關する藏相を動かして農村救濟の實を擧ぐる以外途なしといふに意見の一致を見た

生絲需要增進調査會官制

【東京二十二日發】農林大臣の諮問に應じ實收生絲處分に關する重要時事並に生絲の新規用途又は販路開拓その他生絲の需要增進に關する重要事項調査審議する生絲の需要增進調査會官制は二十三日の官報で發表する要旨左の如し

一、本調査會は農林監督に屬しその諮問に應じ需要增進の重要事項を調査審議する

一、會長一名(農林大臣)委員十五名(臨時に委員を設く)外に幹事を定む

一、これ農相奏請し内閣より任命す

オッタワ會議

愈々開會さる

【オッタワ廿一日發】英帝國の經濟的更生を圖る英帝國經濟會議いはゆるオッタワ會議は廿一日より當地に開會された、開會劈頭英本國代表ボールドウイン氏が帝國を構成する各自治領間に特惠關稅制度を擴大し、更に英帝國に及ぼすことに反對し、カナダの産業を妨害せざるイギリス製品の自由移入の限度撤廢を提議した

米四大鐵合同

經營案を可決

【ワシントン二十一日發】州際商業委員會は米國四大鐵道合同經營案を可決した、右はニューヨーク中央、ペンシルヴアニア、バルチモアオハイオ、チエサピーク、オハイオ四大會社の貨客爭取を防止し經營を改善せしめんがために計畫されたものである

林中將に動一等

【東京二十二日發】前天津駐屯軍司令官林銑十郎中將の功勞に對し政府は二十三日勳一等瑞寶章を授與することゝなつた

北支の政局

共産軍一萬武漢に迫る

【漢口二十二日發】湖北の共産軍約一萬は黄安黄陂孝感を中心に集結し武漢に進入の姿勢を取りつゝあり孝感にある第十師は急電により今朝當地飛行場より爆撃機四機を急行せしめ共産軍集團部隊に爆撃を行ひ相當の損害を與へ共産軍は一時東北方へ退却した

蔣林會見協議

【上海二十三日發】支那側報道に依れば蔣介石は汪精衞の招電に依り二十二日朝漢口發廬山に來り國民政府首席林森と會見し日貨問題を商議し二十四日朝南京に歸る豫定である

羅文幹部長辭表提出

【上海廿三日發】羅文幹は外交問題重大化しその重責に堪へぬとの理由で國民政府に辭表を提出したが國民政府も今回は慰留せず更迭に決し、後任として元外交部長黄郛を任命することゝし交渉中なるも近日正式任命の模樣である

勞農奉天總領事近く奉天發歸國

對滿政策轉換確立か

奉天駐在ロシア總領事ズナメンスキー氏は本國政府の召還により數日中にモスクワに歸國することになつた、氏は歸國の途次ハルビンに立寄り同地總領事スラウツ氏と會見打合せをする筈である、ズナメンスキー總領事は満洲事變前より奉天に在任し當時召還を受けてゐたが事變勃發と共に満洲國の形勢重大化せるためその儘引續き在任してゐたので今回事態一段落を告げると共に漸く歸國することとなつたものである、歸國後は直にリトウイノフ氏と會見満洲事變後の満洲に於ける形勢變化満洲國成立の經過等に就て現地調査せるところを報告するがこれを以てソウエートの今後の對滿政策轉換確立の素因を爲すものとして注目せられてゐる、尚ズナメンスキー氏歸國後の後任總領事は當分空位の儘としソウエートの満洲國承認及び蘇滿懸案が解決を見るまでは決定せぬ模樣である【奉天電話】

本社懸賞入選論文

満蒙維新の大業完成に對する吾人の希望 (6)

教育制度について一言

一

教育を論ずるに當つて忘れてはならぬことは宗教と社會制度である。宗教は常に社會制度の基礎を爲すものであつて、宗教と社會制度とが密接なる關係に在ることは文化の高低に依りて何等差異がない。科學的發達の幼稚なる社會に於ては、宗教は凡ゆる思想と文化の根柢を爲し、人心統一の强固なる仲介者となつてゐることは否めない事實である。固より宗教と迷信とは明確に之を區別し、有害なる迷信は積極的に之を抑壓し、禁止すべきである。けれども宗教は決して抑壓すべきものではなく十分なる保護と獎勵とを與ふべきであつて、理由なく他宗教を強ゆるべきでは毛頭ない。

學校教育より宗教を全然分離したる制度を採るは、今日文明國の共通的教育制度である。本制度は果して最善のものであるか疑はなき能はずである。教育と宗教とを分離する制度を採るは、國民が多數の宗教に歸依せることを前提とし、信教の自由を保障せむが爲めである。國民に信教の自由を保障することは進んだ制度で寔に結構ではあるが教育と宗教の分離は、國民の道德的訓練に缺陷を生ずることを明かにして、信教の自由は却て無信仰の自由の如き結果を呈してゐる。人に信仰心なきこと、道德的訓練なきことは、人をして怠惰ならしめ、輕率浮薄たらしむ。殊に文化の程度低き住民より宗教觀念を取り去ることは危險最も甚だしきものであるから、教育制度を樹立するに當りては、既存宗教を尊重することゝ新教育方針は宗教を基礎とすべきであることを希望して已まない。道德を基調とし、政治の本を王道主義に採る新國家に於て殊に然りとする。

二

満蒙新國家の政治の大本は、其の局住民の安寧幸福を圖り、其の文化を誘導向上するに在る。それには教育の制度を確立して、住民の智能的啓發を圖らなければならぬ。而して教育の方針は結局文化的教育、即ち普通教育を主とするか實業教育、或は專門教育を本位とするかの問題である。換言すれば、教育の方針として形而上學に重きを措くか、それとも形而下學に

社說

滿洲國援助に關する日本のヂレンマ（五たび）

從來吾人の本欄に於て縷述した如く、日本政府は滿洲國の重要産物に關して高き輸入税を課し、不本意ながら其の産業の發達を妨害してゐた。其の上去月二十六日以後、之れに對して一律三割五分の附加税を増課することゝなつた。固より之れは獨り滿洲産の商品に對してのみでなく、他の諸外國から輸入さるゝ總ての商品に對して、一樣に且つ公平に課するものなれども、之れが爲めに滿洲國の發展は、特に甚だしく阻害されねばならぬ。是れ尙可なりだ。石炭の輸入には制限を加へられ、又硫安工業に至つては、全然其の新設擴張が阻止されてゐる。これ將來徹底的に滿洲國を援助せんといふ日本の態度としては、聊か不可解の如く見ゆ。

◇

否、獨り滿洲國の硫安工業に對するのみならず、內地の夫れに對しても、從來日本政府の執れる態度は、頗る不可解の點あるを免れず。最初日本政府は、內地の硫安工業に對して保護助長の方針を執つてゐた。蓋し之れが國家の爲め、特に農業の爲め頗る必要と考へてゐたのである。のみならず、之れを以て國防上寧ろ喫緊の必要事と考へてゐたのである。然るに最近に至つては此方針がガラリと一變した。疲弊困憊せる農村救濟の爲めには、なるべく低廉なる肥料を供給する必要がある、といふ建前の下に、最近に至つては甚しく硫安工業を虐待するに至つた。吾人は此點に於て政府の態度の激變に驚かざるを得ない。

現にドイツの硫安工業者は、其の過剩せる生産物の捌け口として、近年盛に日本に向つてダンピングを始めた。而して飽くまで內地に於ける同業を壓迫せんと試みた。隨つて此の壓迫に堪へ兼ねた內地の硫安製造業者は終に外國の同業者の前に屈服し之れと妥協し、今後何年かの間內地で製造したる硫安を一切外國に向つて輸出せざることの條件の下に、其の販賣價格の協定を遂げた。然るに日本の國産を外國へ輸出せざることを必要條件とするが如き協定は、國家觀念の缺如せる不都合極まるものであると云ふ理由の下に、內地に於ける官民の間に相當に物議を釀した。而して政府も之を默過すべきでないといふので、時の政府當局者は之れが干涉を試みることゝなり、政府の威力を以て、遂に此妥協案を破棄せしめた事がある。

◇

然るに其の後內地に於ける硫安の生産高は非常に激增して、今や甚しく生産過剩を告ぐるやうになつた。隨つて其の相場も暴落して、當時の約半價ぐらゐとなつた。此に於て我が硫安工業者は、目下の爲替安を利用して、其の過剩分を外國に輸出せんと企つるに至つた。而して此の輸出は頗る有利となつたのである。然るに近年農村救濟の急務を感ずるに至つた我が政府當局者は、此の輸出をさへも、一切許可しないのである。爲替相場の下落を豫想したる見越輸入は、ドシ〳〵許可するが、輸出は殆んど之れを許可しないのである。之れが爲め硫安の相場は今や未曾有の安値に暴落し、當業者は四苦八苦の窮狀に陷つてゐる。內地に於ける硫安工業に對する政府當局の方針にも不可解の點がある。

◇

以上吾人の過日來連續して論述して來たところにては、日本は一見滿洲國に於ける産業の發達を希望せざるが如くにも見ゆる。少くとも富源の豐富なる滿洲國が、今後其の全能力を發揮する曉には、天惠の貧弱なる日本國民は、到底之れが競爭に堪へざるを以て、寧ろ之れを迷惑するかの如くにも見ゆ。されど是は甚しき誤謬である。全然皮相の見である。なるほど日本の農業や礦業が、滿洲國の夫との競爭に於て困難を感ずるは事實である。少くとも一時其の脅威を感ずるに相違ない。されど其は飽く迄一時的である。日本の理想としては、是非とも滿洲國の産業を大に發展せしめねばならぬ。又日本の國策としては是非とも滿洲國を將來立派なる産業國として仕上げればならぬ。滿洲國は依然として日本の生命線である。日本の産業界は、其根本に於て、滿洲國の夫れと全く一致し、古き言葉なれども飽くまで共存共榮でなければならぬ。安き原料や安き燃料や、乃至は安き肥料等を輸入するのは、飽くまで日本の根本方針であらればならぬ。然らば今後如何にして日滿兩國の經濟を調和し、其の利益を一致せしむべきや。此點に關しては、吾人は更らに研究を重ぬるの必要がある。

次ぎの問題　日滿經濟統制
鐵、石炭、硫安、米、林産等　如何に處理するか

日滿統制經濟問題は前例なき廣汎な問題でその影響も甚大であり、假令研究に着手するも容易に實現し難いものと信ぜられてゐる、大體論として滿洲は原料生産地とし日本は製造地として兩者の間に保つべしとの議論が多いが、かゝる原則論のみで片付けられないことは今次の石炭問題で明白である、しかし如何なる困難あるも統制の實を擧げればならぬことは日本朝野の認むるところで主として鑛産農産の兩方面について具體的實行方法が講究されんとしてゐる

鑛産共販制度　特産マグネシウムの處置

鑛産の主なものは鐵と石炭であるが、鐵の內銑鐵は既に共販制度が內滿鮮製鐵所間に行はれ、今月三十日には共販會社の設立を見ることになつて居り、鋼鐵は昭和製鋼所が白紙で研究し直したので、いづれも今後統制は比較的容易である、これに反し石炭は今次の問題を起しただけに最も困難で、單に日本內部の炭坑統制が至難とされてゐる、日滿石炭統制の最も實行し易き案は銑鐵の例に從ひ共販制度を設くるにあり、嘗つて滿鐵と石炭聯合會との間に研究されたが銘柄が八百以上もあるため不可能として葬られた、しかし熱量や、形狀、灰分等によつて規格を單純化することは不可能でないから今次の苦い經驗によつて或は共販問題が具體化するにあらずやと見られてゐる、しかし共販は炭價の問題を伴ふので消費者側の利害關係深く從つていよ〳〵となれば實現は容易の業でなからう、近來注目されてゐるマグネシウムも內地には全然生産しないから問題にならぬであらうが日本の年消費高がなほ少量だから工業化するまでには時日があらう

米價問題　鮮臺米との關係

農産物中、最も問題を起す恐れあるは米作である、現在日本は朝鮮、臺灣の移入米を合せて年三百萬乃至七百萬噸の供給不足を告げ外米を輸入してゐる、しかして滿洲の現水田面積は九萬町歩で數百萬石の收穫ありなほ容易に水田化し得る土地が三十萬町歩あるから約八百萬石（米四百五十萬石）には達する見込みである、故に三百萬噸日本に移出し得るとして丁度日本の最少不足年度の不足額を補ふに足るが、日本の米價が維持されてゐるのはこの不足額があるためで、從つて滿洲米の移入增は當然米價暴落を來すものとして物議を釀すであらう、しかしこれは朝鮮が無理な産米增加計畫を強行してゐることゝ相俟つてむしろ朝鮮の計畫を中止して生産費安き滿洲米を獎勵するが自然であるとの說も生ずべく、この問題は日、滿、鮮、臺を一丸として非常な論議を起す可能性がある

木材關稅如何

林産業も既に內地の當業者間に滿洲材防遏の意見を生じてゐる程である、日本は毎年六百萬石の米材を輸入しつゝあり現在の造林計畫が成功するも今後二十年間は四百五十萬石乃至五百萬石を輸入せねばならぬ、滿洲には間島方面のみに七億石の材積あり一年に二百乃至二百五十萬石の日本移入は可能で、又この程度なればあまり日本の木材界を壓迫することなしとし、滿洲側より木材關稅に除外例を設くべしとの議を起さんとしてゐる

以上の外鹽、曹達、硫安等においても日滿間に各種の問題を豫想するを得、殊に硫安はほとんど滿洲の起業は不可能となつた、曹達は化學工業の母で現にブラナモンド物を三萬噸輸入してゐるから日本の化學工業の進歩如何では滿洲で企業の餘地があるが、しかし現に日本に旭ガラス、日本曹達の兩會社新設されたから當然問題を起す事があり得る、たゞ比較的無難なのは鹽で現在關東州よりの移出は二億斤だがさらに地中海方面や青島より輸出される二萬五千噸は滿洲物で代へることが出來、これによつて內地の製鹽業者との間に問題を起すとはないと見られてゐる

十河理事より重要な獻策
經濟統制問題表面化

滿鮮炭輸限問題は端なくも滿洲の産業と日本の産業の對立および協調の限界について深刻な注意を呼び起し、當然一度は論議されねばならなかつた日滿經濟問題が、案外早く表面化し更にこの問題に刺戟され臺灣では蓬萊米の移入で問題を起さんとし、又朝鮮も産米增殖計畫の完成に伴つて既に內地農業關係者の論議を釀しつゝあり、日、滿、鮮、臺を一丸とした一ブロックの相互問題として重大な政治問題化せんとしてゐる、右につき滿鐵では經濟調査委員會が中心となり研究中であつたが十河理事は十八日飛行機にて突如上京の途に就き、廿一日神戸で八田副總裁と會談の後上京した、同理事は右の上は統制問題に重要な獻策をなすものと信ぜられ、又常設委員會が內閣內に設置される時は滿鐵もこれと連繫を取つて研究することにならう

わが馬術選手　オリムピックの精華（3）

オリムピック出場のため渡米したわが馬術選手はリビエラサウンツリークラブで日々練習を續けてゐるが寫眞は同地練習中の西竹選手

運動次第では　ひと肌脱ぐ
低資要望と關東廳

中小商工業者救濟の低資融通を滿洲にも適用されたしとの議論は過般來滿洲の邦人商工業者間に唱へられ大連商議に於ては全滿各機關の間に一致して要望すべく折衝すると共に過日在滿邦人の郵貯にして母國に移管されてゐる二千三百餘萬圓の內一千萬圓を低利資金として融通されたき旨關東廳に申請した、右に關し財務當局の內意を探るにそれは

まづ政府當局を動かし得べき確乎たる輿論をつくられねばならぬ、そして大藏當局にして諒解するなれば一肌ぬがでもない、實現の曉は各種公共團體から成る聯合委員會を作らしめ既存の輸入組合金融組合、水産會又は産業組合を經て信用ある向へ貸しつけしむる而して低利資金利率は三分二厘六毛だから貸付利率を五分乃至六分として其納により聯合委員會から成る一種のシンヂケート財團の基金又は經營運用資金に充當せしめる、而して又低利資金の用途は必ず滿蒙産業開發の目的に合致する利用厚生の爲めに限り自己救濟は許さぬ等腹案は出來てゐる、要は政府當局は從前滿洲から幾度か繰返された陳情により鈍感となり母國自體も各般の救濟資金を要する今日だから滿洲の經濟的認識を充分に吹込み當局を動かし得る眞面目なる運動を要するといふにある

緩和と割引　苦痛生

◇內地の通勤電車に等しい午前七時より午前八時迄と午後四時より午後五時迄の所謂ラッシュアワー我々三號系通勤者は全く鑵詰の狀態で運搬（敢て運搬の文字を以てす）せらるゝので誠に不愉快である、この乘客に對し普通料金を以てするのはあまりに[illegible]はあるまいか、又電車には定員制はないのか。

◇一ケ月三圓內外の電車賃は強いて高くないかも知らんが、滿電の割引率はあまりに低い、クーポン券等は廢して我々サラリーマンに對し割引率を實質的に今少し有効のものにして貰ひたい。

◇幸ひ高橋常務は整備術に住んで居られるから充分體驗の機會はあると思ふ、問題は車輛を增加するか配車を圓滑にして鑵詰を防止するかである

お答へ　ラッシュアワーに對しては特に注意し最も混む三號系統は大正廣場から出動時間には二分半毎に發車させ、四臺の臨時增車をやつて可及的にその緩和に努め、乘務員其他の許す範圍內でベストを盡してゐますが、更に今回日本人の車掌や乘務員を養成し近く實務に就くことになりましたからその際は更に三四臺增車してラッシュアワーを緩和させるつもりです。

◇料金割引率が低いとの非難ですが、電鐵課で內地六大都市其他主要都市の市內電車の割引率に就て調査しました結果は大連が一番割引率が多い、即ち六大都市はその割引率一般一分乃至三分、學生は三割乃至四割の處大連では一般九分一厘、クーポン券だと一圓券で一割一分二厘三圓券で一割二分四厘の割引に當つて居る、即ち學生は小學生八割三分引、中學生六割六分六厘引で內地のそれとは比較にならぬ位の高率割引になつてゐます、決して仰せの通り低くはありません（賀來電鐵課長談）

奉天新京の都市計畫
日滿兩當局協力

滿洲國の建國以來奉天および長春滿鐵附屬地は極度に人口の膨脹を來し滿鐵としても一時これについての大都市計畫を樹てゝゐたが、滿洲國としても新京および奉天の都市計畫は早急の必要に迫られてをり、今後この兩都市の都市計畫に滿洲國及び滿鐵が個々別々に計畫を樹てることは雙方にとつて無駄と不統一と不利益を招來することゝなるため、この二都市については委員會制度とし滿洲國が中心となつて滿鐵からも委員を選出滿洲國營の土地及び滿鐵附屬地を統一しこの交通の連絡をも理想的なものとする都計案を樹てゝ行く筈

滿洲國電氣事業
國營か委任經營か
滿電準備を整ふ

滿洲國電氣事業の統制は新國家の國營なりといひ或は滿電への委任經營なりといひ今尚確固たる方針決定を見ざるものゝ如くであるが

軍部　では去月初旬山口縣電氣局長として斯界に重きをなした檜谷義三氏を特務部に聘し慎重詮議を巡らしつゝあり早晩何等かの具體的方針の決定を見るもの如くであるが、これに關連して滿電でも時局以來高橋常務を先頭として滿洲國の電業統制に向つて虎視眈々機を覗ひつゝあつたが、最近檜谷氏の軍部入りと共に周圍の情勢は滿電にとり不利に傾きたるもの如く、新京の對滿洲國交渉機關たりし滿電時局事務所は遂に

閉鎖　することになつたが右に就き入江滿電庶務課長は語る

滿洲國の電氣事業統制に就てはまだ滿洲國側としても何等調査機關も整備せずまた海のものとも山のものとも判明しない、國營となるか否かも決定してゐるわけでない、又滿電としては滿洲國にとかくの策動を試みたりすることは避けその成行きを靜觀するだけである、たとへ國營とならうと又委任經營とならうとこちらでは凡ゆる場合を豫想して準備は萬端整へてゐる、併し

滿電　に電氣事業の經營に就て何等かの相談があつたと想像するのも尤であるが今迄何等かゝる相談は受けてゐない、高橋常務の留任並に常務一名增員は何等新國家の電氣事業と關係あるわけでなく、事變以來時局關係で各支店、關係會社その他の事務が繁忙となつたので各地を廻らねばならず留守勝ちだから一名增員したに過ぎない、新京の時局事務所閉鎖も新國家が國營とするからといふのではなく前から必要なくなつたから引揚げるとになつてゐたのが延々となつて今日までに至つたわけで軍部の方でも檜谷氏入りで着々

研究　を進めてゐるから自然必要なくなつたわけだ

二重課稅は却て華商に不利
海關問題を外交討論會論評

外遼支那側外交討論會に出席せる某要人の語る處によれば同會の席上大連海關設置に對抗するための二重課稅問題が討議せられたが大部分は面目上二重課稅を實施せざるべからずと主張せるも、一部には二重課稅の結果支那本部よりの輸出を杜絶せしめることゝなり結果輸入超過に苦める支那貿易を益々窮境に陷らしめるものとして反對し、その實施の可否を討議することゝなつた【奉天電話】

工業座談會

工業化學會滿洲支部の發會式に參列したる一行を歡迎するため滿鐵地質調査會が中心となり廿三日午後二時から內地側出席者一行全部を滿洲館に招待、滿鐵からは理事、各部次長、經濟調査會各委員、技術局關係者等約三十名出席のうへ座談會を開催することゝなつた

銑鐵共販會社　設立の意義

【東京特電二十二日發】日滿經濟統制の先驅をなす銑鐵共販株式會社の創立準備は十河滿鐵理事の上京によつて著るしく促進され來る三十日正午丸ビル七階事務所において創立總會を開き重役選任營業方針の決定等をなす筈であるが、この會社は銑鐵共同組合の變稱せるもので資本金は百萬圓（四

滿鐵學校の事業豫算

滿鐵學務課の昭和八年度事業豫算に就てはさきに有賀課長が沿線に出張關係箇所と打合せを行つたが早速工事着手の必要に迫られてゐるものは奉天および長春の小學校學級增加で、この點に就ては兩地から三十學級の增加を要求してゐるが結局十五學級に落着く模樣である、次に重要なものは滿洲醫大專門部の復活でこの點については學務課としても豫算を計上し極力通過をはかる筈で、また教員の問題は現在の教員研究所の組織擴充に止まる程度の豫算を計上するものゝ如くである、なほ奉天市民から陳情した奉天商業學校設置の件は經費緊縮の折柄八年度の實現は困難な模樣である

地方部豫算打合

滿鐵地方部昭和八年度の事業費豫算の査定は各課とも大體の決定を見たので廿三日沿線各地方事務所長を招致午前九時から地方部會議室に各課長、事務所長參集豫算案についての事業費打合せを行つた

大連管內各會　六年度決算

大連民政署管內における各會の昭和六年度歲入歲出決算は左の通りである

會名	歲入 豫算額	決算額增減	歲出 豫算額	決算增減
老虎灘會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西山會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小平島會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
革鎭堡會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大連灣會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
周水子會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
嶺前會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沙河口會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
營城子會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海猫屯會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南關嶺會	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

副總裁に陳情

滿鐵社員會役員會は二十二日午前十一時から社員倶樂部で開かれ社外派遣社員の歸還方法について打合せを遂げ次いで八田副總裁の歸連を俟つて副總裁上京中に陳情した諸種の問題について改めて會見をすることゝなりその陳情方法についての事務的打合せをなし午後一時散會した、なほ歸還方法の最後案は二十七日の役員會で決定することゝなつた

安岡氏送別會

今回勇退することゝなつた關東廳法院檢察官長安岡四郎氏の送別會は總本法院長、池內檢察官、石井大連警察署長、高橋辯護士會長等發起の下に來る二十五日午後六時半からヤマトホテルで開催することゝなつた、會費三圓で出席希望者は高橋辯護士方（電三九七九）まで申込まれたいと

關東廳辭令（二十二日）

關東廳事務官　田邊秀雄　統計主任を命ず
同　御影池辰雄　統計主任を免ず官報報告主任を命ず
同　藤原時三郎　官報主任を命ず

人事

▲川村龍雄氏（大汽常務）家具取纏めの爲赴滬中のところ廿二日入港大連丸で歸任
▲山崎水哉氏（大汽前香港支店長）同上
▲田代佐八氏（東京サルヴエージ會社技師長）二十二日大連丸にて歸連
▲沖島鎌三氏（樺太日々新聞社長代議士）二十二日ほんこん丸にて來連
▲矢野晋也氏（代議士）同上
▲竹藤峰治氏（華南銀行常務）同上
▲三ツ木秀治氏（會社員）同上
▲松山基範氏（京大教授）同上
▲熊谷直一氏（京大助教授）同上
▲森本勝巳氏（關東廳警務課長）同上
▲岡本精一氏（陸軍歩兵大佐）奉天より來連
龍谷大學の滿鮮視察團一行を引率し二十二日午後八時五十分着列車で來連、挨拶のため二十三日市內各方面歴訪

大觀小觀

ロサンゼルスで日本選手、男は禁酒禁煙だ、女はメリケンガールさん同樣だいふのでほめられてゐる▲南京政府は張學良に熱河を守れといふ、實は學良が軍を熱河に出したあと釜に南軍を入れんとするため▲韓復榘も張學良に對して、熱河に兵を出すならお留守の北平は自分が守らうかと提議す▲但しこの留守居は甚だ物騒なので、それには及び申さず、自分に留守の餘力はあるさ、學良が見得を切つた▲學良は學良で、湯玉麟に對して兵を貸さうかといへば、湯は既に兵の配置を終つたから大丈夫といふ▲お互に、他人の屁を嗅ふこと河童の如し、敵に對するより味方に對して油斷ならぬのは支那の習はし▲滿洲國關東軍顧問になつた吉田大將、[illegible]博士、鈴木穆氏の外、大島工博、橋本農博、藤根元滿鐵理事の三名を顧問に、關東軍內容統研究に決定、滿洲經濟統制は着々先實▲日滿經濟統制委員も人選された、是非共斷行せればならぬことは一日も早いがよい▲有吉大使が駐支公使の儘、我外交の最重要地位を、いつまでも事實上の空位でおくわけにはいくまい。

市況（廿三日）

株式　內地小蹺りに五品小反撥

內地東新及び東京五品の後場蹺りを入れ當市の五品は四五十錢高東新も小一圓高を引緘つた

後場　[illegible]

錢鈔　時局案じで鈔票強含み

日米爲替先安にて地場鈔票は時局懸念にて[illegible]強含み商狀に引けた

◇定期後場　[illegible]
◇現物後場　[illegible]

奥地市況　[illegible]

市場電報

神戸特産　[illegible]
東京株式（長期）　[illegible]
東京株式（短期）　[illegible]
大阪株式　[illegible]
大阪綿糸　[illegible]
大阪期米　[illegible]
東京期米　[illegible]
神戸期米　[illegible]

家庭欄

悲しき例外

○…未婚婦人の數は減少しつゝある……等といふと變に聞えるが事實は世界のミスの數は漸次減少しつゝあることが英國の有力な調査機關によつて發表された、それによると目下世界には約三億八千萬からの獨身婦人がゐる、その數は年々減退の傾向を示し英國だけに就いて見ても三〇年前の一九〇一年には婦人一萬人中三九五〇人が獨身であつたが今日では三六八〇人の割に減じてゐる、又濠洲でも三十年前には未婚婦人は五〇パーセントを占めてゐたが今日では四五パーセントに低下した

○…更に米國では年々女子の出產率が男子のそれを凌駕してゐるにもかゝはらず未婚婦人の數は年々減退して一九一〇年には千人に對して成年未婚婦人二九七人を數へたのが一九二〇年には二七三人となり、今日では二六〇人にまで減じた、佛國では大戰以來女子の數は男子の殆ど倍であるが、なほ過去十年間の成年未婚婦人一パーセントを減じてゐる

○…しかし此處にも悲しむべき例外の國がある、それは日本と伊國だ、伊國は三十年前と同率を保つてゐる程度であるが、日本のみはミス諸々の尊稱を持ちながら皺のよつたヒステリックな所謂老孃が年々增加して行く悲しき例外だ……

☆戰地の『つはもの』から(B)★
可愛い坊ちやん孃ちやんへ
新しい敵兵の墓場に赤や白のケシの花
敵をも憐れむ日本兵

もう一つ勇敢なお話を致しませう。六月二十五日に馬占山の兵隊が鐵道を横切つて東に逃げるかもしれない。一つ樣子を見て來いと云はれた水戸聯隊の塚本特務曹長の指揮する十五名はモーターカーに乘つて綏化の町から北へ北へと前進すると丁度午後零時半頃土煙をあげ乍ら、まつしぐらに西から押し寄せて來る八九百の敵軍がありました。十五人は全く決死の覺悟です、ガバッと鐵道線路を前にして伏せ乍らパン／＼と敵をめがけて撃ちだしました。パッパッパンパン。カタカタッ、カタカタッ、ズトン／＼。百雷の一度に落ちるやうな戰場です。八百人と十五人、さても勝味のない戰爭です。勇士達の胸の中には勝負はなかつたのです、只大君のために、只御國のために、只任務のために、射ちに射ちに射ちまくりました。あられの如く、雷光の如く敵の彈丸はとんで來ました。一人斃れ二人傷つき、味方の兵は少くなる許りでした。あはつと云ふ間に、塚本曹長は胸をやられました。血しほは胸をまつかに染めました「天皇陛下萬歲」と聲高らかに叫びながらどつと斃れた者がありました。誰にかわかりません。皆んな一生懸命に撃つだけでした。「殘念やられたツー」どつと斃れた兵がありました。顔が血だるまのやうです「何ッ！これしきにッ」と叫びながら流るゝ血をぬぐひもせずに、射ち始める勇士がありました。ブスッー、ブスッー。ピフユーン！と敵の彈丸は足許に、頭上にはげしさを增してきました。「やられた！」と見る間に塚本曹長は頭と腹を撃ち拔かれて斃れました。斃れ乍らも苦い息の中から部下をはげましてゐました。味方は少くなる許りでした。敵の距離は近くなる一方です。恐ろしく頑強な抗戰です。激戰が五時間も續いて行きました。一負傷兵が叫びました「四方臺から味方の援兵です」「汽車だッ、汽車だア、汽車が來た。皆んながんばつてくれーイ」一同の眼には喜びの涙が光つてゐるのが見えました。それから十五分もすると我左手にあたつて援兵の猛烈な射擊です。ばたばたと將棋倒しに打ち斃れるのは敵の兵です。敵の將校らしいのが軍刀を高く振りあげたまゝ、どつと仰向けに射ち落されました。車を曳いた一疋の馬がバタリ斃れると連の馬が右に逃げようとする右にゐた馬が、また跳ねる、馭者はもうとつくに逃げてゐました。荒れ狂ふ馬の群、馬車の衝突、制止する怒號、さては悲鳴、もう敵の混亂は絕頂に達してゐました。味方の苦戰は、もう敵と位置をかへてゐました。快哉を叫ぶ元氣な兵のうれしい顔が赤い赤い大きな滿洲の夕日に照り輝いてゐました。追擊と射擊が根限り續けられました。射ち斃された支那兵、馬、荷物が玩具箱を引つくり返したやうにばう／＼に散らばつてゐました。青い地平線の彼方に生き殘つた人馬、車がマラソンの喘ぎを續けて逃げました。ほつとした味方の誰もの顔には、感激、狂喜、安堵、逝ける戰友への悲痛、感謝の情があり／＼と現はれて鬼をもひしぐ勇士の、土に泥れた顔に大粒の涙がとめどなく流れてゐました。誰一人涙を拭かうとするものはありませんでした。戰友相抱いたまゝ涙にぬれた顔を相手の戰友になすりつけてゐるものもゐました。戰捷の夜があけて青い高粱の彼方から陽がのぼりますと日本兵は昨日までは敵であつた支那兵の死骸を、掘り下げた大きな穴に葬つてやりました。新しい墓場の周圍には赤や白の芥子の花をたむけ水筒の水をかけてゐる日本の兵隊さんがありました。敵をも憐み得る日本の兵隊さん！何んと神々しい姿ではありませんか。

新式飛行機の失敗
シンシキヒコウキノシツパイ

後藤草二作・フジ図案画

アリの運動會の巻 (5)

オウエンダン
フルエー／＼
フルエー／＼

ガンバレ！ガンバレ！
アツ ニツポンガ ヌクゾ
マンシユウコク ガンバレ！

ニツポン 一トウ！
マンシユウコク ニトウ！
バンザーイ！
バンザーイ！

ヒカウキ ダ ヒカウキ ダ
シンシキ ヒコウキ ダ
スバラシイ プロペラノ オトダ

人出に正比例 増える忘れもの
流石夏だけに電車汽車内に置去りを食ふ水泳具

汽車で、電車で、海へ／＼と大連市からあらゆる交通機關によつて吐き出される市民は日每に增加してゐますが、これに正比例して負けず劣らず增加して行くものは何といつてもそれら交通機關內に遺される忘れ物でせう

滿電 及び大連驛の遺失物係の記錄帳を一寸覗つて見ましたところ、未だ學校が休暇になつてないせいもありませうが列車內の遺失物は割合に尠いのですが、星ケ浦或は老虎灘といつた樣な近郊めがけて水泳に出かける者が利用する電車內に忘れ物する人の多いことは際立つてゐます、滿電遺失物係では次の樣な事を一般に希望してゐます

七月 十日以來といふもの電車內の忘れ物が急に增加して今まで一日平均十件餘だつた遺失物が最近では三十五件平均はあります、これらの內容は水のシーズンだけに、濡れタオルにフンドシを大切さうに包み込だものや、濡れ着、帽子、傘、扇子といつた樣なものが非常に多いのです、この樣な物は希望に滿ちて海水浴場として行く時はさすがに忘れるものは全くないといつてよい位ですが中にはお辨當や、パンを置き忘れたり或は咽喉の鳴るのをじつと押へて

海邊 についたら食べようと樂しみにとつておいたらしいキヤラメルを忘て降りて行く坊やなど樣々です、さすがに最近では金錢を落して行く人は極く稀で結構ですが、これらシーズンに相應しい遺失物が澤山集まるこちらでも後の始末に困ります濡れた物など乾かす事にしてはゐますが、それにしても臭く又お辨當などは二日もそのまゝ置きますと腐敗して嫌な臭を發します、この樣な小さな品物は面倒なので自然屆け出る方が尠いのですがタオルの樣な小さな物でも忘れた人は一々屆出て受取られる樣にして貰ひたいのです

大連 驛の方は、汽車で行くだけに不便も手傳つて今の處では今迄と大差ありませんが、やはり夏らしい海水着、帽子、ステッキ、寫眞機、麥藁帽、タオルと云つた樣な忘れ物がこれから日每に增加して行く許りです

夏のファッション

英國競馬界のクライマックスとして全英ファンの血を湧かすエスコート●ミーチング當日は英國皇帝皇后兩陛下御親臨の下に壯烈なる競馬が行はれるのみならずロンドン社交界にとつてはファッション競美會にも擬せられる日だ、モダンから超モダンへと此處こそ英國ファッションの源泉だ

腕白ものを持つお母さんへ
滿鐵社會施設係の希望

おとなしい子供さへ遊び仲間が二、三人集まるときつと、茶目氣を出して惡戯しがちになります、まして腕白大將においてをやです、夏の子供たちは星ヶ浦に、或は電氣公園に惡戯のはけ場所を求めて行きます、そして多勢の餓鬼大將によつてだん／＼公衆用の運動具、或は動物といつたものが夏の間に損ぜられますが、滿鐵社會施設係から次の樣な事を一般お母さん方へ希望してゐます

兒 童の遊園地が尠いので電氣公園、星ケ浦と云つた樣な所にできるだけ子供のために運動具を設備したい考へですが、亂暴がすぎて、運動具など片つ端から破壞されます、例へばねぢ釘でとめてある所などねぢを外してしまつたり、折角池の中に綺麗に咲いてゐる水蓮の花や、葉つぱなど夏の水草に石を投げてきたなくしたり、池の中に魚でも泳いで居ればそれをめがけて石を投げて殺したり、公園に飲料水として備へつけてある噴水式水道栓を面白がつていぢくつて毀し、水が飲めない樣にしたり、其他花壇に植付けてある綺麗な草花を折とつて持ち歸つたり動物園の鶴の頸や足を空氣銃で射つて傷けながら何とも思はず平氣でゐます、動物が一度空氣銃で擊たれ傷きますとその部分が腐れるのです

こ のほかひどいのになりますと釣針に餌をつけて鶴を釣つたり慘酷な事を何とも思はずやつてゐますが、こんな事は家庭で注意され、もつと公德心を養つていたゞいたらこの樣な事は自然防げると思ひます、西洋では芝生の中に踏み入る者は公德心が缺けてゐる者とまでされてゐます、こちらでも芝生の中に入る事を禁じてゐたのですが、最近では芝生の上に坐る位はゆるしてゐるのですが、芝生を通路の樣にして通りますと芝生を損じ、殊に下駄穿きでは折角の芝生を滅茶々々にしますから、注意して頂ひたいのです

女性最高の道德！最大の矜持!!
良妻より賢母への道は？
―先づ「安產」問題の解決から―

玉のやうな健康兒を產みおとしたい、この要望こそは妊娠を知つた瞬間からの人間的な母性愛の欲求です。壯健な我が子の安產、それこそ母親となりつゝある女性にとつては、願つても願ひ足りない念願であらねばなりません。

日增しに感じられる胎兒の發育に、近い將來の歡喜の想ひに胸踊らすにつけても、月を重ねるに從つて、母親は自分の身に頻々たる疾患の異常に、憂ひの眉を顰めることはないだらうか？ 妊娠に附きものの諸種の疾患―惡阻、脫毛、齒痛、滲出性疾患、等等。

母體の疲弊！これが胎兒に支障なくて濟むだらうか、それに自分は大丈夫だらうか、當然かうした不安が身重の女性の心を痛ましく焦燥ることでせう。

一體どうすれば佳いか？

けれども、むやみに心配する前に、その因つて來る根原を見極めることです。

一寸考へれば理解るやうに、胎兒は健全に發育しようと、母體からそれが與へて與れるあらゆる養分を攝取して、どん／＼と成育してゆきたがるものです。それこそ無心に成長してゆくのです。

だから母親がうか／＼して、胎兒の遠慮なく攝つてゆく養分の爲に母體そのものを養分缺乏に陷らすやうなことにでもなれば、それこそ兩者（母體も胎兒も）共倒れとなる危惧が生じます。母性としてそんな迂遠なことがあつてよいものですか！

それならば、強い母體の健康を大樹のやうに鞏固にし、胎兒を、健康兒、優良兒として安產させるには如何なる良策があるのか？

これを考へる前に、生理的現象である妊娠及授乳に、如何なる榮養素が特殊な關係を持つものか、を醫學的根據に基いて述べることにしませう。大阪醫科大學教授片瀨淡博士は次の如く語つてをられるのです。

「婦人が妊娠すると胎兒が子宮內で段々成長する、そして大約妊娠二ケ月の頃から。

胎兒の骨骼が形成せられる

骨の中の八割はカルシユームの化合體である。然らば胎兒の骨のカルシユームは何處から來るか―申すまでもなく母體が食物から攝つたカルシユームが血液を介し胎盤を通過して胎兒の骨骼に沈著するのである。從つて母體から胎兒に供給するカルシユームの量は月が重なるにつれ、即ち胎兒の成長するに隨つて多量を要することとなる。しかも吾人の日常の食物中には、肝心のカルシユームの量は比較的少く、之と反對の作用を有するマグネシウムが多いから、さなきだにカルシユーム缺乏を惹へてゐる母體は、妊娠して月が進むにつれて、段々減じて來ると、胎兒の發育にも影響を及ぼすやうになり、母體のカルシユームの缺乏したまゝでは、胎兒の發育に、著しい阻害を召來するのである」。

しかも「このカルシユームの缺乏は種々の傳染病に對する抵抗力を弱め、肺結核を誘起させたり、又は從來輕微であつた病勢を增惡させたりするものである」これを以て見れば。

產前產後の保健の鍵は

實にカルシユーム自體が握つてをると云つても過言ではありますまい。

胎兒にとつても、母體にとつても、カルシユームが、さうですカルシユームが、如何ばかり必要缺くべからざる榮養素であり、その常用的攝取が、安產の絕對條件を握るものである事實を容易に首肯されるでせう。

カルシユームの服用は母體のカルシユーム缺乏に因る諸種の障害である滲出性疾患、齒痛、脫毛等を防止し、惡阻を輕減し又は防止するばかりでなく、分娩時に子宮の收縮を自由ならしめ、尙分娩後に出血や惡露を輕減し、乳量をさへ豐富にして、乳質を佳良にする等幾多の貢獻を有するものです。

これらの確證は內外幾多の文獻に徵して頗る明瞭であつて、チフベルト、ザイツ、マルチノウスキー、片瀨諸博士の實驗は一層カルシユームの妊婦保護、胎兒發育の卓拔偉大な性能を立證して餘りあるものです。

「安產のため」の「ワダカルシユーム錠」こそは、既にしてこの至要な使命を帶びて登場したカルシユーム劑界の先驅者であります本舖がカルシユームの偉効を諸種の方法を以て世に宣傳して以來、世人の注視の標的となり、カルシユーム時代を建設するに到つたことは誠に理由あることであります偶々一般的の榮養効果を高潮するため安產を標榜する滋養劑もあるにはありますが、その中にかて

毅然として輝かしい存在

を示す「安產のため」の「ワダカルシユーム錠」が楢林博士の推獎（博士自身が自體に試みカルシユーム分缺乏を補はれた實例あり）を蒙り且つ又カルシユームに關する世界的研究者片瀨博士の親しき監査（本品が商品となるまでに內容の品質を監査せられ一擧ごとに監査票を附して內容確保の證として市場に提供しつゝあり）を經つゝある事實によつて、この上の贅言を要せぬことゝ思ひます。

ワダカルシユーム總本舖大阪道修町和田卯助商店、全國藥店取扱、片瀨博士藏詳細說明書進呈

滿日各地版

活版 石版 諸印刷 滿日石版印刷所

匪賊、鳳凰城を襲撃 わが軍警と猛交戰 住民は一時驛に避難

鷄冠山より軍隊警官隊出動

【鳳凰城】二十一日午後九時頃山東街方面より約七、八十名の匪賊襲來し練兵場方面より三、四十名（これは匪賊の偵察隊ならん）我が兵營に向つて發砲しつゝ接近し城南山よりと東方西南方より附屬地に向つて射撃を浴びせ鳳凰城は一時全く包圍の中にあつた、當地警察署では最初銃撃を聞くや直に出動附屬地要所の移動警戒をなしつゝ城内方面より襲撃せる匪賊團と約二十分間に亘り交戰してこれを撃退したが再び襲來の情勢があるので在住民を全部驛地下室に避難せしめ自警團も出動、分遣隊は驛附近の警戒に當つた、我が守備隊では廣田小隊長は一部を殘して守備せしめ主力を率ゐて北方の敵を撃退すべく出動せるも後方より彈丸飛來し（これは第一旅の撃ちしものならん）危險にして同志撃ちの虞があるので圍壁の防禦線についたが山東街方面の銃撃は益々激烈となり機關銃の急射撃も加はり匪賊の一部は圍壁に向つて攻撃して來たのでこれに應戰十分間にして銃撃は漸次衰へ敵は東方に退却した、此間山砲の威嚇射撃は大なる威力を示した、憲兵派遣隊では銃撃を聞くや滿洲國官憲に對し匪賊撃滅方を電話で督勵しつゝある中賊團は逐次派遣隊に接近し猛射を浴せるので守備隊と協力これに應戰敵を撃退した、急報により鷄冠山より高石守備隊長は部下五十五名を率ゐ臨時列車で應援に來り廣田小隊と連絡をとり一部を附屬地の警戒に名古屋小隊を二龍山方面に福岡小隊を城西溝方面に各兵力捜索に當らしめたが賊影を認めなかつた、尚鷄冠山より移動警察隊も臨時列車で應援に來り警戒につとめた、襲來せし匪賊の總數は約三百名で頭目は不詳なるも多分鄧鐵梅の一味であらうと、尚幸ひに一般に被害はなかつた

撫順襲撃の先發隊一味潜入

五人組强盜素性判明

【撫順】東老虎臺の五人組强盜に就ては目下撫順署司法係に於て逮捕したる三名（うち一名は死亡）につき嚴重なる取調を行つてゐるが、その所持品及び手帳の記事等により峻烈に追及したところはからずも彼等こそは近く大部隊をなして撫順襲撃を敢行せんとしてゐる一匪賊團の先發隊なること判明するに至り目下司法係は俄然色めき近く大手入を決行する模樣であるが、彼等の自白に依れば彼等は一味約六百名の集團匪賊の先發隊として六月中旬來當地に潜入し警察、軍隊の警備力やその狀況、銀行、驛、富豪の所在や撫順市の地理、渾河の水深等襲撃に關する各種の調査計畫をなしてゐたもので已に警備方面及び大官屯千金地方の調査を終つてゐるが、先發隊員は尚十數名市内外に潜入してゐる模樣である

大石橋附近に匪賊現はる

軍警緊張し嚴重警戒

【大石橋】二十二日午後八時當地への情報に依れば大石橋を離る東南方約五支里善寺に頭目不詳の馬賊約四十騎現れ村民に對し物資强要中なりとの事にて、憲兵隊は勿論警察共に緊張し接壤滿洲國側では非常召集をなし自警團も出動警戒中である

鐵嶺を襲撃した一味捕はる

再襲撃のため潜入

【鐵嶺】本年一月七日未明鐵嶺城内を襲撃し警務處を占據し監獄に放火し大手町路上で我が警官隊と交戰郡山巡査を死に至らしめ九ケ所の公安分所を襲撃するなど飽くなき暴虐を擅にして引揚げたる匪首金山好の一味に對しては天人共に怒つてゐるところであるが圖らずも鐵嶺本署の手によつて城内襲撃に郡山巡査と交戰せる馬賊二名が逮捕された

去る二日午前五時頃附屬地北五條通路上を擧動不審の支那人二名の通行するを内布刑事が認めて逮捕本署に連行取調べたるに此男は原籍海龍縣山城鎭無職伊文濤（四〇）と稱し金山好とは姻戚關係にあり賊團偵察隊副隊長として幹部に列する者、一人は原籍柳河縣孤山子無職董桂山（二六）と稱し人質となつて脅迫され賊團に投じたもので去月末匪首金山好から重大な使命を與へられ伊の部下として鐵嶺に潜入したところを逮捕されたものであるが其供述によると匪首金山好は本名は崔駿代と言ひ本年四十歲、昨年九月まで東北陸軍將校であつたが退職後清原縣下で自警團長を勤め事變と見るや部下を誘つて兵匪となり二三ケ月間に七八百の部下を擁し昨年十一月末頭目方振國劉化周等が來り投ずるに及びて其勢力千餘となり鐵嶺縣内に侵入して施家堡子に根據地を据ゑ一月五日鐵嶺を襲撃すべく部下百二三十名を率ゐて東門外公安分所を襲ひ富豪衛民家を襲撃馬某を人質として引揚げ施家堡子に於て第一回襲撃に成功せる祝杯を擧げ次いで城内の警備手薄なるを看破して本格的襲撃を提議し部下一同賛意を表するや約二百名三組に分れて一隊は警務處と監獄を襲ひ一隊は警戒に任じ一隊は各公安分所を襲撃し

前記伊文濤と董桂山は分所襲撃隊に加はり大手町で日本警察官と交戰充分目的を達して施家堡子に引揚げたが日本警官隊や守備隊の追撃急なる爲め清原縣に入り二日再び鐵嶺縣下に侵入頭目趙亞洲の一團と合流して大甸子を占據越年し三月張海鵬軍と激戰して百四五十名を殘され過半數は歸順したので匪首も解散の止むなきに至つて金山好は北平に赴き部下は四散した然るに去る四月金山好は張學良より滿洲擾亂と失地恢復の重大使命を受け軍資金一萬七千元を與へられて再び清原に歸り再起を圖り伊文濤もその幹部となつて奔走の結果部下四百名を集め完全に再起成り目下清原縣小山子に本部を据えてゐるが、金山好は依然鐵嶺占據を斷念せず右伊文濤と董桂山外一名に鐵嶺城内外の警備偵察を命じて三名は六月十八日出發七月一日奉天を經て來鐵一泊し早朝偵察に出かけたところを逮捕されたもので罪狀明白なるを以て一件書類と共に二十二日滿洲國側に引渡した、伊は既に掠奪殺人幾多の罪を重ねてゐるので總てを觀念し死刑を覺悟してゐると言ひながら曳かれて行つた

首山立山間に匪賊三百名

【遼陽】首山と立山の八家子部落に廿一日夕刻三百名の匪賊襲來せりとの情報あり鞍山守備隊から時を移さず山本中隊の率ゆる一隊が出動せりとのことで遼陽署から岩瀬部長以下十二名が首山驛警戒の爲め急行したが、午後七時半から八時半頃まで砲聲殷々として遼陽に聞えた守備隊は賊團の集結せる人家に向け威嚇射撃を行ふた爲め同方面は漸次平穩に歸したるも警察隊は徹宵首山を警戒廿二日拂曉引揚げた、なほ同夜千山驛西方營兵舍附近にも六七十名の匪賊が現はれたと

東豐縣城包圍さる

【鐵嶺】東豐縣南方三十五支里太陽意林には約一千の大刀會匪あり同五室子には振國軍の一千、北方老保旗子にも約一千、西方三十支里石梁にも約一千の兵匪あり斯くて數千の兵匪は東豐縣を全く包圍し西安縣城への通路を遮斷して後一擧に東豐縣城を占據し然る後西安縣城を襲撃すべしと頭目會議で決議し二三日中に行動開始との情報に接し西安縣城内の富豪連は何れも財を纏めて奉天に引揚げつゝあり居住邦人六十名も形勢危險となりとし二三日中に避難すべく民會が主となつて準備してゐると

王殿忠軍移駐か

【大石橋】二十二日某方面に達したる情報に依れば現在牛莊駐屯王殿忠軍のうち二ケ連は鞍山北方約五邦里擔馬寨方面の賊情に鑑み治安維持の特命を受け移駐する事に決したる模樣なるが、海城縣當局に於ては牛莊方面唯一の官兵たる比較的大部隊が移駐する事に對しては少からず脅威を感じ分水事件並に高粱繁茂夏季警戒の重要期を控へ益々警備の充實を圖らざるべからざる矢先の事とて該軍の移駐反對運動に關し對策考究中である

なほ○○せる王殿忠軍部下に對し海城縣當局に於て極力捜査中なりしが偶々二十一日午後七時蓋平縣第六區湯池分局長江介忱より王司令に達したる情報に依れば二十二日朝五時頃○○○と見做さるゝ○○名の歩隊同地附近に來れりとの急報に依り王司令は直に少校副官遲少章以下○○名をして湯池に向け急派せしめた

匪賊跳梁で避難民增加

【大石橋】當地附近の匪賊跳梁は高粱繁茂期に伸び漸く旺となりこれが警防に寧日なき狀況なるが、附屬地及び隣接滿洲國街に避難せるもの現在に於て三十八戶、三百八十九人に及び尚續々增加の狀態である、蓋平城内に於ては廿二日迄の避難數六十五戶、一千三百九十五名の多數に上り尚避難者相踵ぐ狀態にして時恰も惡疫流行期なのでこれが收容に關しては滿洲國側と連絡嚴密な注意を拂つてゐる

北滿稀れの豪雨で兵匪の討伐に苦心

歩兵に代つてわが騎兵部隊の活動振り目ざまし

【ハルビン】北滿一帶は數年來稀に見る豪雨が連日續き皇軍の兵匪討伐は全く言語に絕した困難を伴つてゐる、東支西南部線方面の如きは平地は一面に北滿獨特の泥海と化し十一日以來列車の運行さへも支障を來たす有樣であるから部隊の行軍は想像もつかぬ程の苦みを嘗てゐるが、八月上旬まではこのまゝ水が引かぬだらうと言はれてゐる、殊に支那馬車を使つてゐる大小行李の如きは到底部隊について行けないので食料や彈藥の補給に最も苦心してゐる、甚だしいのは空腹をかゝへ乍ら全身ぬれ鼠となつて一晝夜近くも戰鬪を續けた部隊さへある

しかも大陸的の豪雨がやむと忽ち百二十度もの炎熱と一變する、過般の新立屯の戰鬪の如きは鐵カブトがやけて冠つてゐられないので全員白はちまきで戰鬪した程である、斯うした惡天候にかてゝ加へて兵匪の大部分は馬隊であるから逃げ足も早いので追撃になると歩兵では迅速に活動が出來ない、これがため昨今は追撃は殆どすべて騎兵が當つてゐる、兵匪の使用する馬は農民のものを掠奪した足の短い駄馬なのでわが優秀な軍馬には到底敵しない爲めこの新戰術は絕大な效果を收め騎兵を以て最優秀とされてゐた馬占山軍の如きも一たまりもなく潰走し主要な部隊は悉く撃散されて今は黑龍江省内殆ど反軍の集團はない、馬占山自身も僅か二百餘の手兵を擁す許りである

氣の毒な同胞に御下賜金を傳達

皇室の御仁慈に感泣

【撫順】畏くも皇室におかせられては、滿洲事變に當り兵匪刀匪その他匪賊の兇刃に斃れた氣の毒なる鮮人同胞遺族並に負傷者に對し、今回御下賜金の御沙汰があつたので、撫順警察署では廿一日午前十時から當該遺族負傷者を同署に集め右御下賜金の傳達式を擧行したが、遺族四家族、負傷者八名にて宮澤炭礦庶務課長、尹同金融組合長、寺西地方委員議長、田村憲兵分隊長、朴鮮人民會長その他來賓列席の上前田署長より御下賜金の傳達及び訓示あり、遺族代表金用集は皇室の御仁慈を謝してこれに答へ宮澤來賓代表の訓話を以て閉式したが、遺族一同は皇恩の無窮に感泣してゐた

國境中等野球

遂に無勝負

【安東】國境中等學校野球戰第二日は二十日午後四時より新義州公設球場にて新義州中學（先攻）對安東中學によつて擧行、八百野（球）高田、神崎（審）三氏審判

安中軍は前日新商軍を一蹴すれば三度國境の覇權を獲得することゝて必勝の意氣物凄く、一方新中軍は地元二校が常に對岸安中軍に蹂躙さるゝを茲に喰ひ止め以て新進の意氣を示さんとして遂に打撃戰を演じ追ひつ追はれつ、中半新中軍俄然五回に四點六回二點を入れて四點のリードし大勢決せるかに見えたが、粘り強い安中軍は容易に意氣沮喪せず八回二點を返へし九回一點を入れ尚は一死滿壘の好機を摑んで最後の猛襲を試みんとしたが七回頃より降り出した雨は九回裏の如きタイムを宣すること六度遂に試合續行は不可能となり各校審事者及び審判員協議の結果野球規則によらず、且之れを前例とせざることとしてノウゲームを宣告した

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
新中	0	1	0	1	4	2	0	0	0
安中	1	0	1	2	0	0	0	2	1

（新中）打數37 安打9 犠打2 盗壘5 三振9 四球4 殘壘5 失策3　西好風塚畑田部井中
（安中）打數35 安打9 犠打1 盗壘5 三振4 四死球13 殘壘13 過失5　井中坂野瀨村川田中

なほ二十一日雨天にて新中對新義州の試合も行はれず其の結果春季聯盟戰は無勝負の儘終りを告げることゝなつた

新滿蒙統一機關奉天設置運動へ

庵谷商議會頭が上京

【奉天】新滿蒙統一機關奉天設置運動のため上京することに決した奉天四公共機關のうち奉天商議庵谷會頭は來る二十六日上京四機關決議の陳情文を齎して猛運動をするが、なほ野口民會長も上京するが地方委員會側は經費なき爲め上京見合せることゝなり聯合町内會は上京未定

豫防注射せねば朝鮮には入れぬ

朝鮮のコレラ豫防策

【安東】朝鮮總督府では二十日附を以て大連及び營口をコレラ流行地と指定したので平北道當局に於ては右兩地から新義州及び龍岩浦へ入港する船舶に對して魚市場下流と柳草島上端とに見張船を配置し營林署沖合に停船せしめて糞便檢査を勵行することゝなり道警察部衞生當局は實施計畫を樹てた結果兩指定地より陸路入鮮せんとする者に就いては安東側と協調し新義州驛へは豫防注射の證明書なきものは入らしめない事となる模樣である、又た新義州署は二十二日より一週間に亘り第三回豫防注射を施行することゝなつたが、それで平北管内は前後四萬人に施行したことになると

コレラ豫防に必死の努力

日滿當局が協力して

【新京】新京特別市防疫所では本年五月上旬上海、天津等にコレラの流行を見、ついで六月二十八日遂に滿洲國でも營口の眞性コレラ發生を最初として續發の傾向にある際同月三十日大連にもその發生を見るに至つたので何時新京へその病菌が侵入するや計り知れずとして本月一日日滿防疫協議會を開催、第一期豫防實施事項より第三期の豫防實施事項までの細部を決議し二日滿洲國の各官廳及關係者を市役所に招集新京防疫協議會を開きその徹底を期することになつた、第一期防疫實施事項としては吉長驛望診、檢病的戶口調查の勵行、飲食物營業を嚴重取締り及野菜類の煮熟、豫防注射勵行、徹底的蠅の捕殺勵行、院宇の清掃塵箱の修備及便所に生石灰或は土の撒布、滿洋醫者診療の際に傳染病を留意報告、隔離所設置、防疫所整備、徹底的市民のコレラに對する注意喚醒等々を進めつゝある折柄、十日突如として眞性コレラを發生するに至つたので更に緊急會議を開き第三期の防疫對策を左の如く議することゝなつた

コレラ臨時防疫事務所を市政公署内に設置、防疫隊の組織、豫防機械器具の充實、宣傳ビラの撒布、豫防注射の勵行現在終了者二萬人、引續き毎日三千人宛注射、隔離所完成まで發電所内の一部を收容所に充當、公安局總動員で戶別調查の實施、郊外への通路に公安局巡警の立番を實施して密かに搬出せんと企圖する死體運搬の嚴重取締り、井戶及野菜に對しクロールカルキ消毒、危險率の多い北瓜の販賣禁示研究、日滿人の緊密なる連絡保持等で目覺ましい防疫活動に努力しつゝあるが城内及附屬地とも依然コレラの發生を見つゝあるので日滿人は一大脅威を感じつゝある

蓋平に眞性まだ二名

【大石橋】蓋平城内に於て七月十八日更に二名の患者を出し營口細菌研究所に於て檢鏡中のところ廿二日何れも眞性コレラと決定し累計四名となつたが何れも既に死亡した、陋習の惡習ある彼等の事故尚蔓延の兆あり大石橋接壤村落張家堡子、聖水寺、老古林子、虎莊屯の各地に最近吐瀉下痢患者多數ある情報に接し當局は頗る憂慮滿洲國側と實狀調查中

遼陽驛停車中コレラ騒ぎ

【遼陽】營口滿西居住無職李宜氏（二三）は廿一日午後廿三列車で安東に赴く途中遼陽驛停車中米汁樣の物を吐瀉せるを發見驛員、警察官、地方事務所員出動、健康者は他の列車に本人は臨時隔離車に收容の上飯田博士が主となり檢鏡中のところ廿二日に至り陰性と決定せるが、一時は遼陽に虎疫襲來と大騒ぎであつた

急死した鮮人コレラの疑ひ

【新京】長春附屬地入船町三ノ三鮮人金氏（三五）は二十二日午前四時急死したが、コレラの疑ひあり附近の交通を遮斷の上檢鏡中である

沿線往來

▲清水遼陽署長　挨拶の爲め廿二日鞍山往復
▲谷本遼陽警察部　同上
▲闕屋遼陽地方所長　廿二日赴連
▲警部補本田善治氏は二十一日午後八時着列車で長春より鳳凰城に着任二十二日は萩原巡査の案内で日滿官公署及其他に挨拶廻りをなした

油房見學の工業化學會員

吉林發大連行 列車が脫線

匪賊來襲を嚴重警戒

二十三日午前八時吉林發長春經由大連直行の第十八列車は午前九時十五分頃吉長線九站、哈達灣中間にて機關車及びその直後に連結されてゐる無蓋車一輛の外殆ど全部一大音響と共に突如脫線した脫線車は二等寢臺車一輛、二等食堂車一輛、三等車三輛、手荷物車一輛郵便車一輛であるが目下の處乘客その他に死傷者なきも之がため十二時半長春發大連行列車は見込立たざるため長春驛に於て新に編成正規の時刻に發車乘客の便に供することになつた

なほ吉長線では午前八時發列車が脫線現場にて乘客手荷物郵便物の收容を行ひ同列車內の吉林行乘客を吉林仕立の列車と徒步聯絡により折返し長春に引返すことになつた、一方午後二時長春發吉林行列車は取敢へず現場迄運轉し吉林發の列車と徒步聯絡の上乘客その他を交換することゝなつたが午後六時發列車（大連始發吉林直行）は長春限り運轉を中止することに決定した

脫線原因は目下取調中であるが兵匪の仕業であらうと見られてゐる急報により長春より救援列車を仕立て復舊を急ぎつゝあるが現場は匪賊の來襲を防ぐため吉林及下九臺その他沿線から日滿の軍警を派遣監視中である【新京電話】

渾水泡派出所に 大刀會匪が來襲

擊退し安東から來援

鴨綠江下流渾水泡の我警官派出所へ二十三日朝四時五十分四百名の匪賊襲來し大刀會匪五十名第一陣として槍、青龍刀を振つて進擊し來り他は派出所を包圍して猛射したので警官隊はこれに應戰し約三十分にして敵を擊退した賊團は派出所附近に死體七、裏山には五を遺棄して逃走した、安東署よりは午前九時三十分中川司法主任以下急援のため警備船で下江した、同賊は二十二日夜同署の巡捕宿舍を襲擊するとの情報あつたので警官隊の半數は宿舍方面を警戒して居り派出所は十名の少數であつたが我に被害なかつたのは幸ひである【安東電話】

ヌルミも出場

芬蘭の陸上選手發表

【ロサンゼルス特電二十二日發】北歐のスポーツ王國フインランドのオリムピツク出場選手名左の通り本日發表された

▲高障碍スロステッド▲四百米ストランドヴアル▲千五百米ルニ・ラルヴア、ルオマーネン▲五千米レーネチン、イソホロ、ヴイルタネン▲三千障害マチライネン、イソホロ▲走高跳レイニツカ▲三段跳ラヤサーリ▲槍投げエム・ヤルヴイネン、シツペ・ペチラ▲圓盤投げコトカス▲砲丸投ケイ・ヤルヴイネン▲鐵槌投ボルホラ▲十種競技エー・ヤルヴイネン、イルヨラ▲マラソン　ヌルミ、トイヴ、オネン

その他拳闘、レスリング、水泳、體操の選手等は流石は北歐の運動王國だけに錚々たるメンバーを揃へてゐる

織田主將の 足部痛む

練習を休む

【ロサンゼルス廿二日發】日本陸上軍主將織田幹雄君は以前手術した足が引續いて痛み大阪から連れて來た採藤治師中村囑託が治療を加へてゐるが夜間の急激な冷氣がさはつて經過面白からず當分練習を休むことゝなつた中村囑託は大會迄一週間內に治すと云つてゐるが、選手等は心配してゐる織田君が土地變りにやられたので他の選手も大いに警戒し寢る時など毛布を增して夜半の寒さに備へ戒めてゐる

日芬競技豫定

【ロサンゼルス特電二十二日發】オリムピツク大會終了後渡日して日芬大會に出場豫定のフインランド選手は……

大會實況の 對日放送

絕望となる

【ロサンゼルス二十二日發】ロサンゼルスからオリムピツク大會の實況放送を日本に向つて試みる計畫は殆ど絕望となつた、之は大會側が國內にラヂオ放送をやられては切符賣上に支障を來すといふので放送權利金十萬弗を要求したゝめでこの結果對日放送も駄目となつた譯だ、然し放送は每日午後六時五分から七時迄（日本時間午前十一時五分から零時）行はれ日本にも中繼される譯だ

選手歡迎大會

【ロサンゼルス特電二十一日發】大會もあと一週間となり當地は今や正にオリムピツク大會の狂燥曲に亂舞してル全市は各國々旗オリムピツクマークの海と化した、各國居留民は自國選手の歡迎にいづれ劣らぬ趣向を凝らしてゐるが、在留邦人は二十四日午前十時三十分からルナパークで選手歡迎大園遊會を擧行手踊り、獨唱、柔劍道試合などがある筈

拳鬪選手權大會

本社主催 八月中旬開催

前日大拳鬪部選手高井濟治氏前早大拳鬪部主將鈴木彥二氏等の來連に依りアマチユアーの拳鬪熱漸く昂し加ふるに去月廿一日本社講堂に於て擧行した本社主催の拳鬪普及の夕は滿洲運動界に一大センセイシヨンを與へ、ひいては奉天に於ける……

本社ではこの新興スポーツを助長する意味に於て種々考究中であつたが來る八月中旬東部諸大學拳鬪部のピツクアツプチームを招聘し大連に於て一大アマチユアー拳鬪選手權大會を開催することに決定目下東京學生聯盟と交涉中である

密輸入品を 廉賣する惡商人

地元商人極度に怒る

奉天の地元商人は從來、密輸入品のダンピングに等しい廉賣を暗々裡に行ふ不正商人の跋扈に惱み拔き寄々これが調査及び對策を協議中であつたが、最近に至り右密輸者が意外にも陸軍御用商人中にある實證を得たので、直に軍當局および憲兵隊に申告した結果、目下憲兵隊その他關係方面で取調中である、密輸者の最巨頭は旅順居住目下奉天千代田通に店舖を構へてゐる某陸軍御用商人で主としてアルコール、揮發油、などを旅大より奉天へ軍需輸送取扱ひとし、陸軍經理部の輸送證明及び海關、滿鐵の證明を巧に誤魔化し、實際の注文數量以上の大量を密輸し、運賃の半額、關稅の全免による値開きを利用して市價より遙かに低廉なる安値にて密かに賣捌きつゝあつたことが確められたものである、右につき地の元某氏は語る

陸軍御用商人が證明書を誤魔化して注文外の商品を多量に輸入して廉賣されては高い運賃や關稅をかけて仕入れた地元の正業者はやりきれない、例へば揮發油一箱の大連奉天間滿鐵運賃五十七錢が陸軍納入品として送らるゝ場合は半額で關稅は二圓七十錢のところを全額免除されるのだから一箱につきその差額三圓九十八錢だけ安く賣られるわけで、これでは到底正業者は立行かね、ある軍人はこのことを聞き皇軍の將兵は到るところに血みどろ汗みどろになつて奮鬪してゐる際、苟くも軍の御用商人がそんな不正手段で正業者を苦しめ、私腹を肥すなど銃殺に値する、怪しからぬ非國民だと大いに憤慨してゐたが尤もだと思ふ【奉天電話】

砂糖の密輸出

違反者に科料

最近沙河口管內黑石礁、小平島方面より砂糖、鹽類の密輸出が非常に多くなり沙河口署ではかれて注意中であつたところ去る廿日午後十時半ごろ沙河口管內西山會黑山屯南沙河口一七荷馬車運搬業劉滿長（三）が百三十斤入り二百俵を三春柳倉庫より黑石礁に運搬同地より大沽方面に密輸出せんとしたのを發見劉滿長について嚴重取調べ中であつたが廿二日科料十九圓に處し砂糖二百俵も沒收した

慰藉料請求で 原告が勝つ

營口の氷滑溺死事件

昭和二年の冬滿鐵附屬の營口小學校々庭のスケート場で溺死した營口小學校六年生鈴木節子（一三）の實父鈴木貞二氏は瀧田辯護士を代理人に滿鐵會社を相手取り

危險なスケート場で兒童を遊戲させたことは學校の監督權を有する滿鐵會社がその責めを負ふべきである

との理由で慰藉料一萬圓の請求民事訴訟を大連地方法院に提出し一審では

滿鐵會社が慰藉料支拂の義務あるも既に一千圓の慰藉料を贈つてゐるからこれ以上支拂ひの義務なし

との判決が下され、原告側は直に控訴し二審では

滿鐵會社は三千圓支拂べし、但し一千圓は既に贈呈してゐるから二千圓を支拂へ

との原告勝訴の判決あり、これに對し滿鐵は判決不服で上告し繫爭中のところ去る廿日旅順高等法院上告部では上告を棄却判決確定を見るに至つた、卽ち滿鐵は既に支拂つた香奠一千圓の外に慰藉料二千圓を原告に支拂へといふにありスケート場の慘事が監督會社の責任に歸するといふ新判例を作つたもので法曹界の注目を惹いてゐる

拳銃密輸

龍平丸で發見

當地水上警察署では時局柄一挺の拳銃に對しても嚴重に取締り警戒を行つてゐるが、二十一日龍口より入港した龍平丸を臨檢中、同船乘組火夫長崔永禎（三九）がモーゼル拳銃一挺を隱匿してゐるのを發見し、直に本署に連行の上嚴重に取調べた處、同人は市內飛驒町四二張鴻福（五）より購入し、龍口方面で賣さばかうとしてゐたものであることが判明したので、なほ關係方面を調査中であるが、この拳銃は部分品を別々に買ひ集めて來て大連で組み立て巧に官憲の目を潛つて秘かに賣買されてゐたものでなほこの種の方法によつてさかんに賣買されてゐる模樣が多分にあり水上署では各方面に手配し警戒を一層嚴重にすることゝなつた

北九州工業都市 非常時保護演習

現地資源會議を開く

【東京二十二日發】非常時線國一致等が各方面から叫ばれてゐる折柄、今回資源局中心となり北九州工業都市の戰時保護演習とも云ふ可き現地資源會議を行ふ事となり廿五日から三日間企畫、總務、陸海商工の關係各省を動員し八幡を中心となり內務、遞信、鐵道、本據に航空課總動員の現地會議を開催、從來理論的に考究されてゐた非常時の工業都市の保護を北九州の現地一帶に亘り重要工場の保護都市並に工場の治安維持連絡統制等に就き大規模の現地操作を行ふ事となつた

洮索線水害

風雨のため廿一日から洮索線鐵ケ所水害のために被害を受け平安鎭葛根廟間五十キロ附近約四十米の線路築堤崩壞、葛根廟懷遠鎭間五五キロ、五六キロ木橋の杭木が浮上り、七十キロ橋梁十米流失したと共に復舊工事に取りかゝる筈であるが大體完成までに五六日を要する見込、なほこのため滿鐵では同鐵道向旅客貨物の取扱ひを中止した

長春丸引揚げ

作業悲觀さる

長春丸引揚作業視察に現場へ赴いてゐた東京サルヴエージ株式會社技師長田代佐八氏は二十二日午後三時半入港の大連丸にて歸連した同氏は語る

船の狀態が意外に惡いので悲觀してゐる、二十尺も泥海に埋れた船體を救ふには簡單な割合に大仕事だ、天候の許す限り順調に仕事も進捗する限り八月一杯で成功し得ると思ふが順調に行かぬ時は船體放棄の止むなき時だ、併し目下はそれ程悲觀的には考へない

社員會の洗濯班の計畫に 健氣な婦人が志願し來る

滿鐵社員會では社外線派遣社員のために洗濯班派遣の計畫があることは既報の如くであるが二十三日午前、廿七八歲位と思はれる容姿整つた一人の女性が滿鐵社員會竹森部長の部屋を訪れ、生憎竹森氏が不在であつたため「是非妾を社外線派遣員の方のために洗濯に行かせて下さい」と固い決心を言ひ殘して歸つて行つた、竹森氏はその厚意に淚を流してこの健氣な婦人の決心を聞いたんだが、何分社員會としてその計畫があることは事實としても具體的に決定したことでなくまた男子でさへ危險な場所に婦人を送ることは餘程の安全策を講ずる必要もあるので

いづれ決定しました節にお願ひいたします

と鄭重にその婦人の兄さんを通して一應その申込を謝絕した、この女性は土佐町三八藤岡佐一郞氏の妹さんである

夏家河子行 臨時列車

あす七列車運轉

滿鐵々道部で夏家河子行左記七列車の臨時列車を運轉するが、海水浴シーズンの書入時として夏家河子驛の整理等にも萬全を期してゐる

大連發	沙河口發
七時二〇分	七時三二分
八時一〇分	八時二二分
八時四五分	八時五七分
九時五五分	一〇時〇七分
一〇時四〇分	一〇時五二分
一一時二〇分	一一時三二分
一三時三〇分	一三時四二分

夏家河子發	大連着
一五時二〇分	一六時〇分
一五時五五分	一六時三五分
一六時二〇分	一七時〇分
一七時〇七分	一七時四五分
一八時〇八分	一八時四六分
一九時〇分	一九時四〇分

なほ廿五日の月曜から廿九日まで每日左の臨時列車を增發することゝなつた

大連發▲九時五五分▲一五時二五分▲夏家河子發▲一六時二〇分▲一八時〇八分

發かれた 昭和洋行

第一回公判開廷さる

大連市三笠町五番地に堂々たる大工場を構へ殆ど公然とヘロイン密造を行ひながら容易に檢擧の手が及ばなかつたいはゆる昭和洋行事件の第一回公判は二十二日午後二時から大連地方法院長島裁判長係池內檢察官立會の下に開廷された被告の顏觸れは

額賀龍一、堀春三郞、山口儀八、蘇田瑞圓、野村光德、清水シゲ、金澤邦衛、松岡力藏、丁起發、李權

の十名で額賀、清水兩被告缺席し堀春三郞より事實調べに入り午後四時半までに額賀、清水を除き被告全部の審理を終つたが、この結果多年滿洲の禁制品仲間に覇を唱へた昭和洋行の內情を曝け出した卽ち昭和洋行は昭和三年三月東京藥品株式會社大連支店內に合名組織を以て設置し額賀が采配をふるつて金澤と共に技術方面を擔當し堀の出資によつて昭和五年頃より大々的に鹽酸ヘロインの密造に着手し、原料を隅田ら外數名より買入れ同年七月から六年五月までに百三十餘回にわたり一千七百七十七瓩八百三十四瓦を密造、更に唐澤繁實經營の西工場において二十數回にわたり二百二十瓩十五瓦を製造し、これ等藥品は山口、野村、松岡、清水、丁、李の各被告が一袋（七百瓦入）を最高五百二十圓、最低三百八十圓程度で奉天、長春、天津、上海方面に密賣し巨利を博してゐたものである

右の罪狀に對しては被告等は何れも素直にこれを認め次回公判九月二日には證據調べに移る筈である

西園亭移轉問題

直接に膝詰談判する

大連中央公園內の料亭西園亭に對し大連市役所では三十萬市民の希望に鑑み今回の改築を機會として他に移轉さす可く婉曲に交涉を進めてゐる事は既報の通りであるが右に關し西園亭は元大連警察署長山川吉雄氏を代表とし二十二日市役所に長瀨社會課長を訪問し西園亭は明治卅九年以來許可を受けて營業を繼續してゐるもので忠靈塔はその後昭和二年ごろ朝日廣場より移轉して來たものである

を理由として交涉に應じ難きやの意を傳へたので市役所では二十三日……膝詰談判を試みることとなつた成程西園亭は中央公園がまだ市に移管されない以前から營業を經營し且つ改築の許可も受けてゐた、改築の許可は一同中斷したが今回再び復活して許可さなり市としては何う撼う差し出がましいことは云ひ得ない立場にあるが併し忠靈塔は後から移轉して來たとは云へ日露戰爭當時血を流したわれ等先輩の英靈を祀る市民崇敬の的である、その忠靈塔の直前に風敎上取締を受く可き料亭を存置せしむるといふことは忠靈塔の尊嚴を冒瀆することになるので市では在鄕軍人會や敎化團體を始め全市……

滿鐵獨身社員 團結堅めの會

滿鐵獨身者を收容する各寮の間には從來全然連絡がなく獨身社員團結の機會は殆ど作られなかつたが社員會修養部の盡力等から先般の聯合幹事會の成立となり今後獨身社員の團結には修養部が中心となつて積極的に働きかけることゝなつた、而してその第一着手として來る廿四日夏家河子海水浴場で大連獨身社員合同の清遊會を開催することに決し團結固めの第一聲を擧げることゝなつた、なほ當日はウオーターポロ、デツトボール、各寮對抗リレーレース、競泳、地引網等の餘興があり多數獨身社員の參加を希望してゐる

家出して女給

長春附屬地居住梅田靜子（二二）は去る五日實家を無斷で飛び出し奉天で二三泊し大連市內某警察署に勤務する親戚を頼つて來連したが着連後親戚を訪れず市內のカフエーで女給を働いてゐる模樣なので兩親から大連署へ搜査を願つて來た

コレラ

◇…二十一日疑似コレラとして沙河口署より療病院に收容した市內巴町一三二敷島廣場中央自動車公司苦力王勳芝（二七）は廿二日午前十一時眞性と決定した

◇…四洮線にコレラ發生のため四洮鐵路當局では列車內に消毒液を撒布するほか通遼、鄭家屯、四平街の各驛で旅客の檢診を開始した

◇…二十二日午前九時疑似コレラと決定した市內寺內通三三番地滿電市內バス車掌張竹貴（二七）はその後療病院において嚴重檢鏡の結果眞性コレラと決定し、滿洲に於ける眞性コレラ患者發生數はこれを以て百二名となつた

◇…市內泰山街一三〇王德隆（二六）は廿一日午後十時半發病廿二日午前十時療病院にて診斷の結果疑似コレラと決定午後一時療病院に收容した

◇…住所不定日傭苦力朱老大（二六）は去る廿日金州より徒步來連の途中發病し廿二日午前十一時半ごろ市內榮町番外地廣場に寢てゐるのを小崗子署巡捕が發見午後一時同署池田醫師診斷の結果疑似コレラと判明療病院に收容した

◇…住所不定日傭苦力林（二二）を何者か車に乘せて惠比須町安滿病院前に連行遺棄してゐるのを小崗子署員が發見午後零時半同署池田醫師診斷の結果疑似コレラと判明療病院に收容した

チチハルの 我兵禁足

更に二名續發

【チチハル二十三日發】既報の如く恐るべきコレラは衞生上無設備な無防禦と云ふべき當地に侵入二十一日までの死亡二名に引續き二十二日夜支那人飲食店ボーイ一名死亡し我警備隊のゐる東大營附近で苦力一名瀕死の狀に蔓延の兆明かにて我警備隊は二十三日より一步外出を禁止した

青島中學 籃球部

青島中學籃球部は初の大連遠征に廿二日入港大連丸で乘込んで來た一行は五年生のキヤプテン西岡……

對青中籠球戰

大連各中學と對戰すべく二十二日入港の大連丸で來連した青島中學籠球部では左記日程の下に各中學と對戰することゝなつた

▲二十四日午前十時より對大連商業戰
▲二十五日午前十時より對大連二中戰
▲二十六日午前九時より對大連一中戰

一行メンバーは左の通り【寫眞は一行】

田中（主將）出春、原田忠郞、櫻井義治、岩田秀雄、西岡敏雄、中谷輝敏（補）

滿洲には初めて遠征して來たのです、大商、一中、二中と戰ふ決定で全力を盡くしてやります

は語る

（先攻）										
滿俱	1	3	0	4	0	0	0	0	8	
早大	0	0	0	0	1	1	1	0	3	

バツテリー　濱崎—片岡
バツテリー　佐々木—平瀨

安樂椅子

曙の鐘 (354)

倉田潮　河野想多畫

文化の黴(一)

平津はあけみが犯罪の秘密を告白したのを非常に喜びながら、高山の舊居の空家を出た。あけみは數日の中に公衆の前で堂々と再びその秘密を打ちあけ、眞の犯人をあげて淺輪や春木の無實を證明すると約束したのだつた。恐らく今度こそ確實にその約束を實行することだらう。

平津はさう思ひながら、神田行きの電車に乘つた。神田の血盟團の者に逢つたら或は高山の隱れ家が解りはしないかと考へたからである。

彼は高山とはこれまで行動を共にしたことはなかつたが、主義主張を同じくしてゐた。つまり二人とも國家主義者であるので、平津は同志としての高山にいろ〳〵と相談せねばならない用件を持つてゐるのだつた。

神田の須田町で電車をおりたが平津は血盟團の住所を知らなかつたので、訪れて行くすべがなかつた。が、春見と龜太郎とが喧嘩を賣られたと云ふ表神保町のバアの名を小耳にはさんでゐたので、そこへ訪れて行くことにした。

血盟團の根城と聞いた其のバアには、まだ夜が早い爲めか一人も客が無かつた。

瀟洒にしつらへられた小さなホールは青いシヤンデリアの光に落ちついて、鳥渡海の底と云つた感じがした。平津はのつけから血盟團の所在を訊いても教へてくれないと思つたので、ひそかに良い時機の來るのを覘つてゐた。

暫くして客がポツ〳〵來初めたが、主にその近くの學生で不良と思はれる者はゐなかつた。平津は失望したが、醉つて來たので、いよ〳〵女給に血盟團の本部を訊いて見た。が、女給は案の條「知らない」と答へた。

間もなく女中をつれた十七八歳の令孃がやつて來た。買ひ物に出た途中で咽喉が乾いたものらしく一杯の飲み物を愼ましやかにすゝつてゐる。女中はじみな着物をつけて不器用な無口を續けてゐた。

令孃らしい女はよく見ると非常な美人だつた。あけみのやうなモダン・ガール風の美しさは無いがたえ子に似た古典的な奥ゆかしい點があつた。平津はかう云ふ型の女が好きだつた。で、なほ時々女の姿を忍びやかに眺めてゐると、その女は視線を意識して紅くなつて脅えたが、脅えながらもチラと下から平津の顔を盗み見た。同時に耳まで紅くなつて溜息をついたが、間もなく今度は熱情を含んだ瞳で平津を見返した。心の思ひが恨みのやうに白く輝いたひとみだつた。

「ふーん」

と平津はその時初めて或る事實に思ひあたつたが、相變らず時々女に意味ありげな視線を送つてゐた。

女は居堪れないやうな風だつたストローを細に千切つて見たり、髪に手をやつて見たり、立ちかけてまた坐つて見たり……しかも、時々熱情に燃える瞳で平津を見返した。平津は最後に思ひ切つて彼女の眼に己の視線を接吻させた。と、女も熱情に亢奮したやうに今度は大膽に眼をそらさなかつた。二人の眼は無言に甘く温かく接觸し合つて、互に心の中を語り合つた。が最後に女は鳥渡ウインクして立ち上り、扉まで行つて最一度ウインクを投げて外に出た。

平津は或目的をもつて直ぐその後を追ひかけた。女は女中に注意されてから初めて男に後をつけられてゐるのを知つたらしく一層歩を急がせたが、しかし時々夜店の人ごみの中から平津の方に振りかへつた。平津は一層歩を急がせた。

女は九段の方に向つてゐた。がそこまで行かぬ中に——今川小路の先の濠ばたで平津はつひに二人に追ひついた。そして、その女によりそつと横から小聲で

「もし〳〵、少し話し度いことがあるのですが、私と一緒に來てくれませんか」

と問ひかけた。すると、女は明かに脅えて身を顫はしたが、溜息をつきながら頷くやうに首を垂れた。

新刊紹介

▲ぬかご(八月號)定價五十錢(發行所東京市麴町區丸の内三丁目十二番地わかご社)

▲實業公論(七月號 滿蒙特輯、定價三十錢(發行所東京市芝區芝公園八號實業公論社)

けふの放送

大連 JQAK　七月二十四日

▲午後零時十分　ニユース

▲午後零時五十分　柔道連絡放送(全滿洲軍對東都學生聯盟軍)

▲午後七時十分　ニユース

▲午後七時十分 (以下内地中繼七時三十分)

▲俚謠(一)熱海小唄、熱海金彌外十二名(二)伊豆山小唄、伊豆山蔦龍外十一名(三)熱海節熱海連中(四)磯節、唄駒澤秀晃、三味線井上友子、太鼓駒澤社中(五)相馬二へん返し(六)相馬節(七)琉球節(八)高田甚句、唄駒澤秀晃、三味線井上友子

▲新日本音樂一、歌謠曲(イ)秋の廈門(ロ)ムミの音、唄、箏久本玄智、尺八安部香山、同關野生山、二、管絃合奏「山の幸」(町田嘉章作)第一雲界の際、第二霧の底に沈める湖、第三スキーヤー跳る、第四高山寨の團欒、セイワ音樂會、指揮川合太郎

(以下大連放送局より)

▲ラヂオドラマ「國定忠次」明石潮一座(場景)一、權堂辻堂の場、二、山形屋藤造宅の場、三、牛晝松原の場(配役)國定忠次(明石潮)板割淺太郎(松島隆也)日光圓造(松本德三郎)山形屋藤造(北村寅勇)同乾分馬吉(美峰一潮)同乾分三太(長友義雄)百姓嘉右衛門(衣川淺路)山形屋女房お信(服部義雄)娘袖(林寛日)女髮結(武田君子)やり手婆(大浦晴涙)

▲ニユース

▲氣象通報

第五回 滿日特選碁戰

先番 渡邊英夫(三段)　宮下秀洋(初段)

一 ハの四　〇二 タの五
三 ホの四　〇四 ハの十六
五 ホの十七　〇六 ヨの十七
七 タの三　〇八 カの四
九 レの五　一〇 レの六
一一 レの四　一二 タの七
一三 リの十七　一四 ヨの二
一五 タの二　一六 トの十七
一七 トの十八　一八 トの三
一九 レの十六　二〇 タの十三

—【1】—

對局者の感想

黑曰く　三の手で七に入らうかとも思ひました

白曰く　八では(レの三)に打ち黑(レの二)白一一黑一四白一九にシマラル事になれば黑(レの九)となる白一九にシマラないで(レの九)に開けば黑に一九と入られてまづいと思ひました

黑曰く　一三の手で一九に打たうかと思ひましたが白に一三されるのがいやでした

ナキカタ イロイロ

アサエダ ジロウ

(一)アマニタトキ
(二)コワイトキ
(三)オコツタトキ
(四)サビシイトキ
(五)イタイトキ
(六)オクワシヲオネダリスルトキ

サテ ミナサン ドンナナキカタヲヨクシマスカ。エツナキマセン ソレハオリコウサンデスネ

やあ！うれしい 夏休みがきた！

いよ／＼たのしい夏休みが來ました、おやすみになつてもあまり朝ねばうしないで夏休みを有益に病氣しないやうにしませう、そして身體を丈夫にきたへて二學期には南の國のクロンボウのやうに黑い顏になつて元氣で勉强しませう、先生からいろ／＼夏休みのご注意がありましたでせうがこれは學校から皆さんへの注意ですから、よく讀んでわすれないやうに守りませう

學校からみなさんへの注意 かたくまもりませう

一、早く寢て早く起きませう、毎日十時間位は眠るやうにしませう
二、サイダー、アイスケーキ、氷菓物、お菓子、果物のやうなものを餘り食べすぎたり、飲み過ぎない樣に氣をつけませう
三、寢冷せぬ樣に腹卷をしませう
四、トラホームの人はお休みのうちになほしませう
五、寢るまへに必ず齒を磨きませう
六、毎日朝と晩はお部屋を綺麗に整頓して清潔に掃除しませう
七、身體は清潔に洗ひ、外から歸つたら手を必ず洗ひませう、女の子は時々髮を洗つて臭がしない樣にしませう
八、氣分の惡い時は早く父母にいつて手當をしませう、そして傳染病のある家の近くに近寄らないやうに、またお陽樣に永く帽子も被らないで照らされて日射病にかゝらない樣に氣をつけませう
九、水泳に行く時は必ずお父さんかお母さんに許しをうけて、泳げる人と一緒に多勢で行き、早く歸りませう、水泳は餘り永くしない樣に、また氣分が惡い時は泳ぎますまい
十、復習や宿題は毎朝涼しいうちにしつかりやりませう
十一、言葉はていねいに話し目上の人やお友達にはていねいに挨拶をしませう
十二、歩きながら物を食べる事は止しませう
十三、遠方の親戚や先生やお友達には暑中見舞を出しませう
十四、夏休みはうんとお家の手傳ひをしませう
十五、路の眞ん中で遊ぶと危險ですから道路では遊びますまい
十六、休み中に兵隊さんの送迎や遺骨、傷病兵の送迎のとがあつたら學校から通知が來ますから澤山集まつて送迎しませう

學校から保護者へ 斯んな希望です

子達の待ち憧がれて居た嬉しい夏休みも二十六日から始まります、今まで規則正しく生活をしてゐた兒童も自然ダラ／＼な生活を始め易くなります、でも折角の嬉しい夏休みを一にも勉强、二にも勉强で、朝眼が覺めるから夜床に就くまで勉强々々で追はれたら子供たちは浮ぶ瀬もありますまい、で夏休みに際し學校から保護者へ對する希望を左に記しませう

寫眞說明 こんなことはよしませう

(1) お手々つないで道を歩くこと
(2) みつともない立ち喰ひ
(3) 人の遊びの邪魔をする
(4) 公園のお池に石を投込むこと
(5) 自轉車で曲乗りあそび
(6) お池の中で遊ぶこと

蝗に人間が敗け こほろぎ汽車をとめる

最近イタリーの首府ローマの近くの田畑が蝗の大群のためにスッカリ喰ひ荒されてしまつてお百姓さん達は大變こまつてゐます、初めお役所からも澤山の人が出て蝗退治をやつたのですが、とう／＼人がまけてしまつたさうです、又カナダのデロレーンといふ處は小麥栽培地として有名なところですがこゝに幾億とも知れぬ蟋蟀が文字通り雲霞の樣に押寄せて地上五六寸の厚さに積み重なり、それがのろ／＼と動いて通りあはせた汽車も線路一ぱいの蟋蟀のため進行が出來ず、二十哩の間を進んだり止まつたりして大變遅れてしまひましたが、この汽車の轢き殺した蟋蟀だけでも幾千萬かわからないほどで、このため穀物は全部喰はれてしまひました、小さな蝗や蟋蟀でも澤山集まれば恐ろしいものですね

夏休は餘り 勉强々々と

追ひ立てず自由な氣分を與へ、しかもその間に秩序ある生活をさせてほしいのです、どうかした調子に監視がすぎたり、氣に添はないことをやりますと、二言目には早

が、輕い日課を與へてゐますからそれだけ忠實に勉强させていたゞき、後の時間はできるだけ

童詩 夏の病院

はやし・ぶんじ

體溫計を　すかし見て
グラフ板に　書きました
看護婦さんの白い服
青葉の影が　搖れてます
聽診器持つてお醫者さん
坊やの胸を　聞いてます
夏の病院　靜かだな
窓の風鈴　鳴つてます
ベットの敷布に消毒の
にほひが　かすかにしてゐます
もういゝのよつてお母さん
坊やの顏を　のぞきます
誰か通るか　戸の外に
スリッパの音が　してゐます
坊やの頰つぺた　暑いなあ
氷嚢の氷が　溶けたでせう

速成織の普通を云はれる家庭がありますが、夏休みは夏休みらしく先づ保健に留意していたゞき、家政上忙しくても子供のために出來るだけ水泳に、昆蟲採集或は植物採集に行くといつた樣な時を拵へてほしいのです、學校では餘り宿題を出さない事になつて居ります

家庭で子女の情操教育

に力を入れてほしいのです、特に子供の個性を知つて、何か偏した勉强をしてゐても「そんな事ばかりやつて」といふやうな叱言はやめて、夏休みを利用してその好きな方面をどん／＼研究させて下さい、これによつて子供は大人も及ばないほどの立派な製作品を拵へるものです、休暇中は子供に夏休みのプログラムを作らせ、それを親が取捨し自治の訓練をしていたゞき、毎日の生活が餘り放縱に流れない樣、起床、就寢、遊戲、家事の手傳ひなど略一定した生活をさせられたら大へん結構だと思ひます、特に女の子は家庭の作業を手傳はせ、炊事、食事の後始末、洗濯

お掃除など 毎日の行事

もしてさせて貰ひたいものです、男の子にもお庭の掃除、お父さんの盆栽の世話、花畑や、野菜畑の手入さいつた樣にそれ／＼相應しい仕事を與へてほしいのです、休暇中には會師や友人、親戚の人に暑中見舞を出させ親しみを增す樣に、また離れた知人や親戚の子供と行き來させ、時には泊らせるといふ樣にしますとお互の長所、短所を學び非常によいと思ひます、また家庭の宗旨に從つてそれ／＼お寺詣りに、或は教會に連れて行き敬虔の念を養つて頂きたい、次に傳染病も流行してゐるのですから餘り大ぜいの人々の集るところにはなるべくつれて行かない樣にして下さい。

世界一の石頭

ユーゴースラヴイヤといふ國を御存知ですか、ヨーロッパの小さな國ですが、この國のミランシヤクといふ人が或る時兄弟喧嘩をしました、弟は大變亂暴な人で大きな斧をふりあげて、四回も兄さんのミランシヤクの頭をなぐりつけましたが、ミランシヤクの頭は一寸皮に傷をしただけで[illegible]もならず、とう／＼弟がまけてしまひました、それ[illegible]

祝日曜附錄發刊

シャンテンの『發明』はやらなすゞ

エ？
オヤ フカガキタハ
タイヘンダ ニゲロニゲロ
ウゴカスヨ
ヤー シッパイ シッパイ
シュッ シュッ
シャブジャブ
アラ アシガハヘテル

滿洲童話　高粱の花環

山田健二作　河野ひさし繪

蒼空と高粱畑……

ほかに何も見へない曠野を二本のレールが眞直に走つてゐます。

カラン……コロン……

カラン……コロン……

がッしりした鋼鐵製の汽車は鐘を鳴らしながら驛と驛を縮んで行きます。驛といつても普通の家のやうな小さい建物で、裏の方には四五軒の宿舍と交番がポツンと建つてゐます。滿夫さんの家は今度賑やかな大連からこの小さい驛に移りました。

「れ……お母さん、大連に歸らうよ、誰もお友達ゐないんだもの」

滿夫さんは、二、三日たつとかう云つてお母さんの膝をゆすりました。

「そんな無理を云はないで頂戴お父さんの御都合なんだから」

お母さんは滿夫さんの頭をなでながら諭るやうに云はれるのでした。

毎日長い貨物列車の後ひについた車掌車に乗つて學校から歸ると、すぐ驛のホームに行つて一人で遊びました。そして夕方シグナルに橙色の灯の入る頃着く汽車から新聞やお手紙を受取るのが何よりの樂しみでした。

ところが近頃、度々この近所に匪賊が出るので、今度兵隊さんが守つて下さることになつて驛の前に赤煉瓦の守備隊が建ちました。

「兵隊さんが來た！」

滿夫さんは兄さんが來たやうに喜びました。

それからは學校から歸ると暗くなるまで兵隊さんと遊びました。

秋の半頃でした。内地の叔母さんから滿夫さんの一番好きな柿羊羹を送つて來ました。

滿夫さんはその時兵隊さんが大さう甘い物の好きなことを思ひ出しました。

「れ……お母さん、兵隊さん呼んで御馳走していゝでせう？」

と御願ひしてお許しが出ると驛足で呼んで來ました。そして

「兵隊さん、これ内地の柿羊羹よとてもおいしいよ」

とすゝめました。

兵隊さんは日に燒けた大きな手で一切れつまんでおいしさうに食べました。其の時！

パン／＼と驛の方で續けさまに小銃の音がしました。

「ア……匪賊だ！」

兵隊さんは食べかけてゐた羊羹をそのまゝポケットに入れると表へ飛下りました。

「兵隊さん氣をつけてれ」

「あゝ大丈夫だよ」

力強い言葉を殘した兵隊さんはピストルを握りしめて驛の方に走つて行きました

★　☆

一時間ばかりの後賊は澤山の死骸を捨て、北の方へ逃げてゆきましたが日本兵も一人戰死しました。血の濺れこんでゐた軍服のポケットに一切れの羊羹が入つてゐました。兵隊さんの遺骸が守備隊に安置された頃から美しい花環が汽車の着く度に下され、守備隊に運ばれます。又一人ぼつちになつた滿夫さんはぼんやりホームに立つて花環を見送つてゐました。

「綺麗だなー、僕も上げたいなーでも貯金皆出しても買へないや」

滿夫さんは悲しさうに目をあげて前の原を見ました。ココア色に實つた高粱が夕陽を浴びて黄金色に輝いてゐます。

「あゝさうだ、あれで花環を作つてあげやう。高粱の花環だ」

急に晴やかな顔になつた滿夫さんは急いで畑に入り、よく實つた高粱を二、三本折つて家に歸りました。その晩遲くまでかゝつてやつとつく／＼した花環を作りあげると、直ぐ守備隊に持つてゆきました。翌日お骨になつた兵隊さんは小さい箱におさめられ、他のお骨と一緒に、お父さんや、お母さんの待つていらつしやる故郷に悲しい凱旋をすることになりました。

關東軍司令官

滿鐵總裁

關東長官

偉い人達から贈られた立派な花環の中にはさまつて、みすぼらしい高粱の花環がお骨の一番近くに飾つてありました。

「滿夫君……死んだ兵卒はあの高粱の花環を一番喜んでゐるよ」

生れてから一度も泣いたことのないやうな守備隊長はかう云つて、片手で目頭を押へながら片手で滿夫さんの手を堅く握りしめました

タアチャンの魚釣

タアチャン ワン公ト ツリニデカケタ
ワン公 ツレソツテ ダゾ
オヤ？
タアチャン マタヤッテ キタゾウダ
ダマサレルモーカ
コウシテ オケバ大丈夫
オモシロイ
タアチャン カセイレテ ヤロウカ
ナカナカ 大キイゾ
タアチャン バンザーイ

手工　小さい紙挾　面白くて役に立つ

けふは面白くて一寸した紙などはたいへんで入れられる紙挾みの作り方をお敎へいたしませう。なか／＼役に立つものだから作つてごらんなさい

材料と用具　不用になつた一茶色のボール紙縦（なるべく薄……）……紙（葉書紙）各一枚づつ、糊、鋏板（机にきづつけぬ爲め）

□**作り方**　茶ボールの空箱をていれいに四角を離して平なボール紙としなさい

□**作圖**　そのボール紙に三角定規と物指しを使つて鉛筆で第一圖の樣に下圖（工作圖）をかきなさい、この下圖は作る上に最も大切で出來不出來は、まつたくこの圖によつて定まりますから次の事に注意して下さい。

▲直角の部分は三角定規をあてゝ出來るだけ正しくすること

▲鉛筆は成るべくよく削つて細くて鮮明に引くこと

▲黑い線は切り取り線ですから

第一圖　第二圖

このとき注意することは

▲切り出しをよく研ぐこと

▲定規を正しく線上に置くこと

▲小刀は輕く使ふこと、餘り力を入れ過ぎると切り取り線が

さあ大體出來ました。考へて折りたゝんでご覽なさい、裏へ指し込む部分が長い樣でしたら先端を半糎位切り取りなさい

×　×

……んと重なり合ひます、この紙の裏に人さし指に糊をつけて成るべく淡く一面に塗りなさい、そして葉紙のボール紙が周圍に半糎位づゝ殘る樣に眞ん中に上手に貼つて下さい。

×　×

いよ／＼最後の模樣になりました、赤い色紙で一糎四方の小さい四角の紙片を澤山、綠の色紙で一糎に半糎の細長い紙片を澤山切つて下さい、さあこれを圖の樣に互ひ交ひに糊をつけては貼つて行くのです、これでやつと出來上つたわけです。

第四回　こどもの考へもの

滿洲日報社のマークはどれでせうか

一　二　三　四　五

ここにいろ／＼な會社のマークがたくさんありますれ、このうちどれがみなさんの「滿日日曜附錄」を出してゐる滿洲日報社のマークでせうか、わかつた方は番號だけ書いて來る七月三十一日までに大連東公園町滿洲日報社「滿日日曜附錄」係あてにお答へください、當つた方には二十名にご褒美を差上げます、なほ正解者がおほいときはいつもの樣に籤をひいて決めます、用紙は官製はがきのこと

第二回の答は自動車です

みなさんは大へん考へることがお上手だとみへて第二回の考へ物の答へはほとんど全部の方が當つてゐました、あれは自動車を前から寫眞にとつて鼻や口を切り拔いたのです、それで籤を引いた結果、左の二十名の方々が當りました、ご褒美は大連市內の方には通知書をあげますからそれをもつてお出になつて本社でお引かへ下さい、そのほかの方には本社から直接ご褒美をお送りいたします

×　×

なほ滿日のご褒美のほかに森永製菓の美しい罐入りお菓子を差上げますからミルクキヤラメルやチヨコレートの空箱はお菓子やさんの店頭にある支那事變の「負傷戰死を勞りませう！」とかいた箱の中に是非お入れ下さい

當籤者

▲奉天松島島松田勝美▲大連市沙河口霞町坂本一已▲大連市早苗町長友正治▲旅順市柳町北井幸夫▲大連市三室町河野滋▲大連市磐城町杉浦みい子▲大連市外甘井子安田昭治▲開原大街西村金挽▲大連市三笠町渡邊力▲大連市聖德街川島良繼▲大連市乃木町西森大吉▲大連市桃源臺楠茂夫▲旅順市高千穗町春日代子▲大連市壹岐町納富晃雄▲大連市二葉町澤村清嗣▲大連市菖蒲町伊藤正雄▲大石橋昌平街相本愛子▲大連市淺間町町田登喜子▲大連市壹岐町草場銀與▲大連市播磨町千葉博

ケフノツヅクワ

ミナサン　ハ　ヒトマネ　ノ　ウマイ　オホム　ヲ　シツテ　ヰルデセウ。サア　コレカラ　イツモノヤウ　ニ　クレイヨン　デ　イロ　ヲ　ヌリマセウ、イロ　ノ　ワカラナイ　ヒト　ハ　オウチ　ノ　カタ　ニ　キイテ　ゴランナサイ

家庭顧問

親の爲に兄妹のために己の信仰を捨つべき？

（問）私は二十歳の娘で御座います、未だ洗禮は受けて居りませんが小さい時からクリスト敎會に參つて居りました關係から學校を卒業しましても日曜日に禮拜に參つて居ります、この頃になりまして淋しい時嬉しい時に際して本當に（敢て本當と使ふのは現在敎會に參つて居りますので）一ツの信仰をつかみたくなつて來ました、それでいまゝでの關係上また私としてもクリスト敎信者としてたちたいと思ふのですが私の內が佛敎信者のために時には寺に行くべく餘儀なくされるのです　母はかつて自分が死にかけた時も佛樣に依つて全快したのだとさとします、感情に弱い私は時とすると母の情に敗かゝる事もあるのです、いくつもの信仰を有する事は本當の信仰でないと聞いて居りますので宗敎の岐路に立つて惱んでゐます、親のために、兄妹の爲に自分の信仰を捨てるべきでせうか？親兄妹と爭つてまでも斷然自分の信仰に生くべきでせうか長い間の私の惱みに對して先生のお考へを伺ひ度いと存じます（一女性）

みづから德行を積んで家族につかへなさい

大連神明高女校長　村井榮藏

【答】幼少の折から敎會に通一はれたさいふことだからあなたは……は決してありません、お母さんや兄さんがお寺へ行かれる場合は喜んでお寺にお供をなさい、そして佛の道をお聽きなさい、かくしてお母さんやお兄さんに滿足と喜びを與へるのが一には神の御旨に副ふ所以でせうし同時にまたあなたの信仰を深めるに好き參考ともなれ決して邪魔になることはないと信じます

◇

毎日曜日に牧師の說敎は聞けなくともそれは大した問題ではありません、バイブルは何時でも何處でも有難い道を聞かせて呉れるではありませんか、バイブルに親みなさい（お母さんもバイブル迄も讀んではならぬとは仰有いますまい）そして自己の日常生活を靜思なさい、反省なさい、三省なさい、そして誤つた點、至らぬ點を悔い改めて常に獨を愼み陰を積み愛に歸り道に入るの工夫と努力と精進を續けなさい、それがこの場合クリスト敎徒としてのあなたの尊い義務でなければなりません、殊にあなたの境遇としてはお母さんに仕へ兄妹を愛することに格段の努力と工夫を致されたい、そしてそれ等の人々のために魂を打ち込んで汗を流して働きキリスト敎の眞精神を口頭でなく形でなく實踐實動によつて示すことが最も肝腎でありませう、さればお母さんが仰有る如く嘗て佛樣の御利益で病氣が全快された當時にも增して我が娘の孝養善行を喜ばれることでありませう、また同時に兄さんも妹さんもあなたに感謝しあなたに傾到しやがてあなたを中心として明るい麗しい家庭が作られる許りでなくあなたの敎化によつて神の導きによつて一家悉くクリスト敎徒に改宗され打揃つて敎會に通はれる日が來ぬとは限りませぬ、ここに於て眞にクリスト敎徒勝てりといへませう、要するにあなたの煩悶解決の鍵は自ら德行を積んで家族に仕へるとにあると思ひます

◇

とはいへこれはあなたにとつて可成な重荷であり試鍊でありませう、併し重荷を負ひ試鍊を嘗めてこそ始めて眞の信仰に生き得るのでありますからこれは寧ろ神の有難き攝理であると考へ常に感謝し神と共に日々進歩に伴ひ希望に輝きつゝ精進なさるべきであります、重荷も苦難もせず試鍊も嘗めずに唯漫然と敎會に通ひ說敎を聽き讚美歌を頌するといつた生やさしい態度では到底深い强い信仰に這入れるものでないことを是非銘記して頂きたい